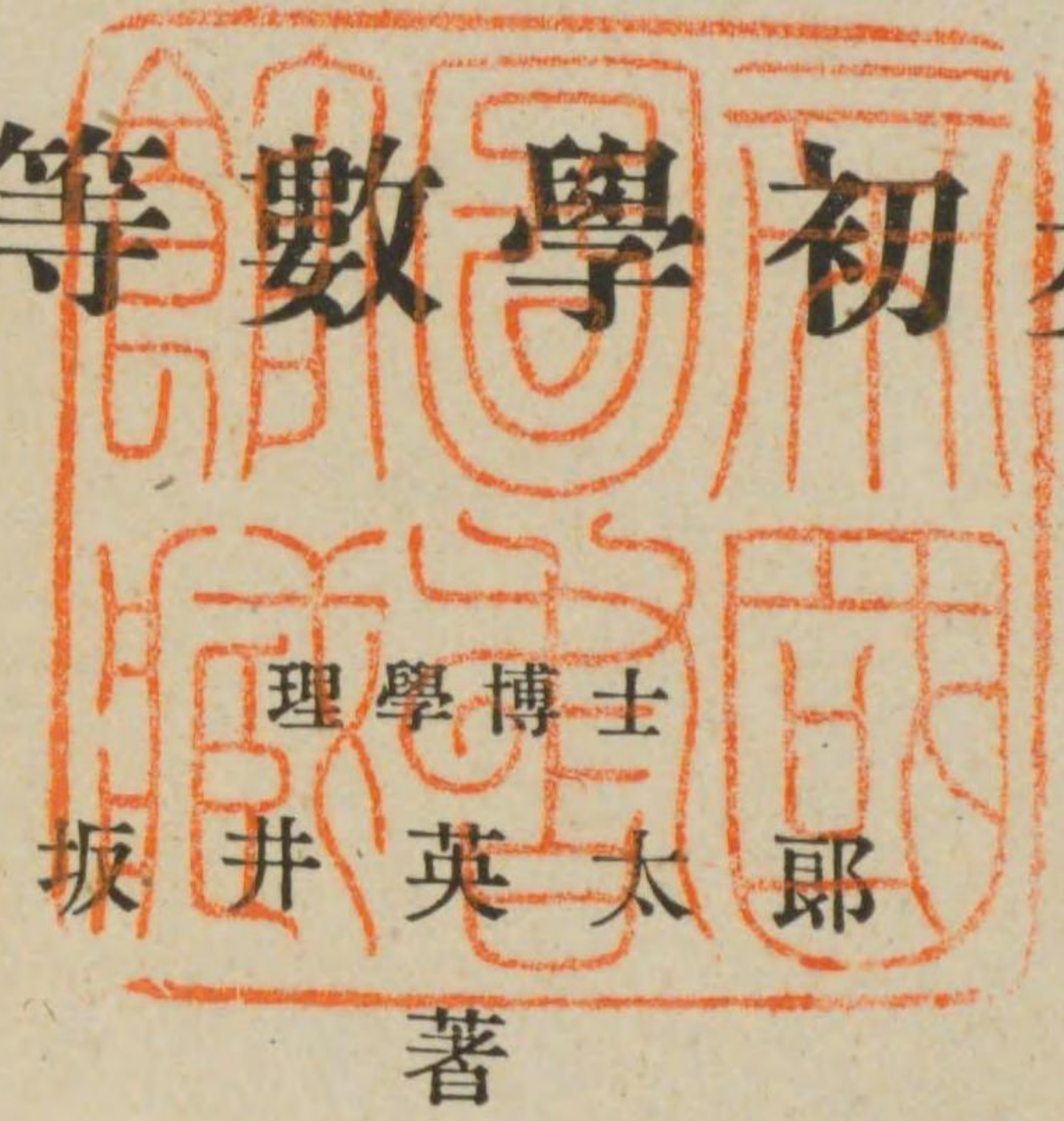


高等數學初步



理學博士
坂井英太郎
著



共立出版株式會社

608
2644

緒 言

本書ハ高等數學初歩ノ要項ニ就キテ簡明ナル説述ヲ試ミ、初學者ヲシテ斯學ノ基礎ヲ會得セシメントスルモノニシテ、理論ノ正確ヲ期スルト同時ニ材料ノ選擇ヲ嚴ニセリ。

以上ノ趣旨ニヨリ立體ニ關スル部分ハ殆ンド全ク之ヲ省略セリ、從テ讀者ノ豫備知識トシテハ初等代數、初等平面幾何、及ビ三角法ノ極メテ初歩ヲ以テ足レリトス。

尙指數函數及ビ對數函數ヲ導入シタリト雖ドモ前後ニ關聯スル點少キヲ以テ大體ヲ涉獵セントスル場合ニハ之ヲ除キテ其ノ目的ヲ達スルコトヲ得ベシト信ズ。

著 者 識

目次

第一章 數ト其ノ圖示	1—10
1. 有理數	1
2. 無理數	4
3. 實數	7
4. 虛數、複素數	9
第二章 函數ト其ノ圖示	11—23
5. 變數及ビ函數	11
6. 平面上ニ於ケル點ノ座標	14
7. 函數ノ圖示	18
8. 函數ノ種類	23
第三章 直線、圓、橢圓及ビ雙曲線	24—36
9. 直線ノ方程式	24
10. ニツノ直線ノ關係	27
11. 圓ノ方程式	29
12. 切線及ビ法線	34
第四章 極限及ビ連續	37—50
13. 變數ノ極限值	37
14. 函數ノ極限值	40
15. 無限級數ノ極限值	44
16. 函數ノ連續	48

第五章 微分法 51—64

- 17. 導來函數..... 51
- 18. 函數ノ和, 積及商ノ導來函數..... 55
- 19. 函數ノ函數ノ導來函數..... 57
- 20. 高次導來函數..... 59

第六章 導來函數ノ應用 65—80

- 21. 函數ノ値ノ變化, 極大及ビ極小..... 65
- 22. 曲線ノ追跡..... 70
- 23. 函數ノ展開..... 75
- 24. 函數ノ近似値..... 78

第七章 積分法 81—96

- 25. 積分ノ定義..... 81
- 26. 積分ノ計算..... 86
- 27. 積分ノ變形..... 89
- 28. 積分ノ定義ノ擴張..... 95

第八章 積分ノ應用 97—108

- 29. 曲線ノ弧ノ長サ..... 97
- 30. 曲線ノ包圍スル面積..... 99
- 31. 回轉面ノ包圍スル體積及ビ其ノ表面積..... 102
- 32. 積分ノ近似値..... 106

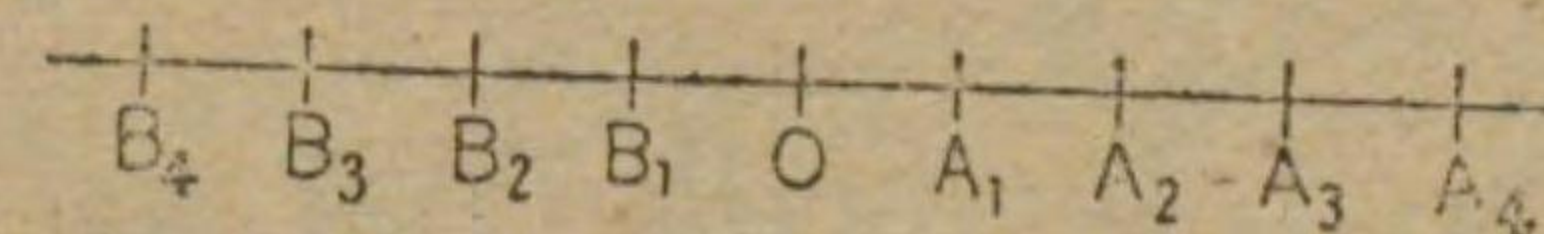
高等數學初歩

第一章 數ト其ノ圖示

1. 有理數

正及ビ負ノ整數, 零, 正及ビ負ノ分數ヲ併セテ有理數トイフ, ニツノ有理數ノ間ニ加減乗除ノ算法ヲ施シテ得タルモノハ何レモ一ツノ有理數ナリ, 但シ零ニテ割ル場合ハ之ヲ除クモノトス.

有理數ハ恒ニ $\frac{a}{b}$ ノ形ニテ之ヲ表ハスコトヲ得, 此ニ a 及ビ b ハ何レモ整數トス.



一定ノ直線上ニ一ツノ定點 O ヲ取り, 一定ノ長サ例ヘパー一纏ヲ單位ノ長サトシテ, O ヲリ右方ニ等シク順次ニ $OA_1, A_1A_2, A_2A_3, A_3A_4, \dots$ ト置キ, 又左方ニ順次ニ $OB_1, B_1B_2, B_2B_3, B_3B_4, \dots$ ト置クトキハ

$$OA_1=1, OA_2=2, OA_3=3, OA_4=4, \dots$$

即チ $A_1, A_2, A_3, A_4, \dots$ ハ定點 O ニ關シテ夫々 $1, 2, 3, 4, \dots$ ヲ表ハス點ナリト考フルコトヲ得

又 O ヲリ右方ニ測リタル長サヲ正トシ, 左方ニ測リタル長サヲ負ト定ムルトキハ

OB₁ = -1, OB₂ = -2, OB₃ = -3, OB₄ = -4, ……

即チ B₁, B₂, B₃, B₄, ……ハ夫々 -1, -2, -3, -4, ……ヲ表ハス點ナリ.

故ニ此ノ方法ニヨレバ點列……B₁, B₂, B₃, B₄, O, A₁, A₂, A₃, A₄, ……ヲ以テ數列……-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4, ……ヲ表ハサシムルコトヲ得.

次ニ一ツノ分數例ヘバ $\frac{5}{3}$ 即チ $1 + \frac{2}{3}$ フ同一ノ方法ニヨリテ表ハサントセバ前ノ如ク直線上ニ

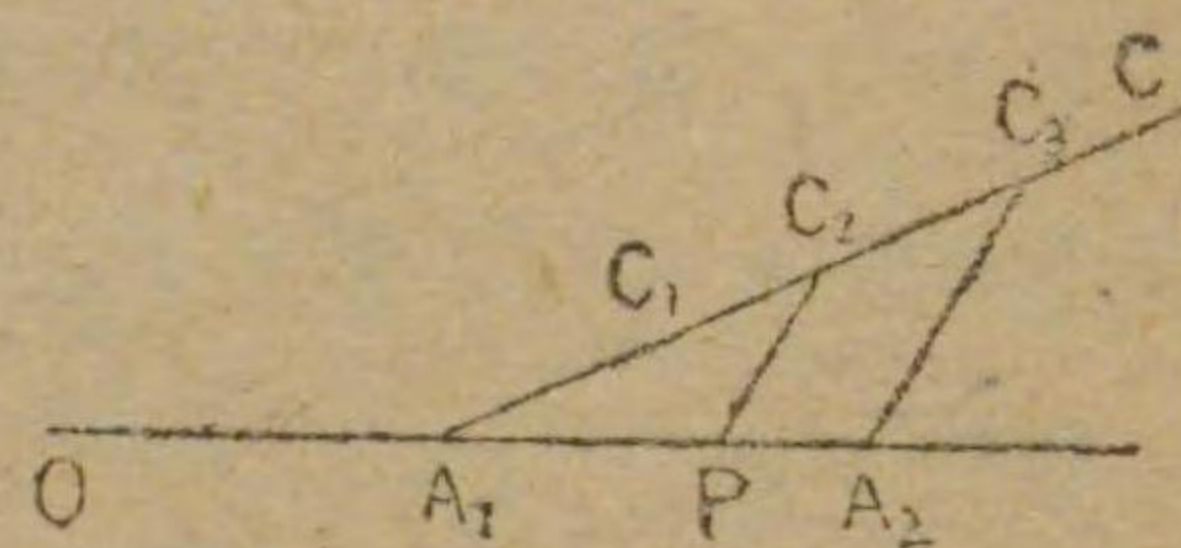
1 = 等シク順次ニ OA₁, A₁A₂ フ

取り, A₁ ヨリ任意ノ直線 A₁C

ヲ引キ, 其ノ上ニ一定ノ長サニ

等シク A₁C₁, C₁C₂, C₂C₃ フ置キ

テ C₂A₂ フ作り, C₂ ヨリ之ニ平行線ヲ引キ, 直線 OA₂ トノ交點ヲ P トスルトキハ



A₁P = $\frac{2}{3}$

從テ OP = OA₁ + A₁P = $1 + \frac{2}{3} = \frac{5}{3}$

故ニ P ハ $\frac{5}{3}$ フ表ハス.

同様ニシテ一般ニ分數ハ恒ニ直線上ノ一點ニテ之ヲ代表セシムルコトヲ得.

注意 1. a 及ビ b フ任意ノ有理數トスレバ $\frac{a+b}{2}$ ハ又一ツノ有理數ニシテ, 更ニ a > b ナルトキハ

$a - \frac{a+b}{2} = \frac{a-b}{2} > 0, \frac{a+b}{2} - b = \frac{a-b}{2} > 0$

故ニ $a > \frac{a+b}{2} > b$

即チ任意ノ二ツノ有理數ノ間ニハ少クモ一ツノ有理數アリ.

此ノ特別ナル場合トシテ a=1, b=0 トスレバ 0 ト 1 トノ間ニハ $\frac{1+0}{2}$ 即チ $\frac{1}{2}$ アリ, 同様ニシテ 0 ト $\frac{1}{2}$ トノ間ニハ $\frac{\frac{1}{2}+0}{2}$ 即チ $\frac{1}{4}$ アリ, $\frac{1}{2}$ ト 1 トノ間ニハ $\frac{1+\frac{1}{2}}{2}$ 即チ $\frac{3}{4}$ アリ, 此ノ手續ヲn 回繰リ返ヘストキハ 0 ト 1 トノ間ニハ

$\frac{1}{2^n}, \frac{2}{2^n}, \frac{3}{2^n}, \dots, \frac{2^n-1}{2^n}$

アリ, 二ツノ續キタル分數ノ差ハ $\frac{1}{2^n}$ ニ等シ.

之ニヨリテ二ツノ有理數ノ間ニハ限リナク多クノ有理數アリ; 從テ一ツノ有理數ニ對シテ何程ニテモ之ニ接近シタル他ノ有理數ヲ索メ得ベキコト明カナリ.

注意 2. 既約分數 $\frac{a}{b}$ フ小數ニ直ス爲メニ b ニテ a フ割ルトキハ 剩餘ハ b ヨリモ小ナリ, 即チ 1, 2, 3, ……, b-1 ノ中何レカ一ツヲ得, 故ニ順次ニ零ヲ附ケテ割ルトキハ多クトモ b 回目ニハ割リ切レルカ又ハ前ニ一度現ハレタル剩餘ト同一ノ剩餘ヲ得テ以下循環スルコトナル, 即チ既約分數ハ有限小數又ハ循環小數ノ中何レカ一ツニ變形シ得ルモノトス.

2. 無理数

二つの有理数ノ間ニ加減乗除ノ算法ヲ施ストキハ又一ツノ有理数ヲ得レドモ、有理数ノ冪根ヲ索ムル場合ニハ得タルモノハ必ズシモ有理数ニアラズ、例ヘバ最モ簡單ナル $\sqrt{2}$ ヲ考フルニ

$$\sqrt{2}-1 = \frac{2-1}{\sqrt{2}+1} = \frac{1}{\sqrt{2}+1} > 0$$

$$2-\sqrt{2} = \frac{4-2}{2+\sqrt{2}} = \frac{2}{2+\sqrt{2}} > 0$$

故ニ $1 < \sqrt{2} < 2$

即チ $\sqrt{2}$ ハ 1 ト 2 トノ間ニアリ、從テ整数ニアラズ。

次ニ

$$\sqrt{2}-1.4 = \frac{2-(1.4)^2}{\sqrt{2}+1.4} = \frac{0.04}{\sqrt{2}+1.4} > 0$$

$$1.5-\sqrt{2} = \frac{(1.5)^2-2}{1.5+\sqrt{2}} = \frac{0.25}{1.5+\sqrt{2}} > 0$$

故ニ $1.4 < \sqrt{2} < 1.5$

同様ニシテ順次ニ次ノ不等式ヲ誘出スルコトヲ得。

$$1.4 < \sqrt{2} < 1.42$$

$$1.414 < \sqrt{2} < 1.415$$

$$1.4142 < \sqrt{2} < 1.4143$$

$$1.41421 < \sqrt{2} < 1.41422$$

$$1.414213 < \sqrt{2} < 1.414214$$

$$1.4142135 < \sqrt{2} < 1.4142136$$

.....

之ニヨリ $\sqrt{2}$ ハ二ツノ帶小數ノ間ニアルコト明カナリ。

若シ此ノ手續ヲ繰リ返ストキ結局既約分數 $\frac{a}{b}$ ニテ之ヲ表ハシ得ルモノトスレバ

$$\sqrt{2} = \frac{a}{b}$$

此ニ a 及ビ b ハ何レモ整数ナリ

從テ $a - \sqrt{2}b = 0$

依テ $(a - \sqrt{2}b)(a + 2\sqrt{2}b) = 0$

即チ $a^2 = 2b^2$

a^2 ハ 2 ニテ割リ切レザルベカラズ、從テ a ハ偶數ナリ。

依テ $a = 2c$

此ニ c ハ一ツノ整数トス。

從テ $a^2 = 4c^2$

$a^2 = 2b^2$ 及ビ $a^2 = 4c^2$ ヨリ次ノ關係ヲ得

$$b^2 = 2c^2$$

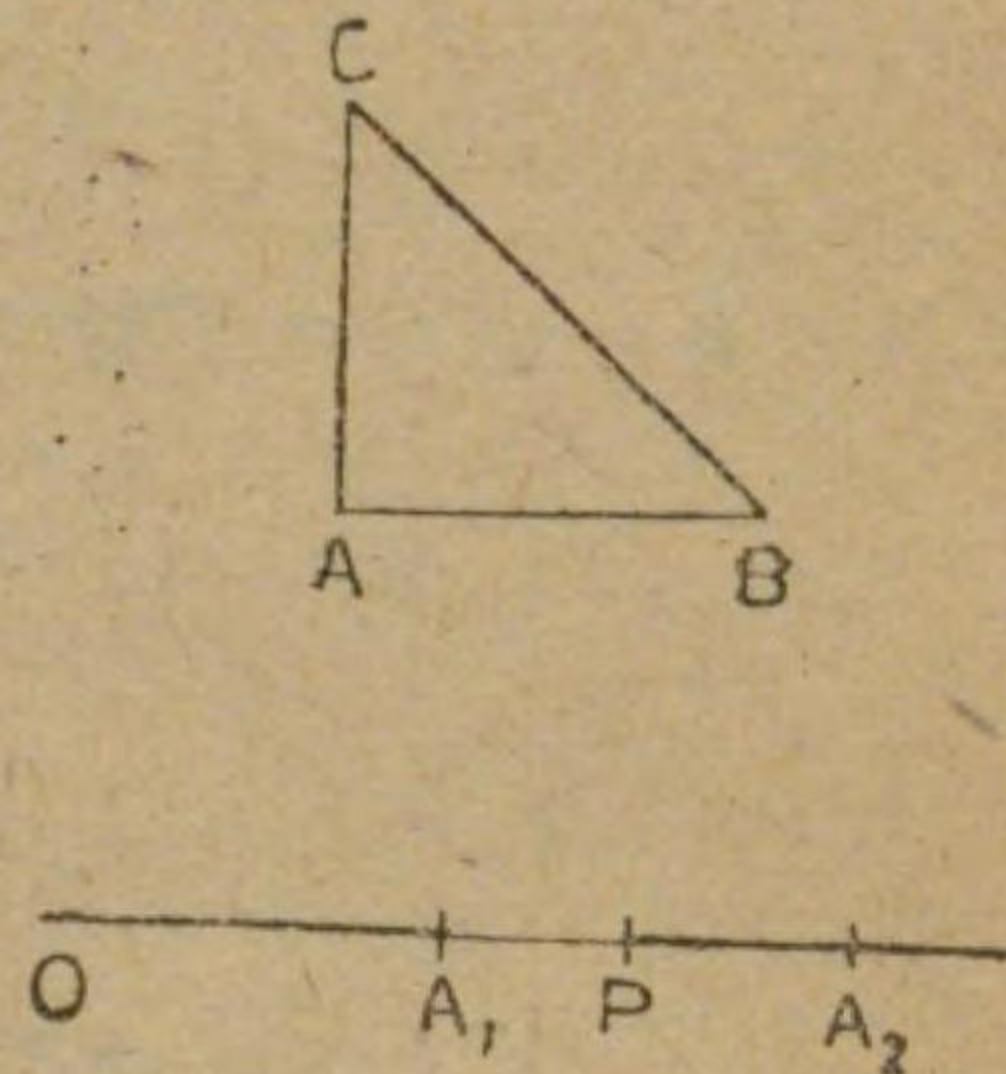
依テ又 b ハ 2 ニテ割リ切レザルベカラズ、即チ一ツノ偶數ナリ。

故ニ $\sqrt{2}$ ガ既約分數 $\frac{a}{b}$ ニテ之ヲ表ハシ得ルモノトスレバ a, b ハ共ニ偶數ナラザルベカラズ、即チ a, b 共ニ 2 ノ倍數ナル故ニ $\frac{a}{b}$ ハ既約分數ナリトイフ假定ニ反ス。

之ニヨリテ $\sqrt{2}$ ハ $\frac{a}{b}$ ノ如キ既約分數ニテ之ヲ表ハシ得ザルコト明ナリ。

上 證明ニヨリ $\sqrt{2}$ ハ何程ニテモ接近セルニツノ帶小數ノ間ニ
 アレドモ $\frac{a}{b}$ ノ形ニテ之ヲ表ハスコトヲ得ズ。故ニ前節ニヨリ有理
 數ニアラズ。然ルニ單位ノ長サヲ直角ノ兩邊 AB, AC トシテ二等邊
 直角三角形 ABC ヲ作ルトキハ其

ノ斜邊 BC ノ長サハ $\sqrt{2}$ ニ等シ
 ク從テ $\sqrt{2}$ ニ對應スル線分ヲ索
 メ得ルヲ以テ $\sqrt{2}$ ハ前節ニ於テ
 示セルガ如ク有理數ト同様ニ定直
 線上ノ一點 P ヲ以テ之ヲ代表セシ
 ムコトヲ得ベシ。



$\sqrt{2}$ ノ如キ數ヲ無理數トイフ、 $\sqrt[3]{2}$, $\sqrt[4]{3}$ 等ハ何レモ無理數ナ
 リ、尙或數 a ノ n 乗冪ガ一定ノ有理數 b ニ等シキガ如キ a ヲ索ムル
 場合又ハ一定ノ數 a ノ n 乗冪ガ一定ノ有理數 b ニ等シキガ如キ n ヲ
 索ムル場合等ニモ一般ニ無理數ヲ得ベシ。

注意 上ニ示セル如ク $\sqrt{2}$ ニ對シテ何程ニテモ之ニ近キ有理數
 ヲ索ムルコトヲ得、例ヘバ

$$1.4142135 < \sqrt{2} < 1.4142136$$

ニシテ 1.4142136 ト 1.4142135 トノ差ハ 0.0000001 ニ等シ、
 從テ $\sqrt{2}$ ノ値ヲ 1.4142136 又ハ 1.4142135 ト取ルトキ其ノ誤
 差ハ 0.0000001 ヨリモ小ナリ、之ニヨリテ $\sqrt{2}$ ノ近似値ヲ定メ
 テ實際ノ計算ニ代用スルコトヲ得ベシ。

他ノ無理數ニ就テモ同様ナリ。

3. 實數

有理數及ビ無理數ヲ併セテ實數トイフ、實數ハ一直線上ノ點ニテ
 之ヲ代表セシメ得ベク、又一直線上ノ點ニハ之ニ對應スル實數存在
 ス。

實數ノ計算ハ有理數ト同一ノ原則ニヨリテ行ハルルモノトス。

a, b ガ實數ニシテ $a-b > 0$ ナルトキハ a ハ b ヨリモ大ナリトイ
 ヒ、 $a-b < 0$ ナルトキハ a ハ b ヨリモ小ナリトイヒ、 $a-b = 0$ ナル
 トキハ a ト b トハ相等シトイフ。

$a > 0, b > 0$ ナルトキ

$$a - (-b) = a + b > 0$$

即チ

$$a - (-b) > 0$$

故ニ正數ハ負數ヨリモ大ナリ

次ニ

$$a - 0 = a > 0$$

$$(-b) - 0 = -b < 0$$

故ニ正數ハ 0 ヨリモ大ニシテ負數ハ 0 ヨリモ小ナリ。

又

$$(-a) - (-b) = -a + b = b - a$$

故ニ $b - a > 0$ ナルトキハ

$$(-a) - (-b) > 0$$

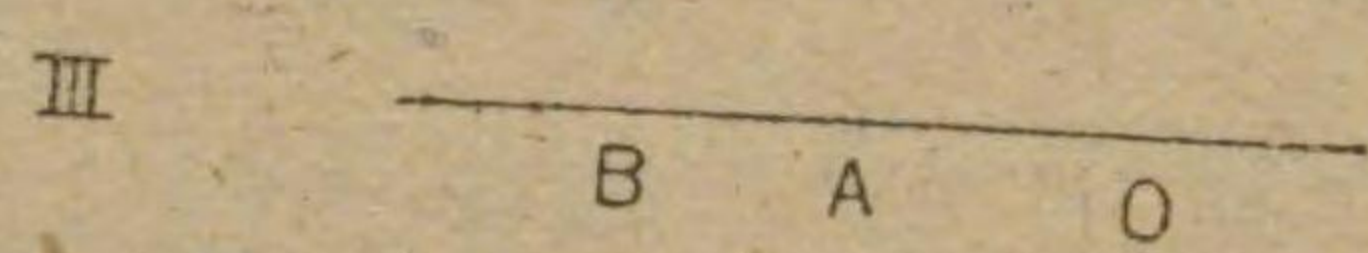
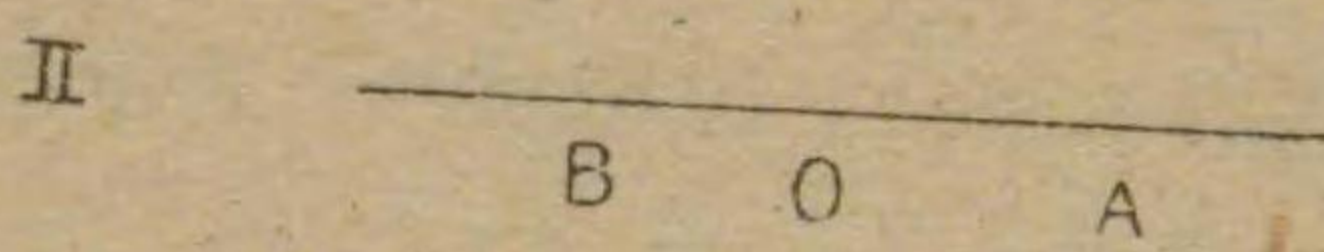
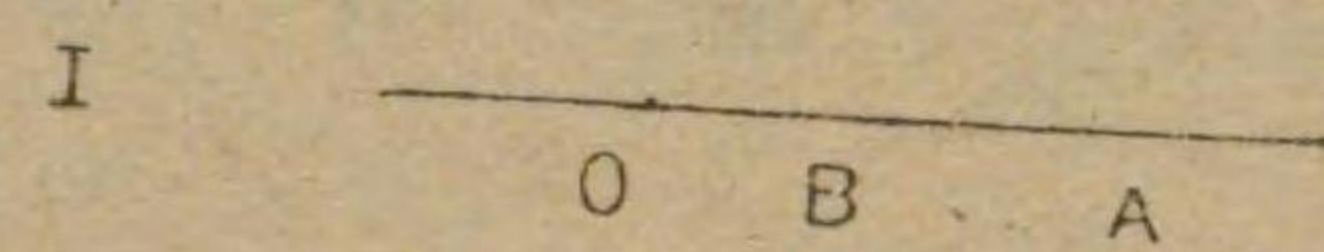
又 $b - a < 0$ ナルトキハ

$$(-a) - (-b) < 0$$

故ニ負數ノ大小ハ恒ニ其ノ絕對値ノ大小ト相反ス。

一直線上ニ於ケル實數ノ列ニ於テ其ノ何レノ一ツヲ取ルモ其ノ左
 方ニアルモノヨリモ大ニシテ右方ニアルモノヨリモ小ナリ。

$a > b$ トシ、 a ヲ表ハス點ヲA、又 b ヲ表ハス點ヲBトスルトキハ次ノ如ク三ツノ場合アリ。



今AヨリBニ至ル距離ヲABニテ表ハスコトトシ、AヨリBニ至ル方向ガ定點Oヨリ見タル正ノ方向ト一致スルトキハ正號又之ト反對ナルトキハ負號ヲ附スルコトト定ムレバ

I $BA = OA - OB = a - b$

II $BA = BO + OA = -OB + OA = -b + a = a - b$

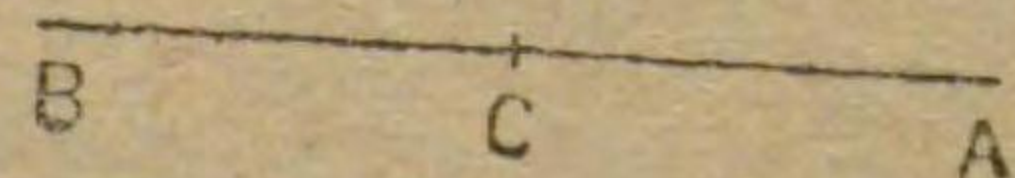
III $BA = BO - AO = -OB + OA = -b + a = a - b$

故ニ二點ABノ距離ハ恒ニ $a - b$ ニテ之ヲ表ハスコトヲ得、 $a < b$ ナルトキモ亦同様ナリ。

又 $a > b$ ナルトキハ前節ニヨリ

$$a - \frac{a-b}{2} = \frac{a+b}{2}, \quad \frac{a-b}{2} - b = \frac{a-b}{2}$$

故ニ $\frac{a+b}{2}$ ヲ表ハス點CヨリAニ至ル距離ハBヨリCニ至ル距離ニ等シ、即チ $\frac{a+b}{2}$ ニ對應スル點ハ線分ABノ中點ナリ。



4. 虚数, 複素数

實數ノ偶數冪ハ必ズ正ナリ、從テ負數ノ偶數冪根ヲ實數中ニ索ムルコトヲ得ズ、故ニ開方ニハ一ツノ制限アリ、此ノ制限ヲ除カンガ爲メニ新ナル數ヲ考ヘ $i = \sqrt{-1}$ ヲ虚数ノ單位トス、即チ

$$i^2 = -1$$

之ニヨレバ例ヘバ方程式 $x^2 + 2 = 0$ ノ根ハ $x = \pm \sqrt{2 \times (-1)}$ 即チ $x = \pm \sqrt{2}i$ ナリ。然ルニ方程式 $x^2 + x + 2 = 0$ ノ根ヲ索メントセバ

$$\left(x + \frac{1}{2}\right)^2 = \frac{1}{4} - 2 = -\frac{7}{4}$$

即チ $x + \frac{1}{2} = \pm \frac{\sqrt{7}}{2}i$

故ニ $x = -\frac{1}{2} + \frac{\sqrt{7}}{2}i$, 又ハ $x = -\frac{1}{2} - \frac{\sqrt{7}}{2}i$

此ノ場合ニハ根ハ實數ノ部分ト虚数ノ部分トヨリ成リ立ツ、依テ更ニ數ノ意義ヲ擴張シテ a 及ビ b ガ實數ニシテ $i = \sqrt{-1}$ ナルトキ $a + bi$ ニテ表ハス數ヲ複素数トイフ

複素数ヲ圖ニテ示サントスルトキハ定點Oヲ通過シテ互ニ垂直ナル直線 XX', YY' ヲ引キ、 XX' ノ上

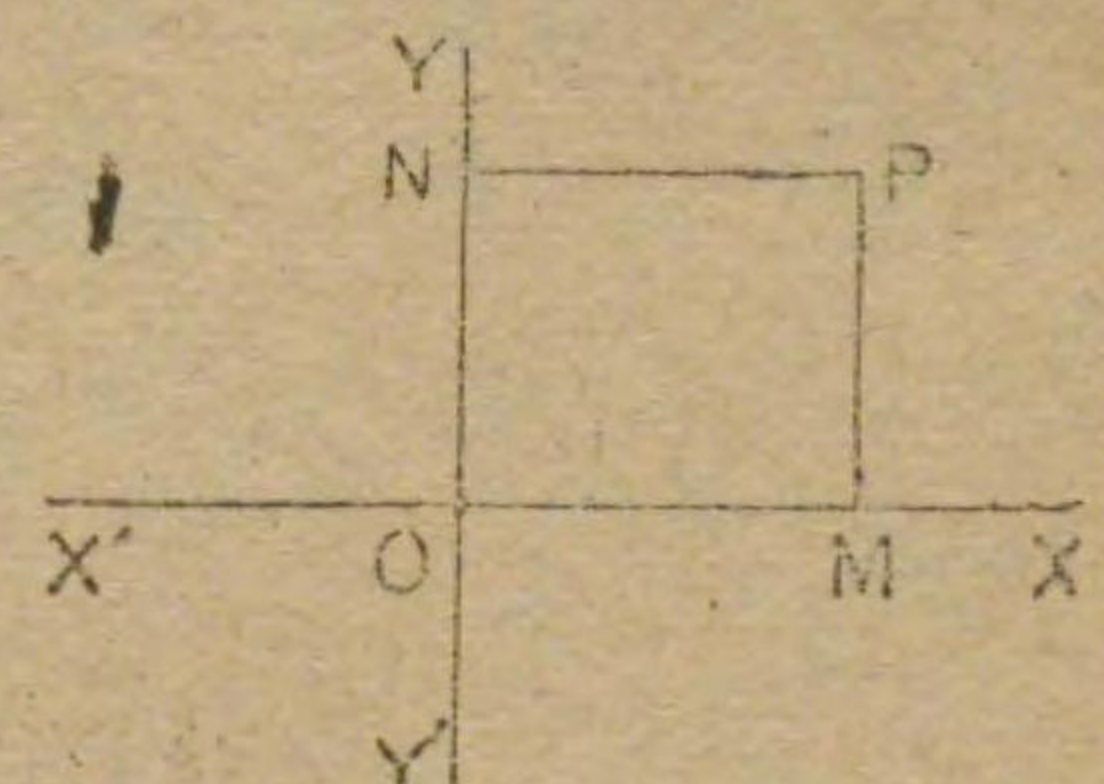
$= a$ ニ等シクOM、又 YY' ノ上ニ

b ニ等シクONヲ置キ、M、Nヨリ

夫々 XX', YY' ニ垂線ヲ引キ其ノ

交點ヲPトスルトキハ a, b ノ値ニ

ヨリテPノ位置定マリ、又Pガ與ヘラルルトキハ a, b ノ値確定ス。



特ニ $b=0$ ナルトキハ $a+bi$ ハ實數 a トナリ、 $a=0$ ナルトキハ虛數 bi トナル、即チ XX' 上ノ點ハ實數ヲ表ハシ、 YY' 上ノ點ハ虛數ヲ表ハシ、平面上ノ其ノ他ノ點ハ複素數ヲ表ハスモノトス。

複素數ノ計算ニ關シテハ實數ト同様ニシテ $i^2=-1$ トシテ取扱フベク、複素數ノ間ニ加減乗除ノ演算ヲ行ヒテ得タルモノハ何レモ複素數ナリ、即チ $a+bi$ 、 $a'+b'i$ ヲ二ツノ複素數トスレバ

$$(a+bi) + (a'+b'i) = (a+a') + (b+b')i$$

$$(a+bi) - (a'+b'i) = (a-a') + (b-b')i$$

$$(a+bi)(a'+b'i) = (aa' - bb') + (ab' + a'b)i$$

$$\frac{a+bi}{a'+b'i} = \frac{(a+bi)(a'-b'i)}{(a'+b'i)(a'-b'i)} = \frac{aa' + bb'}{a'^2 + b'^2} + \frac{a'b - ab'i}{a'^2 + b'^2}i$$

最後ノ式ニ於テ a' 及ビ b' ハ同時ニ零トナラザルモノトス。

又 $a+bi$ 及ビ $a'+b'i$ ニ於テ $a=a'$ 、 $b=b'$ ナルトキハ二ツノ複素數ハ相等シトイフ。

複素數ハ實數ノ如ク一直線上ニ於ケル點列ニテ之ヲ代表セシメ得ルモノニアラズ、從テ複素數ノ間ニハ大小ノ區別ナキモノトス。

第二章 函數ト其ノ圖示

5. 變數及ビ函數

圓ノ半徑ノ長サヲ r トシ、圓周率ヲ π トスルトキハ其ノ面積ハ πr^2 ニテ之ヲ表ハスコトヲ得、然ルニ π ハ如何ナル圓ニ對シテモ一定ノ値ヲ有スルガ故ニ半徑ノ長サヲ知ルトキハ圓ノ面積ハ確定ス、又半徑ガ a ナル場合ト $a+h$ ナル場合トヲ比較スレバ面積ノ差

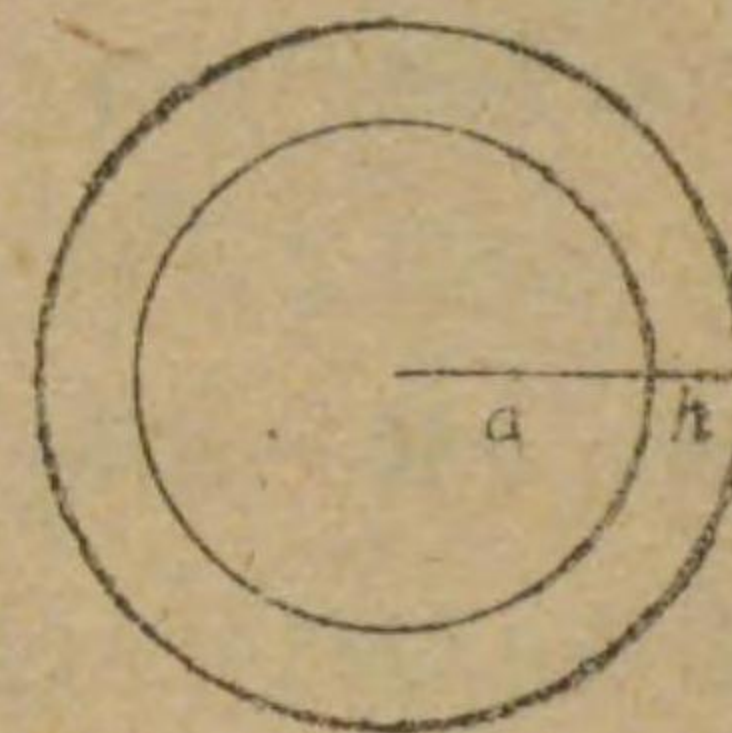
$$\pi(a+h)^2 - \pi a^2 = \pi(2a+h)h$$

ニシテ、此ノ差ハ h ト共ニ變化ス。即チ半徑ガ種々ノ異リタル値ヲ取ルトキ面積モ亦之ニ從テ種々ノ値ヲ取ル。

今 A ヲ以テ半徑ガ r ナル圓ノ面積ヲ表ハストキハ

$$A = \pi r^2$$

此ノ場合ニ A ハ r ノ函數ナリトイフ。



又 r ノ如ク種々ノ異リタル値ヲ取り得ル數ヲ變數トイヒ、之ニ對シテ π ノ如ク常ニ一定ノ値ヲ取ル數ヲ常數トイフ。

A ハ r ガ其ノ値ヲ變ズレバ之ニ從テ其ノ値ヲ變ズルガ故ニ又一ツノ變數ナリ。

又上ノ式ヨリ

$$r = \sqrt{\frac{A}{\pi}}$$

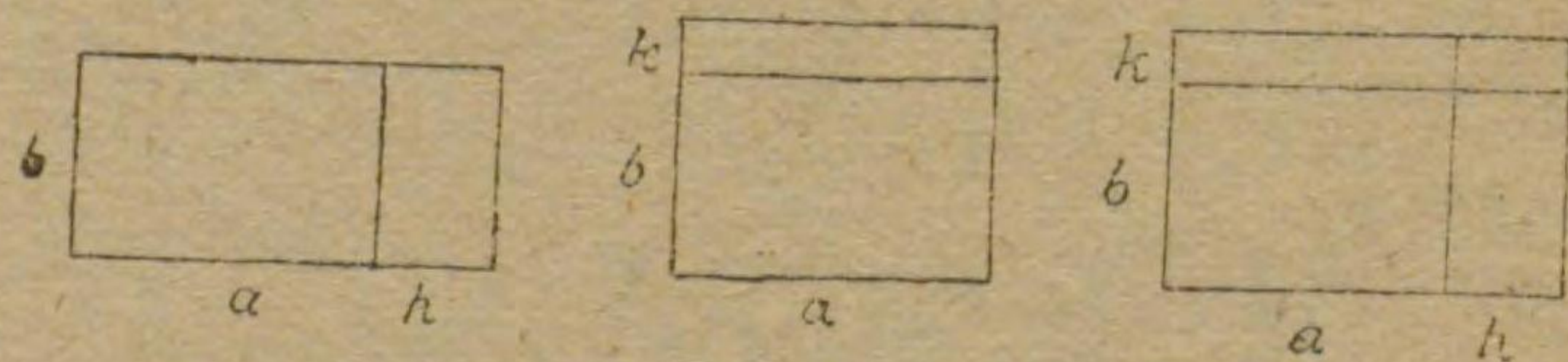
Aノ値定マレバrノ値定マル、故ニ逆ニrハAノ函数ナリトイフコトヲ得。

一般ニ一ツノ變數xガ種々ノ異リタル値ヲ取ルトキ之ニ對應シテ他ノ變數yノ値ガ定マル場合ニハyハxノ函数ナリトイヒ、xヲ獨立變數、yヲ從屬變數トイフ。

前例 $A = \pi r^2$ ニ於テハrハ獨立變數ニシテAハ從屬變數ナリ、又 $r = \sqrt{\frac{A}{\pi}}$ ニ於テハAハ獨立變數ニシテrハ從屬變數ナリ。

尙變數ノ取ル値ハ必ズシモ實數ト限ラズ、複素數又ハ虚數ヲ取ルコトヲ得ベシ、從テ特ニ實數ノミニ限ル場合ニハ實變數トイフベキナレドモ以下實數値ヲ取ル場合ノミニ就テ論ズルヲ以テ單ニ變數トイフコトト定ム、函数ニ就テモ同様ナリ。

又獨立變數ハ必ズシモ一個ニ限ラズ、例ヘバ矩形ノ兩邊ヲ a, b トスルトキハ其ノ面積ハ ab ニテ之ヲ表ハスコトヲ得、即チ兩邊ノ長サヲ知レバ其ノ面積ハ確定ス、若シ b ガ一定シテ a ガ $a+h$ ニ變ズレバ面積ノ變化ハ $(a+h)b - ab = bh$ トナリ、 a ガ一定シテ b ガ $b+k$ ニ變ズレバ面積ノ變化ハ $a(b+k) - ab = ak$ トナル、又 a, b ガ同時ニ $a+h, b+k$ ニ變ズレバ面積ノ變化ハ $(a+h)(b+k) - ab = ak + bh + hk$ トナル。



故ニ矩形ノ面積ハ其ノ兩邊 a, b ノ函数ナリ

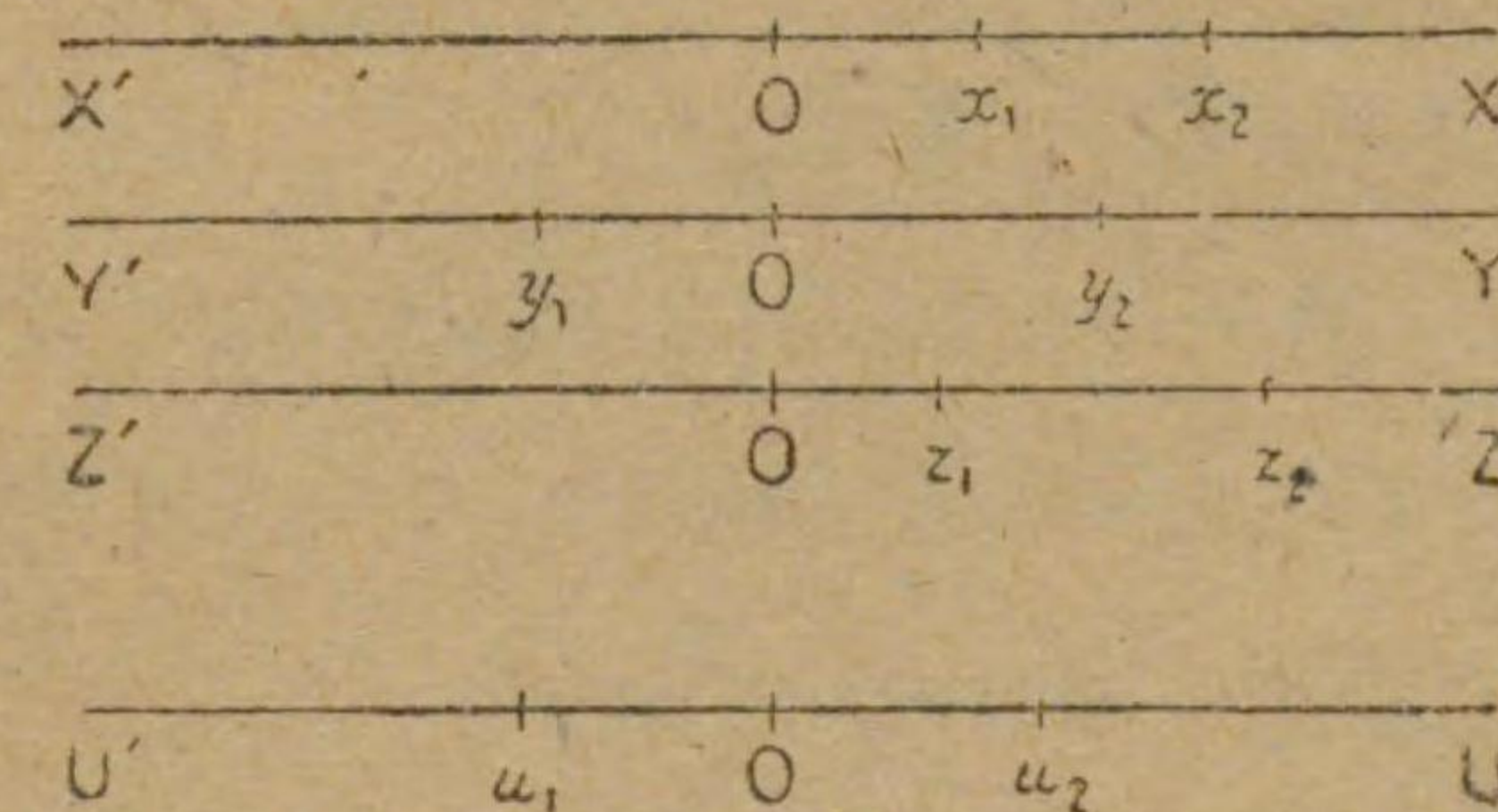
同様ニ直方體ノ三稜ヲ a, b, c トスルトキハ其ノ體積ハ abc ニテ之ヲ表ハスコトヲ得、故ニ直方體ノ體積ハ三稜 a, b, c ノ函数ナリ。

一般ニ一ツノ變數 u ノ値ガ他ノ獨立變數 x, y, z, \dots ノ値ニヨリテ定マルトキハ u ハ x, y, z, \dots ノ函数ナリトイヒ、之ヲ

$$u = f(x, y, z, \dots)$$

ト記ス、其ノ最モ簡單ナルモノハ獨立變數ガ一個ナル場合即チ $u = f(x)$ ナリ。

尙 x, y, z, \dots, u ハ何レモ實數ニシテ直線上ノ點ニテ之ヲ表ハスコトヲ得ベキニヨリ圖ヲ以テ之ヲ示セバ次ノ如シ。



上ノ圖ハ x, y, z, \dots ガ夫々 x_1, y_1, z_1, \dots ナル値ヲ取ルトキハ u ハ u_1 トナリ、 x, y, z, \dots ガ夫々 x_2, y_2, z_2, \dots トナルトキハ u ハ u_2 トナルコトヲ表ハス。

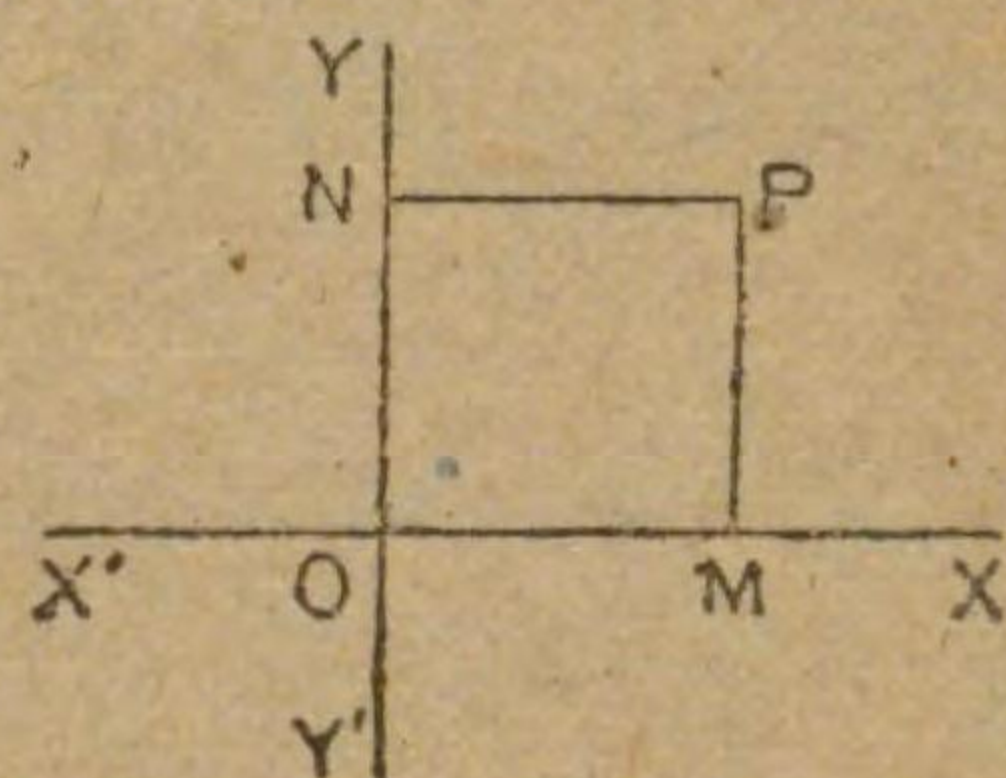
注意 變數ノ記號ハ問題ニヨリ適宜如何ナル文字ヲ用フルモ差支ナシト雖ドモ通常ハ x, y, z, \dots 等ノ文字ヲ用ヒ、之ニ對シテ常數ニハ a, b, c, \dots 等ノ文字ヲ用フ。

尙獨立變數ガ一個ナル場合ノ研究ニハ次ニ示スガ如ク二ツノ文字ヲ用ヒテ平面上ノ一點ヲ表ハス方法ヲ用フルヲ便トス。

6. 平面上ニ於ケル點ノ座標

平面上ニ二ツノ互ニ直角ニ交ハル直線 XX', YY' ヲ引キ, 其ノ交點ヲ O トシ, 平面上ノ一點 P ヨリ此

ノ二ツノ直線ニ垂線ヲ引キ, XX' トノ交點ヲ M , 又 YY' トノ交點ヲ N トス.



然ルトキハ XX', YY' ハ一定ナルガ故ニ O ハ一定ノ點ニシテ, 從テ P ヨリ下セル垂線ノ足 M, N ノ位置ハ一定ナリ, 又 XX' 上ノ點 M 及ビ YY' 上ノ點 N ノ位置定マルトキハ M, N ヨリ XX', YY' ニ夫々垂線ヲ引クトキハ其ノ交點 P ノ位置定マル.

然ルニ XX' 上ノ點 M ノ位置ハ OM ノ長サ及ビ其ノ方向ニヨリテ決定セラルベク, YY' 上ノ點 N ノ位置ハ ON ノ長サ及ビ其ノ方向ニヨリテ決定セラルベシ.

故ニ同一ノ長サノ單位ヲ用ヒテ OM, ON ヲ測リテ其ノ數値ヲ得; M ガ XX' ノ上ニ於テ O ノ右方ニアレバ正, 又左方ニアレバ負トシ, N ガ YY' ノ上ニ於テ O ノ上方ニアレバ正, 又下方ニアレバ負トスルコトニヨリテ M, N ノ位置, 從テ P ノ位置定マル.

O ヲ原點, OM ヲ表ハス數 x ヲ P ノ横座標又ハ x 座標トイヒ, ON ヲ表ハス數 y ヲ P ノ縦座標又ハ y 座標トイヒ, 之ヲ總稱シテ單ニ P ノ座標トイフ.

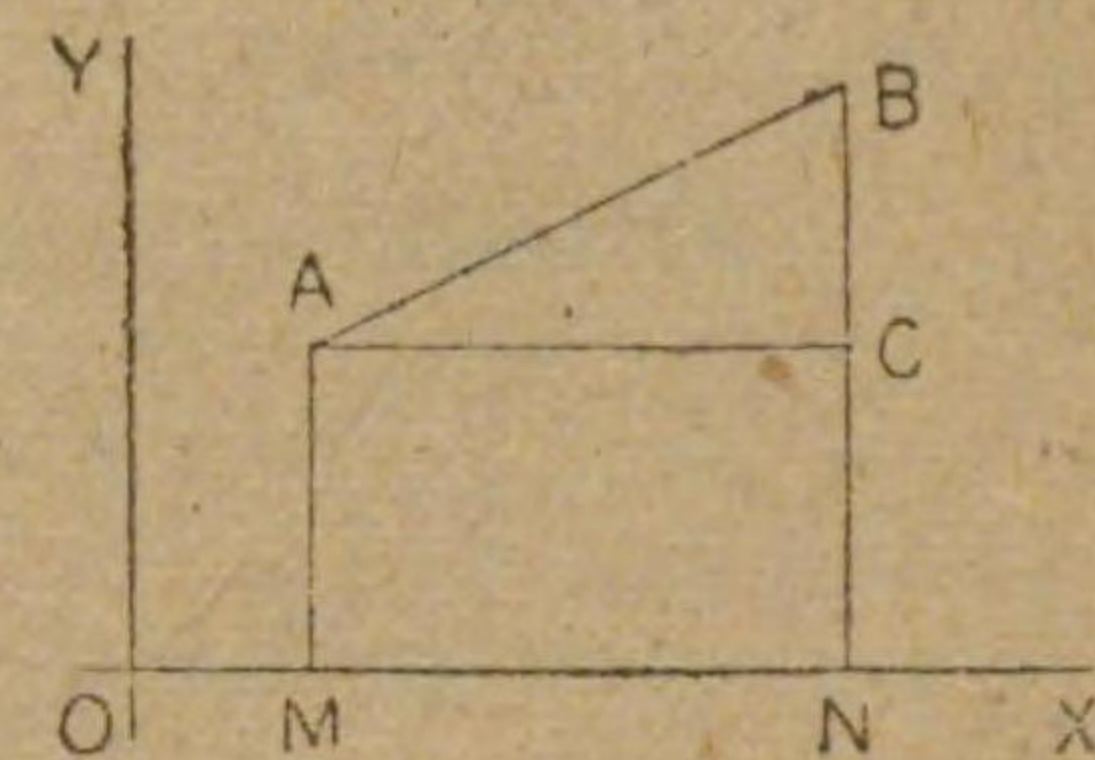
點 P ノ座標ガ x, y ナルコトヲ $P(x, y)$ ト記ス, 原點 O ノ座標ハ $(0, 0)$ ナリ.

又 XX' ヲ横軸又ハ x 軸トイヒ, YY' ヲ縦軸又ハ y 軸トイヒ, 之ヲ總稱シテ座標軸トイフ.

横軸上ノ點ノ座標ハ $(x, 0)$ ニシテ縦軸上ノ點ノ座標ハ $(0, y)$ ナリ.

上ノ如クシテ點ノ座標定マルトキハ第3節ニ於ケルト同様ニシテ平面上ニ於ケル二點 A, B ノ距離ヲ索ムルコトヲ得.

$A(x_1, y_1), B(x_2, y_2)$ ヨリ横軸ニ垂線ヲ引キ, 横軸トノ交點ヲ夫々 M, N トシ, A ヨリ横軸ニ平行線ヲ引キ, BN トノ交點ヲ C トスルトキハ



$$AC = MN = ON - OM = x_2 - x_1$$

$$CB = NB - NC = NB - MA = y_2 - y_1$$

然ルニ

$$AB^2 = AC^2 + CB^2$$

故ニ

$$AB^2 = (x_2 - x_1)^2 + (y_2 - y_1)^2$$

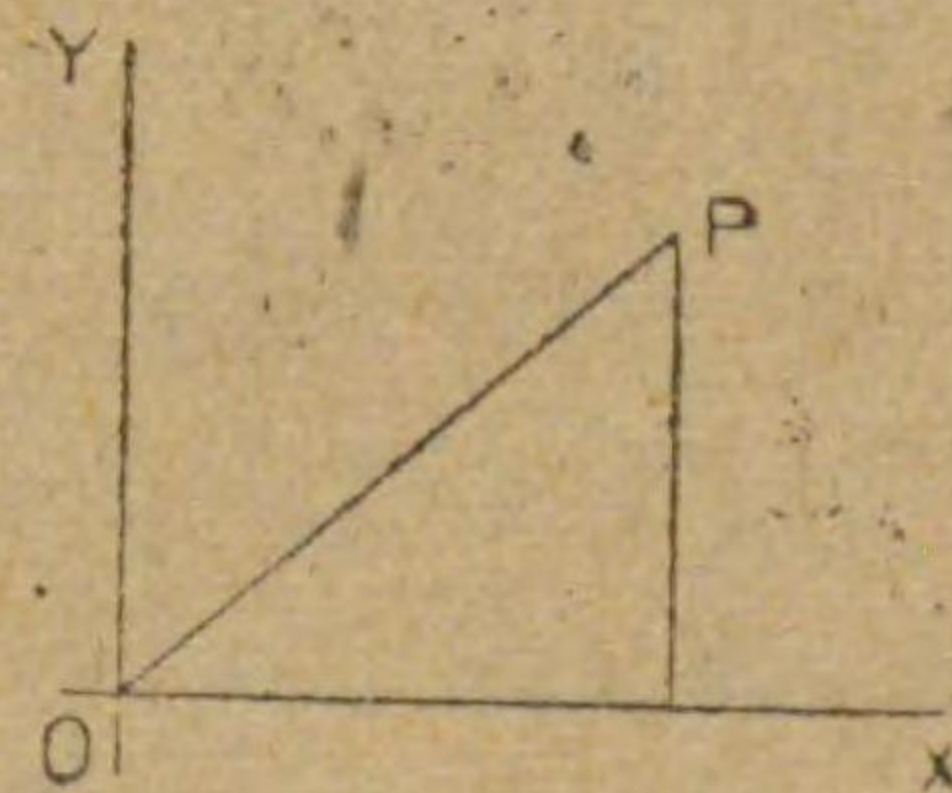
即チ

$$AB = \sqrt{(x_2 - x_1)^2 + (y_2 - y_1)^2} \quad (1)$$

上ノ式ガ A, B ノ位置如何ニ係ハラズ眞ナルコトハ第3節ニヨリテ明カナリ.

此ノ特別ナル場合トシテ原點 $O(0, 0)$ ト點 $P(x, y)$ トノ距離ハ次ノ如シ.

$$OP = \sqrt{x^2 + y^2}$$



又二點ノ座標ヲ知ルトキハ之ヲ兩端トスル線分ノ中點ノ座標ハ次ノ如クシテ之ヲ索ムルコトヲ得.

$A(x_1, y_1), B(x_2, y_2)$ ノ中點ヲ $P(x, y)$

トシ, A, B, P ヨリ横軸ニ夫々垂線 AM, BN, PQ ヲ引クトキハ

$$MQ = QN$$

$$MQ = OQ - OM = x - x_1$$

$$QN = ON - OQ = x_2 - x$$

故ニ $x - x_1 = x_2 - x$

即チ $x = \frac{x_1 + x_2}{2}$

同様ニ A, B, P ヨリ縦軸ニ垂線ヲ引クコトニヨリ

$$y = \frac{y_1 + y_2}{2}$$

故ニ $x = \frac{x_1 + x_2}{2}, y = \frac{y_1 + y_2}{2}$ (2)

ハ線分ノ中點ノ座標ナリ.

以上ノ應用トシテ矩形 $OABC$ ヲ取リ, OA, OC ヲ横軸及ビ縦軸ノ上ニ置キ,

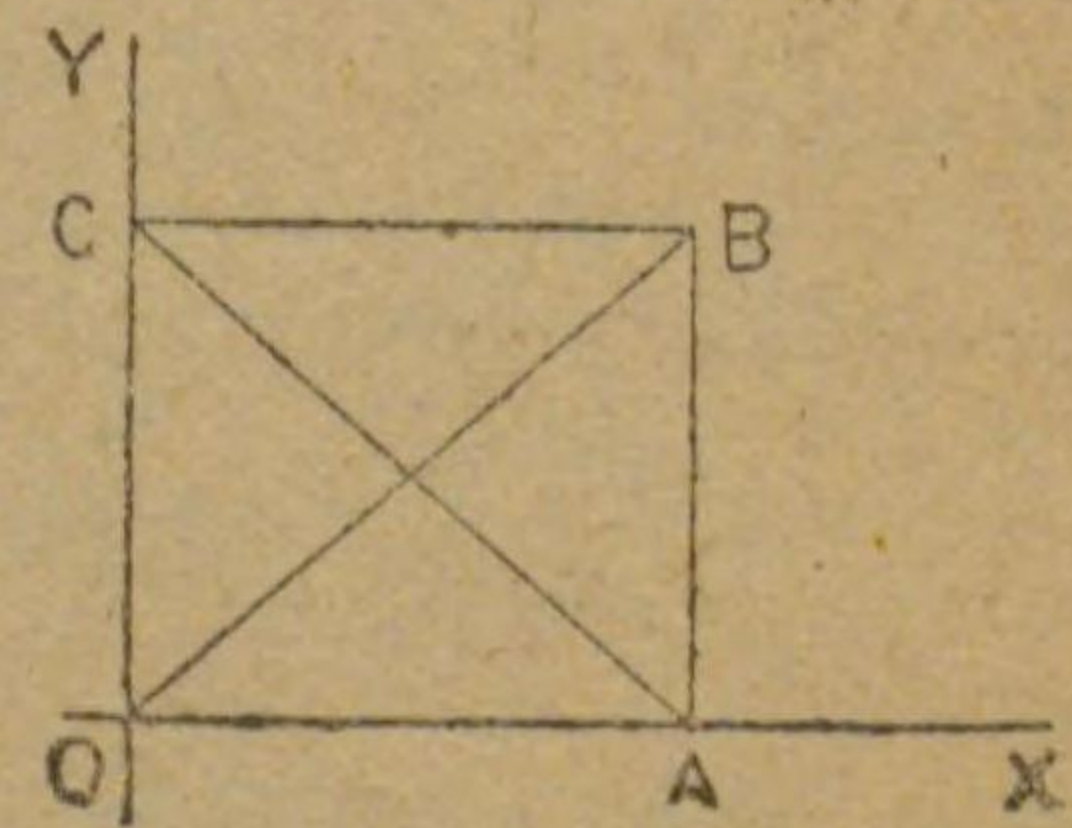
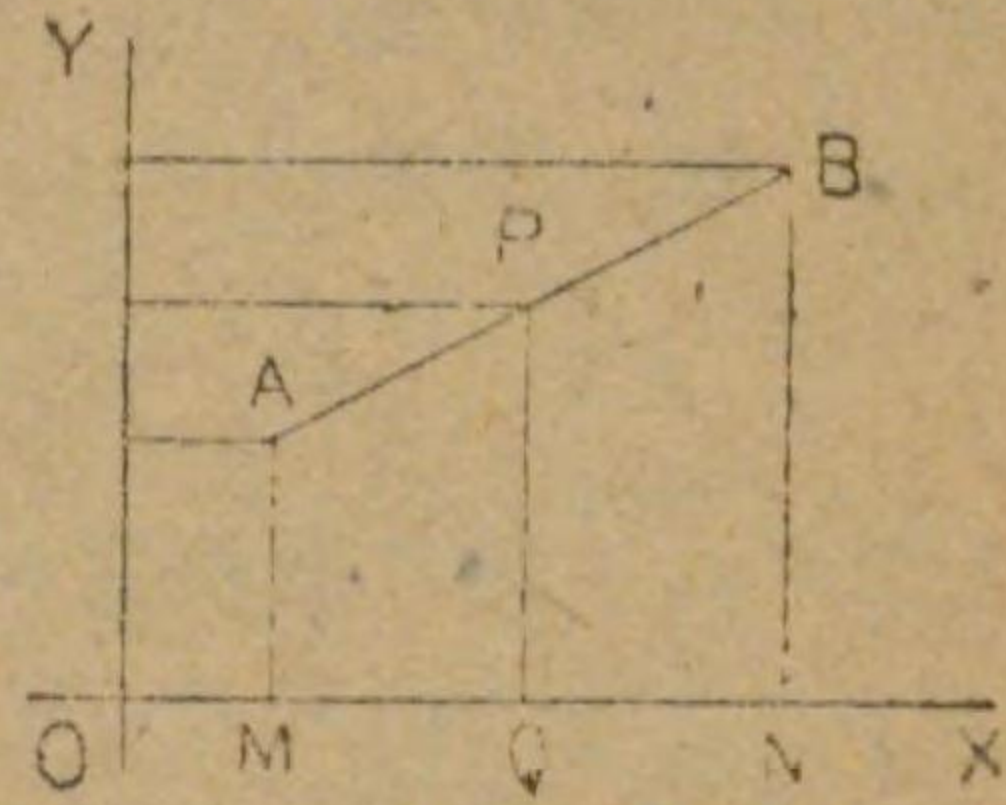
$$OA = a, OC = c$$

トスルトキハ頂點ノ座標ハ夫々

$$O(0, 0), A(a, 0), B(a, c),$$

$$C(0, c)$$

ナリ.



故ニ (1)ニヨリ

$$AC = \sqrt{a^2 + c^2} = OB$$

又 AC 及ビ OB ノ中點ノ座標ハ何レモ $(\frac{a}{2}, \frac{c}{2})$ ナリ.

之ニヨリテ矩形ノ對角線ハ相等シク且ツ互ニ二等分スルコト明カナリ.

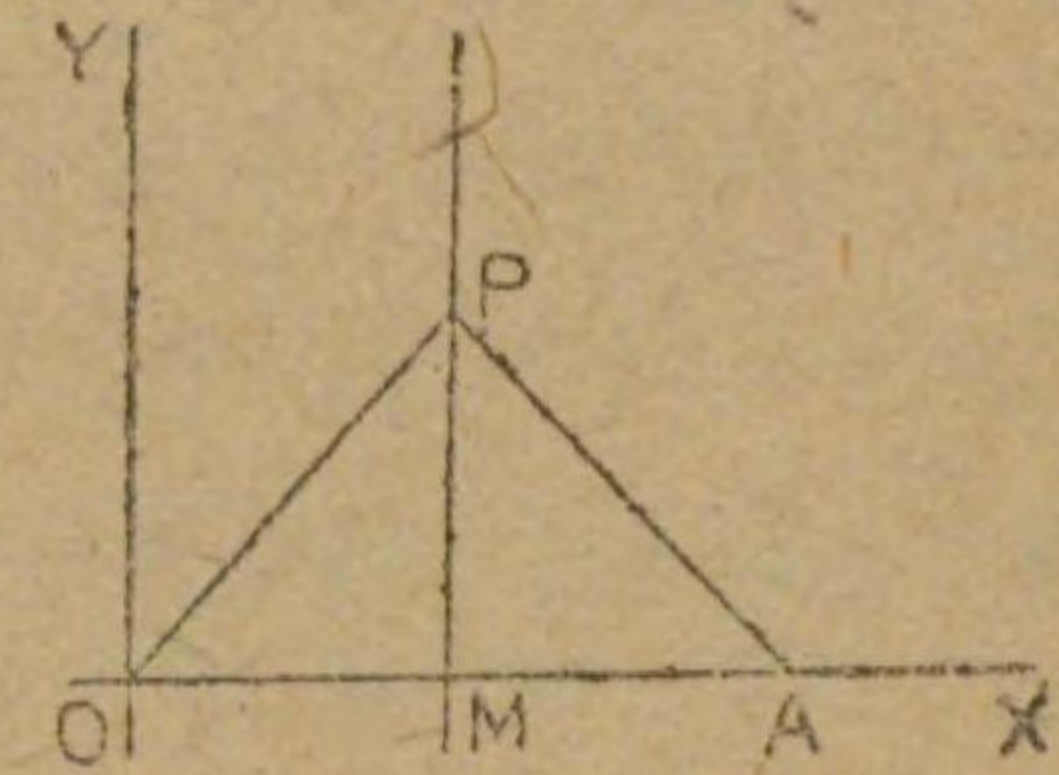
次ニ二點ヲ $O(0, 0), A(a, 0)$ ト

シ, 任意ノ一點ヲ $P(x, y)$ トスル

トキハ

$$OP^2 = x^2 + y^2$$

$$AP^2 = (a-x)^2 + y^2$$



故ニ P ガ O 及ビ A ヨリ等距離ニアルトスレバ

$$x^2 + y^2 = (a-x)^2 + y^2$$

即チ $a^2 - 2ax = 0$

$a > 0$ ナルヲ以テ

$$x = \frac{a}{2}$$

OA ノ中點 $M(\frac{a}{2}, 0)$ ヲ通過シテ之ニ垂直ナル直線上ノ點ハ何レモ

方程式 $x = \frac{a}{2}$ ヲ満足シ, 其ノ右方ニアル點ノ座標ヲ x_1, y_1 トスレバ

$x_1 > \frac{a}{2}$ 又其ノ左方ニアル點ノ座標ヲ x_2, y_2 トスレバ $x_2 < \frac{a}{2}$

故ニ M ヲ通過シテ, OA ニ垂直ナル直線上ノ點ハ O 及ビ A ヨリ等

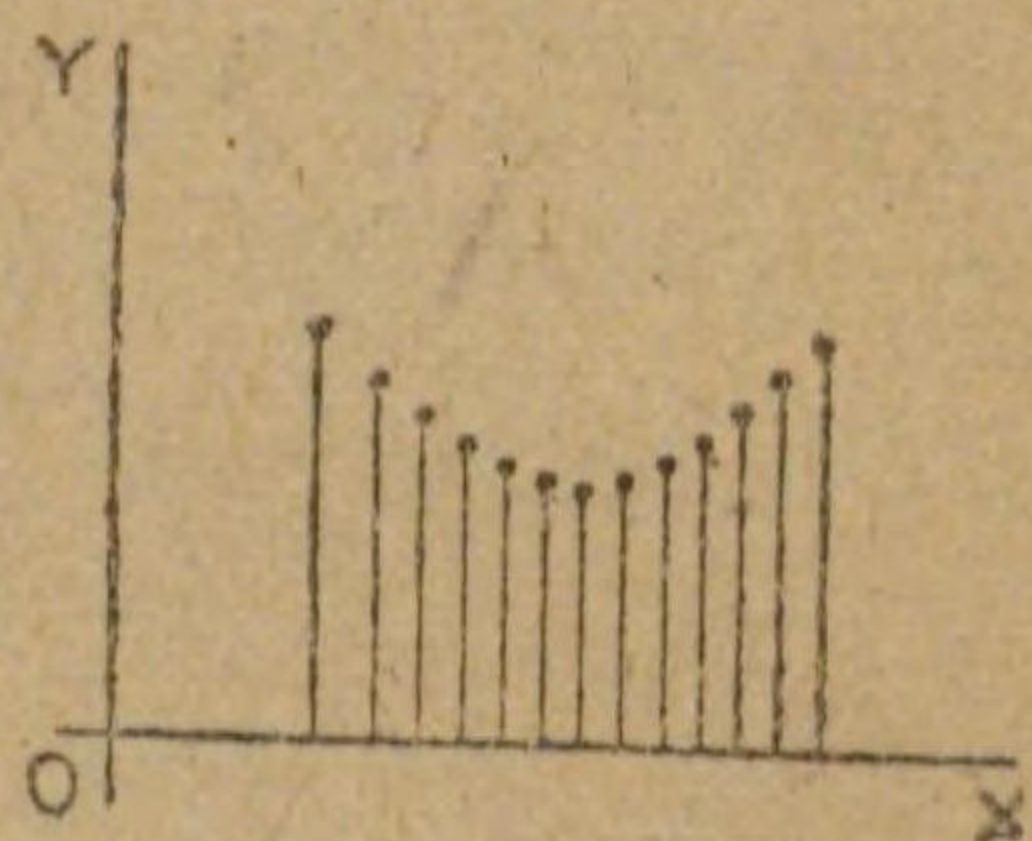
距離ニアル條件ヲ満足シ其ノ他ノ點ハ之ヲ満足セズ, 即チ二點 $O,$

A ヨリ等距離ニアル點ノ軌跡ハ OA ヲ直角ニ二等分スル直線ナリ.

7. 函数ノ圖示

函数 $y=f(x)$ = 於テ x ニ一ツノ値ヲ與フルトキ之ニ對應シテ y ノ實値ヲ得ル場合ニハ x, y ノ此ノ一對ノ値ハ前節ニヨリ平面上ニ於ケル一點ノ座標ト考フルコトヲ得.

x = 順次ニ少シヅツ異リタル値 $x_1, x_2, x_3, \dots, x_n, \dots$ ヲ與フルトキ之ニ對應スル y ノ値 $y_1, y_2, y_3, \dots, y_n, \dots$ ヲ得. 從テ此ニ限リナク多クノ點ノ列ヲ決定スルコトトナル.



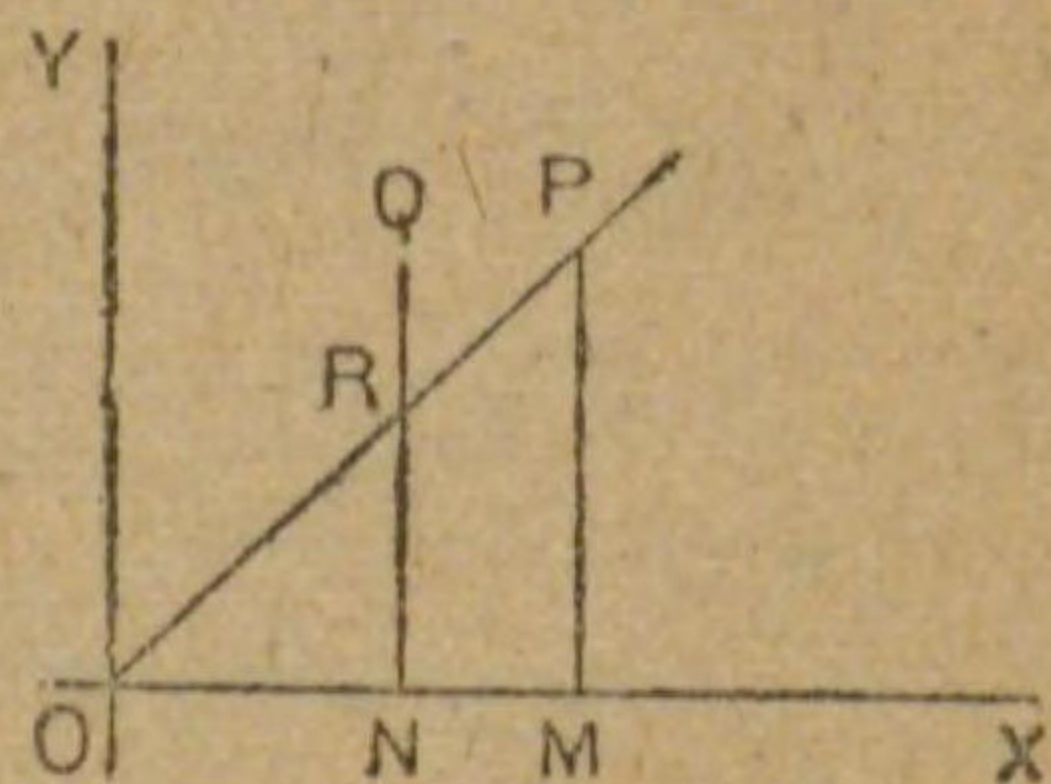
此ノ如クシテ得タル點列ニヨリ方程式 $y=f(x)$ ノ表ハス曲線ノ形ヲ畫キ. 之ニヨリテ函数ノ性質ヲ明カニスルコトヲ得ベシ.

次ニ函数ノ圖示ニ關スル二三ノ例ヲ掲グ.

(i) $y=x$

$x=0$ ノトキ $y=0$ ニシテ x ガ 0 ヨリ増大スルニ從ヒ y モ亦増大シ. 其ノ値ハ恒ニ相等シ. x ガ負ナルトキモ亦同様ナリ

依テ角 XOY ノ二等分線上ニアル點 $P(x,y)$ ハ何レモ方程式 $y=x$ ヲ満足ス.



此ノ二等分線ノ上方ニアル一點 $Q(x_1, y_1)$ ヲ取リ. OX = 垂線ヲ引キ OP, OX トノ交點ヲ夫々 R, N トスルトキハ R ハ二等分線上ノ一點ナルガ故ニ

$ON = NR$

然ルニ

$NQ > NR$

故ニ

$NQ > ON$

即チ

$y_1 > x_1$

依テ二等分線ノ上方ニアル點ノ座標ハ方程式 $y=x$ ヲ満足セズ. 其ノ下方ニアル點ニ就テモ同様ナリ. 故ニ $y=x$ ハ座標軸 OX, OY ノナス角ノ二等分線ヲ表ハス.

(ii) $y=x^2$

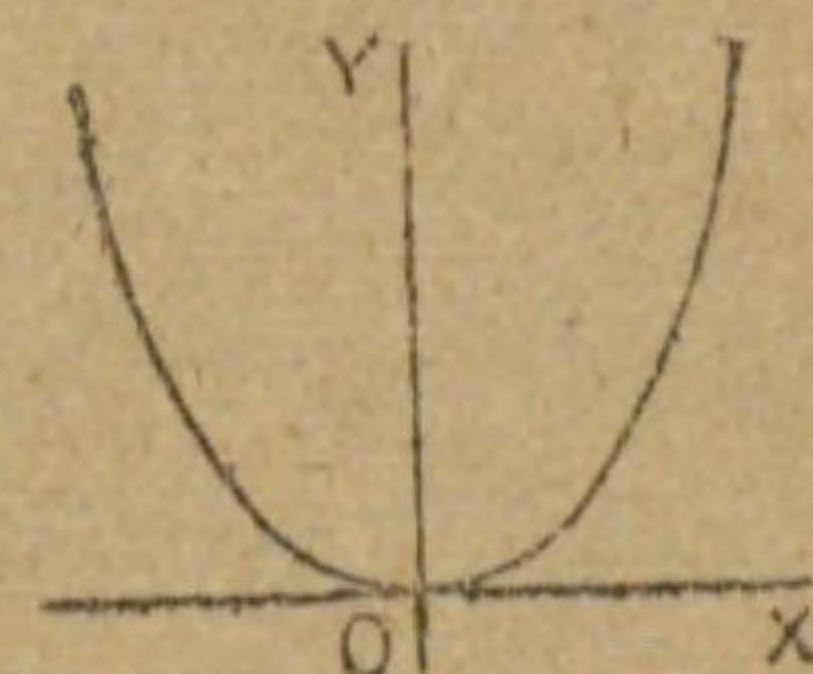
$x=0$ ノトキ $y=0$ ニシテ x ノ正負ニ關セズ y ノ値ハ恒ニ正ナリ. 故ニ曲線ハ横軸ノ上方ニノミ存在ス.

x ノ代リニ $-x$ ト書クモ y ノ値變ゼズ. 故ニ曲線ハ縦軸ニ沿ウテ之ヲ折リ返ヘシ相重ナラシムルコトヲ得. 即チ縦軸ニ關シテ對稱ナリ.

x, y ノ相對應スル値ヲ擧グレバ次ノ如シ.

x	± 1	± 2	± 3	± 4	± 5	± 6	± 7	± 8	± 9	± 10
y	1	4	9	16	25	36	49	64	81	100

即チ x ノ絶對値ガ増大スルニ從ヒ y ノ値ハ益増大ス. 故ニ曲線ハ原点ヲ左右ニ相距ルニ從ヒ益横軸ニ遠ザカル.



上記ノ性質ヲ參考シテ曲線ヲ畫ケバ右ノ如キ圖形ヲ得.

方程式 $y=x^2$ ハ之ヲ次ノ如ク書クコトヲ得.

$$\left(y + \frac{1}{4}\right)^2 - \left(y - \frac{1}{4}\right)^2 = x^2$$

即チ

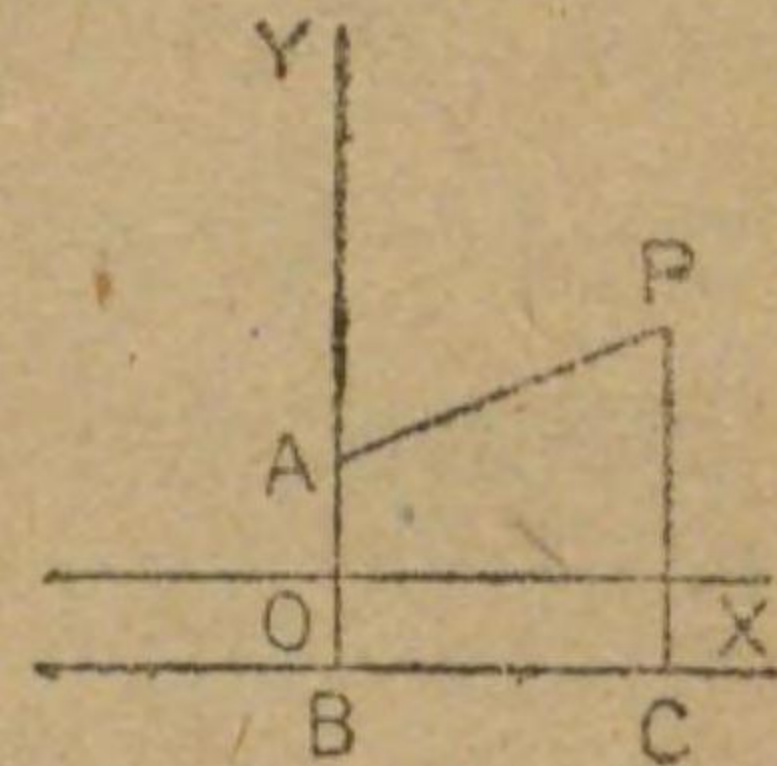
$$\left(y + \frac{1}{4}\right)^2 = \left(y - \frac{1}{4}\right)^2 + x^2$$

O ヲ原點, P(x,y) ヲ曲線上ノ一

點トシ, 縦軸上ノ一點 A ヲ取り,

OA = $\frac{1}{4}$ ナラシムルトキハ

$$\overline{AP}^2 = \left(y - \frac{1}{4}\right)^2 + x^2$$



又横軸 = 平行 = $\frac{1}{4}$ ノ距離 = 於テ A ノ反對ノ側 = 直線 BC ヲ引キ,

P ヲリ之 = 垂線 PC ヲ下ストキハ

$$\overline{PC}^2 = \left(y + \frac{1}{4}\right)^2$$

依テ

$$\overline{AP}^2 = \overline{PC}^2$$

從テ

$$AP = PC$$

故 = 此ノ曲線ハ定點 A 及ビ定直線 BC ヲリ等距離 = アル點ノ軌跡ナリ, 之ヲ拋物線トイヒ, O ヲ其ノ頂點, A ヲ其ノ焦點, BC ヲ其ノ準線トイフ.

$$(iii) \quad y = \frac{1}{x}$$

$x > 0$ ナルトキハ $y > 0$, 又 $x < 0$ ナルトキハ $y < 0$.

x, y ノ代リ = $-x, -y$ ト書クモ方程式變セズ, 故 = 原點ハ曲線上ノ點(x,y) 及ビ點(-x, -y) ヲ兩端トスル線分ノ中點ナリ, 即チ曲線ハ原點 = 關シテ對稱ナリ

x, y ノ相對應スル値ヲ舉グレバ次ノ如シ.

$$x \quad \pm 1 \quad \pm 2 \quad \pm 3 \quad \pm 4 \quad \pm 5 \quad \pm 6 \quad \pm 7 \quad \pm 8 \quad \pm 9 \quad \pm 10 \quad \dots$$

$$y \quad \pm 1 \quad \pm \frac{1}{2} \quad \pm \frac{1}{3} \quad \pm \frac{1}{4} \quad \pm \frac{1}{5} \quad \pm \frac{1}{6} \quad \pm \frac{1}{7} \quad \pm \frac{1}{8} \quad \pm \frac{1}{9} \quad \pm \frac{1}{10} \quad \dots$$

即チ x ガ 0 ヲリ益増大スル = 從ヒ y ノ値ハ益減少シ, x ノ限リナク

大ナルトキ, y ノ値ハ限リナク小ナ

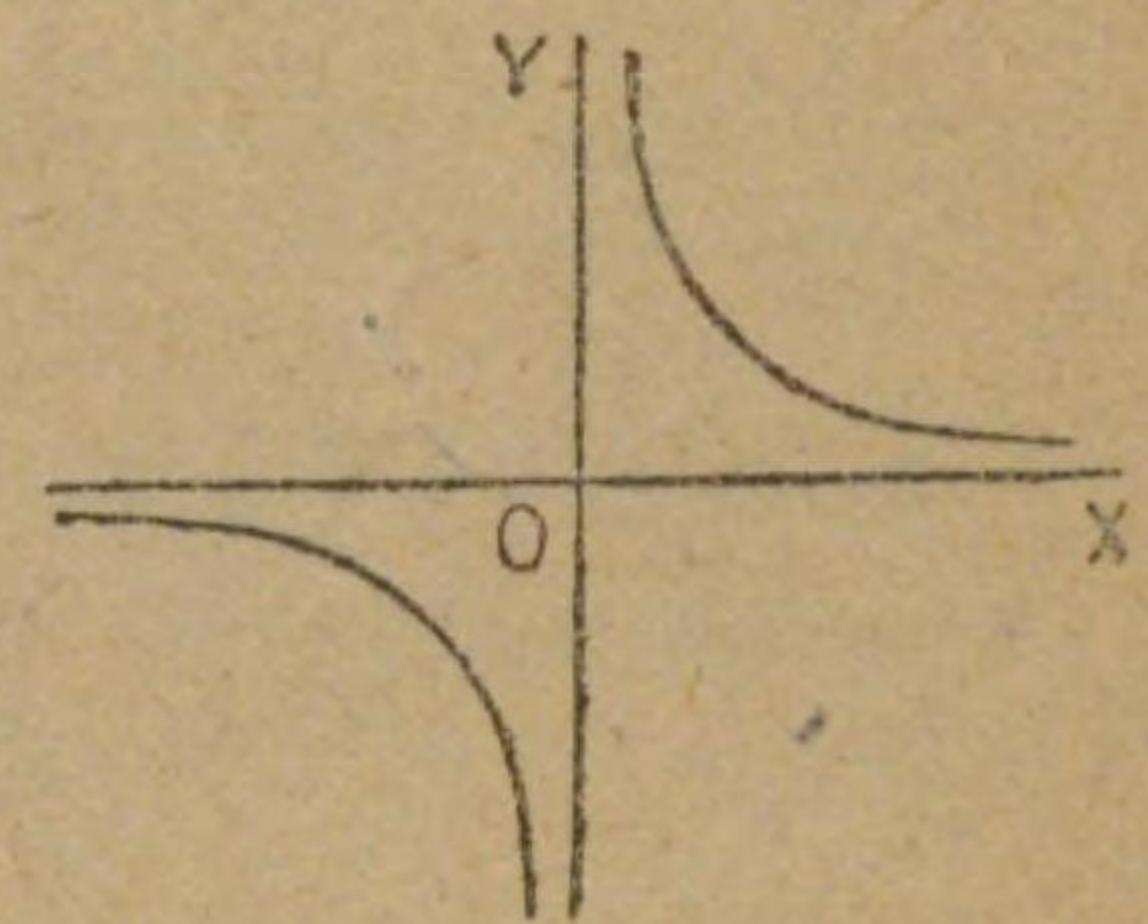
リ, 故 = 曲線ハ益横軸 = 近ヅク.

x ト y トヲ交換シテ考フルモ亦同

様ナリ.

上記ノ性質ヲ參考シテ曲線ヲ畫ケ

ハ右ノ如キ圖形ヲ得.



尙此ノ曲線上ノ一點 P(x,y) ヲリ横軸及ビ縦軸 = 夫々垂線 PM, PN

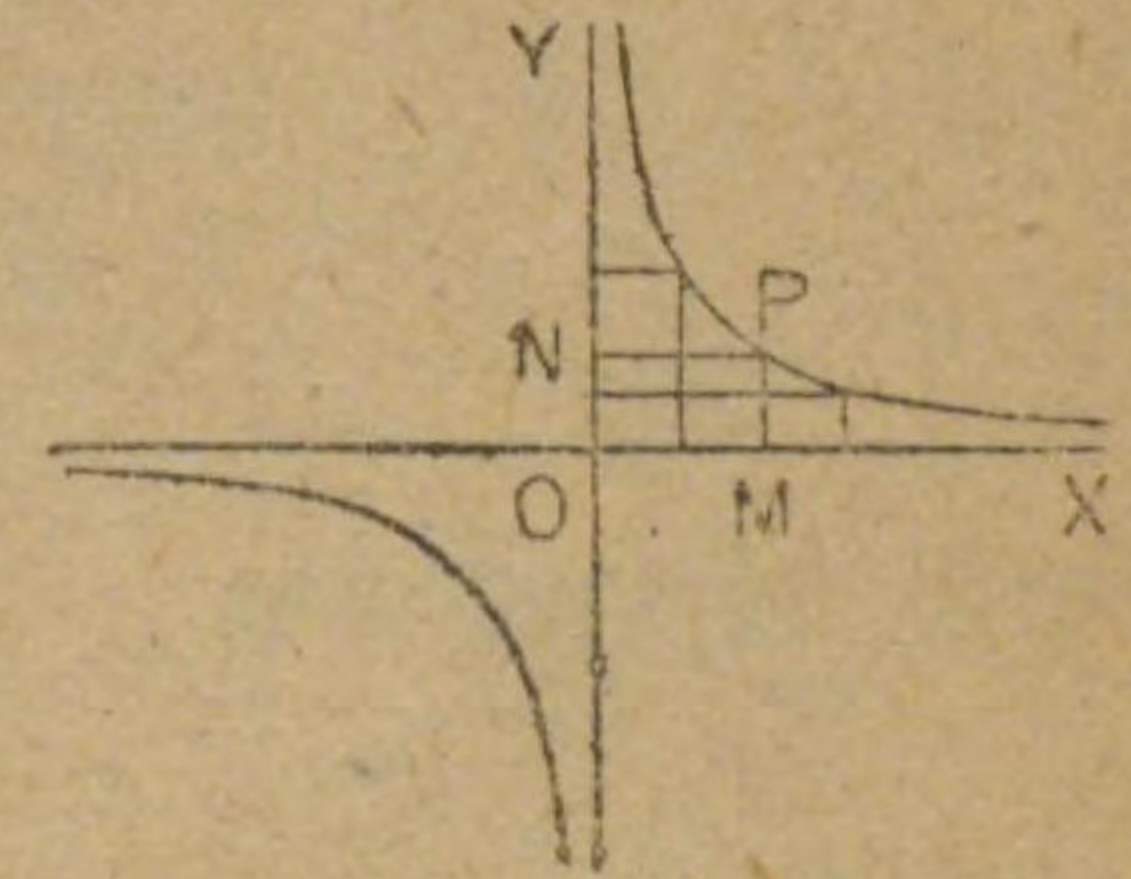
ヲ引クトキハ

$$NP = OM = x$$

$$MP = ON = y$$

$$\text{然ルニ} \quad xy = 1$$

$$\text{故ニ} \quad OM \cdot ON = 1$$



依テ此ノ曲線ハ座標軸ノ上 = 二邊 OM, ON ヲ有シ, 其ノ面積ガ 1 = 等シキ矩形 OMPN ノ頂點 P ノ軌跡ナリ, 之ヲ雙曲線トイフ.

注意 曲線上ノ一點ヨリ二ノ定直線 = 至ル距離ガ其ノ點ノ位置原點ヲ遠ザカル = 從ヒ益減少シ, 終 = 限リナク小トナリ得ル場合 = ハ此ノ直線ヲ其ノ曲線ノ漸近線トイフ.

上ノ場合 = 於テ OX, OY ハ曲線 $y = \frac{1}{x}$ ノ漸近線ナリ.

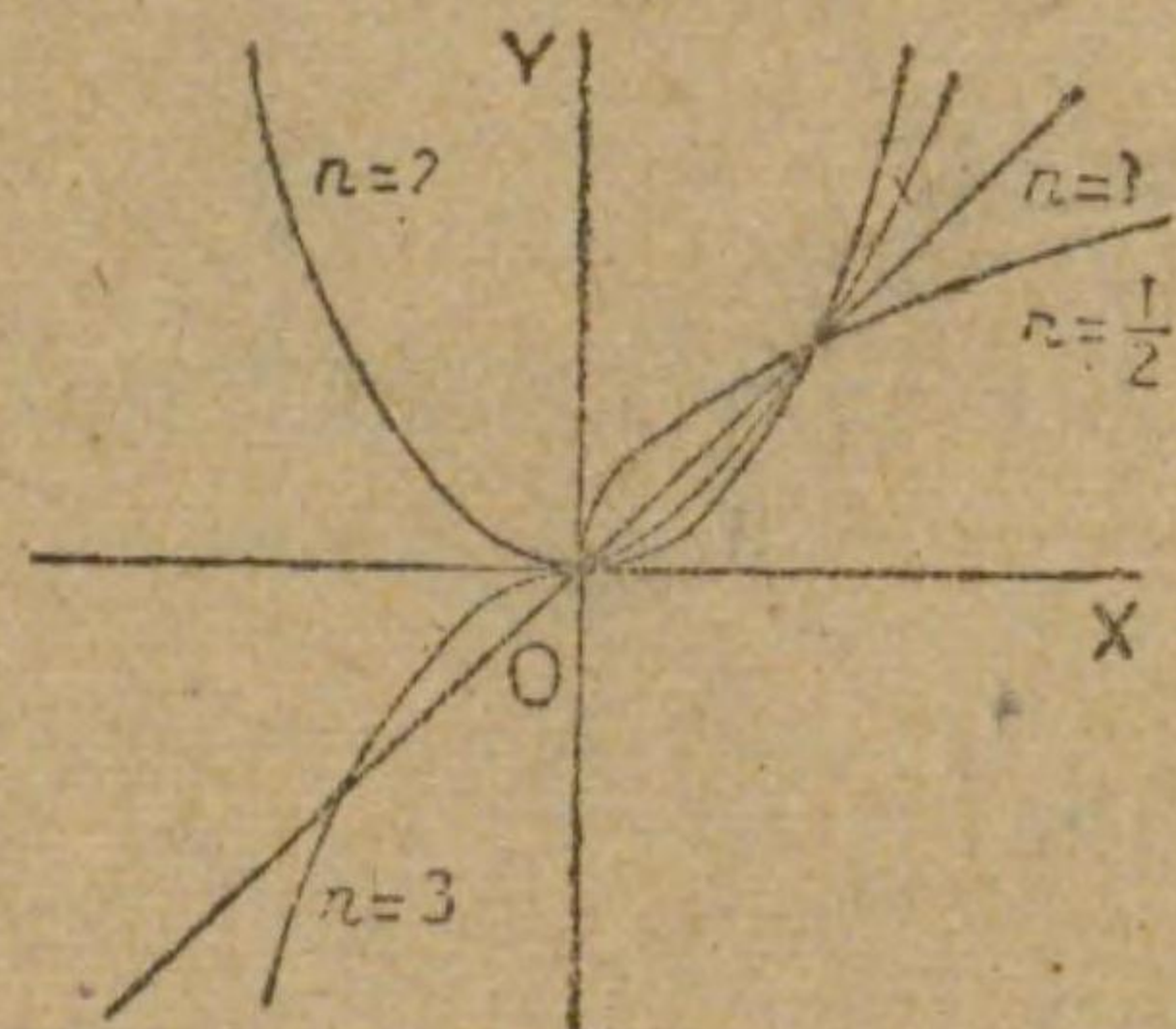
注意 上記ノ曲線ノ方程式ハ何レモ $y=x^n$ ノ特別ナル場合ニシテ
 此ノ方程式ノ表ハス曲線ハ何レモ點(1, 1)ヲ通過シ且ツ n ガ偶數ナル
 トキハ點(-1, 1), n ガ奇數ナルトキハ點(-1, -1), 又 $n > 0$ ナ
 ルトキハ原點(0, 0)ヲ通過ス。

$0 < x < 1$ ナルトキハ $x > x^2 > x^3 > x^4 \dots$; 從テ $\frac{1}{x} < \frac{1}{x^2} < \frac{1}{x^3} < \frac{1}{x^4} \dots$

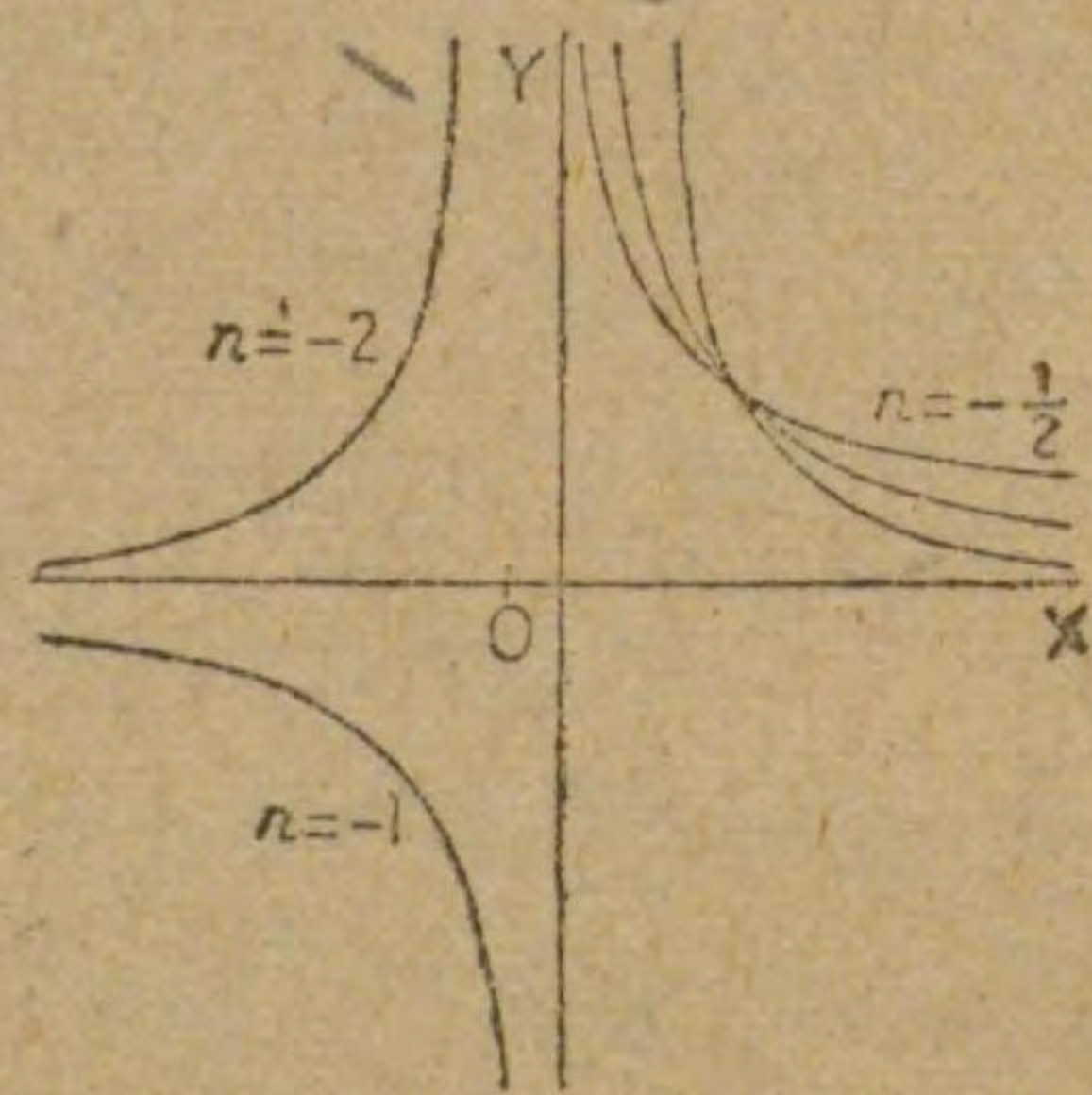
$x > 1$ ナルトキハ $x < x^2 < x^3 < x^4 \dots$; 從テ $\frac{1}{x} > \frac{1}{x^2} > \frac{1}{x^3} > \frac{1}{x^4} \dots$

同一ノ座標軸ヲ用ヒテ此等ノ曲線ヲ畫ケバ下ノ如シ。

$n \geq 0$, 拋物線系曲線



$n < 0$, 雙曲線系曲線



之ニヨリテ一ツノ種類ノ曲線ニ各共通ナル性質アルヲ見ルベシ。

8. 函数ノ種類

函数 $y=f(x)$ ハ其ノ形ニヨリ次ノ如キ區別アリ。

$y=ax+b$ ヲ一次ノ整函数, $y=ax^2+bx+c$ ヲ二次ノ整函数トイフ。
 一般ニ n ガ正ノ整数ニシテ $a_0, a_1, \dots, a_{n-1}, a_n$ ガ何レモ常數ナルトキ
 $y=a_0x^n+a_1x^{n-1}+\dots+a_{n-1}x+a_n$ ヲ n 次ノ整函数トイフ。

m, n ガ何レモ正ノ整数ニシテ $a_0, a_1, \dots, a_{n-1}, a_n, b_0, b_1, \dots, b_{m-1}, b_m$ ガ何レモ常數ナルトキ

$$y = \frac{a_0x^n + a_1x^{n-1} + \dots + a_{n-1}x + a_n}{b_0x^m + b_1x^{m-1} + \dots + b_{m-1}x + b_m}$$

ヲ有理函数トイフ, 整函数ハ有理函数ニ於テ $m=0$ ナル特別ノ場合ナリ。

$y=\sqrt[n]{x}, y=\sqrt{\frac{ax^2+bx+c}{x+k}}$ ノ如ク變數 x ガ根號ノ下ニアル項ヲ含ムモノヲ無理函数トイフ。

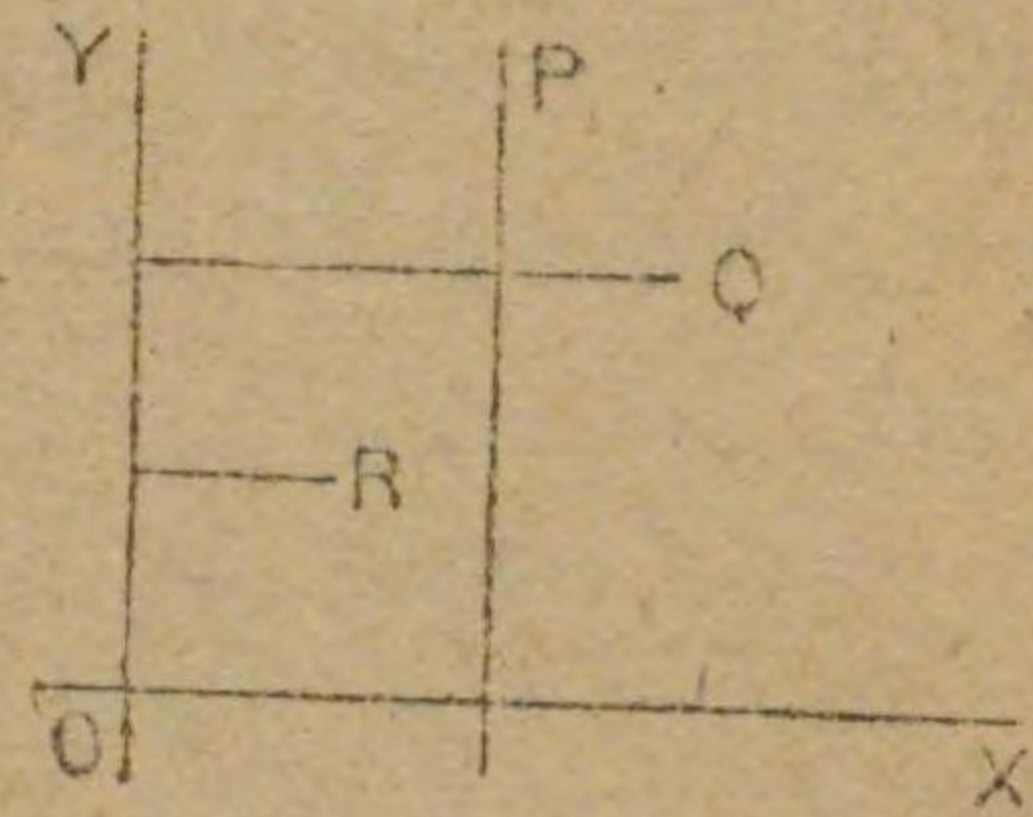
有理函数, 無理函数ヲ併セテ之ヲ代數函数トイフ。

代數函数ニアラザル函数ヲ超越函数トイフ, $y=\sin x$ ハ一ツノ超越函数ナリ。

第三章 直線, 圓, 橢圓及ビ雙曲線

9. 直線ノ方程式

直線ガ縦軸ニ平行ナルトキハ其ノ上ニアル點ノ横座標ハ何レモ相等シ、之ヲ c トスレバ直線上ノ任意ノ一點 P ノ座標ハ方程式 $x=c$ ヲ満足ス。



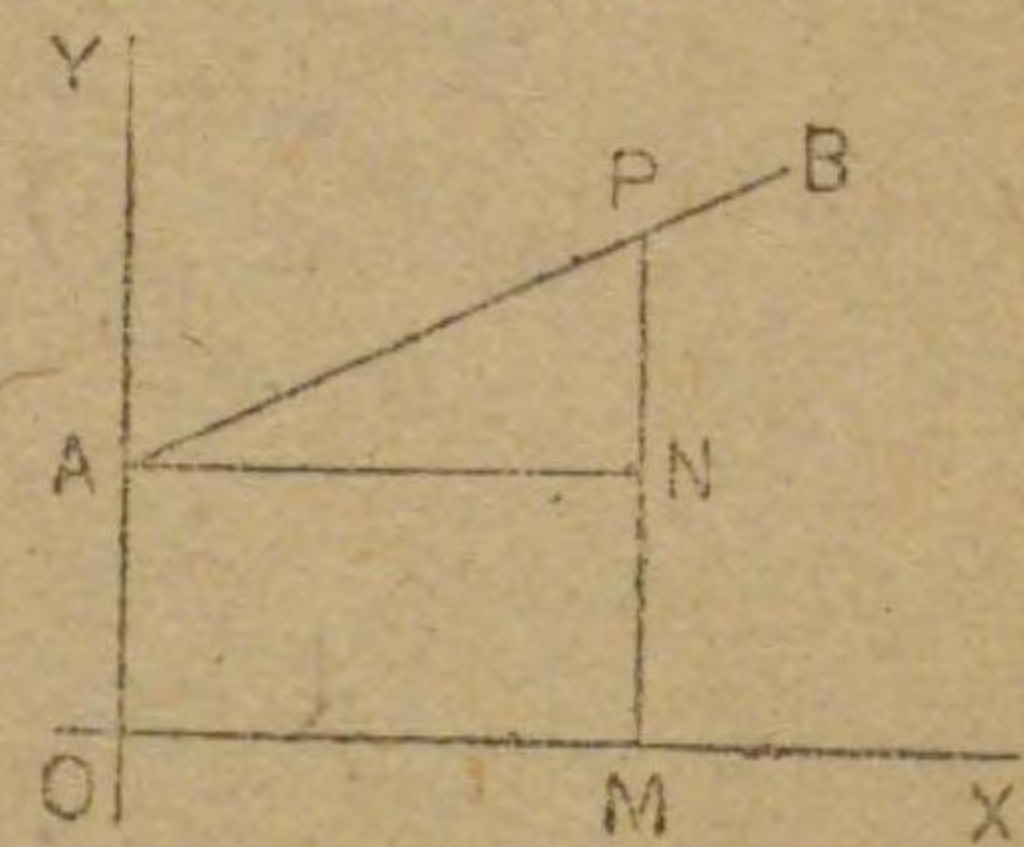
此ノ直線ノ右方ニアル點 Q ノ横座標ヲ x_1 トスレバ $x_1 > c$, 又左方ニアル點 R ノ横座標ヲ x_2 トスレバ $x_2 < c$

故ニ $x=c$ ハ此ノ直線ヲ表ハス方程式ニシテ、其ノ右方ニアル點ノ座標ハ何レモ不等式 $x > c$, 又左方ニアル點ノ座標ハ $x < c$ ヲ満足ス。

同様ニ $y=c'$ ハ横軸ニ平行ナル直線ノ方程式ナリ。

次ニ直線 AB ガ座標軸ニ平行ナラズトスレバ必ズ縦軸ニ交ハル、此ノ點ヲ $A(0, k)$ トシ、 AB 上ノ一點

$P(x, y)$ ヨリ横軸ニ垂線 PM , 又 A ヨリ PM ニ垂線 AN ヲ引クトキハ



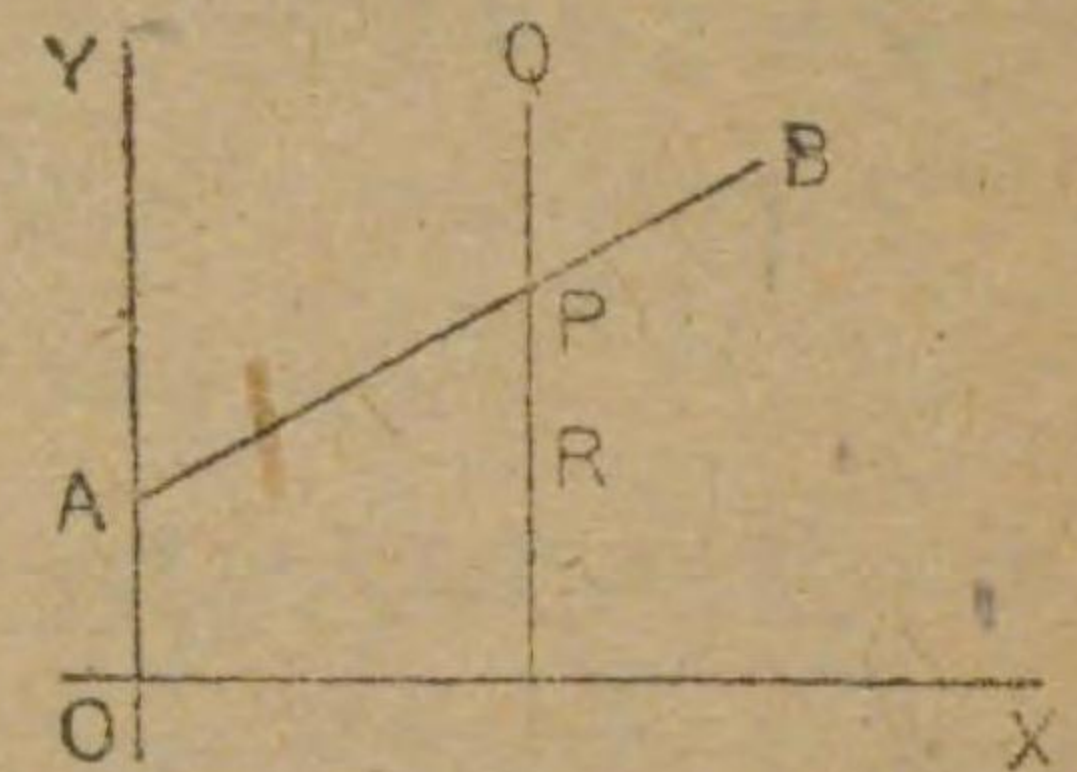
$$OM=x, MP=y, OA=k$$

又 $\frac{MP-MN}{OM} = \frac{NP}{AN}$ ハ一定ナリ、之ヲ m トスレバ

$$\frac{y-k}{x} = m$$

即チ $y=mx+k$ (1)

此ニ m ハ直線 AB ガ横軸ノ正方向トナス角ノ正切ナリ、之ヲ直線 AB ノ方向係數トイフ。



尙 AB ノ上方ニアル一點 $Q(x, y)$ ヲ取リ、 Q ヨリ横軸ニ垂線ヲ引キ、 AB トノ交點ヲ $P(x, y_1)$ トスルトキハ

$$y_1 = mx + k$$

然ルニ $y > y_1$

故ニ $y > mx + k$

同様ニ AB ノ下方ニアル一點 $R(x, y)$ ヲ取ルトキハ

$$y < mx + k$$

故ニ $y=mx+k$ ハ直線 AB ヲ表ハス方程式ニシテ、其ノ上方ニアル點ノ座標ハ何レモ不等式 $y > mx+k$, 又其ノ下方ニアル點ノ座標ハ $y < mx+k$ ヲ満足ス。

一般ニ二元一次方程式 $ax+by+c=0$ ニ於テ、 $b=0$ ナルトキハ $y = -\frac{c}{a}$ トナリ、 $b \neq 0$ ナルトキハ $y = -\frac{a}{b}x - \frac{c}{b}$ トナル、故ニ二元一次方程式ハ一ツノ直線ヲ表ハスモノトス。

今直線 $ax+by+c=0$ 上ニアル二點ヲ (x_1, y_1) , (x_2, y_2) トスレバ

$$ax+by+c=0$$

$$ax_1+by_1+c=0$$

$$ax_2+by_2+c=0$$

即チ

$$a(x-x_1)+b(y-y_1)=0$$

$$a(x_1-x_2)+b(y_1-y_2)=0$$

此ノ二式ヨリ a, b ヲ消去スレバ

$$\frac{x-x_1}{x_1-x_2} = \frac{y-y_1}{y_1-y_2} \quad (2)$$

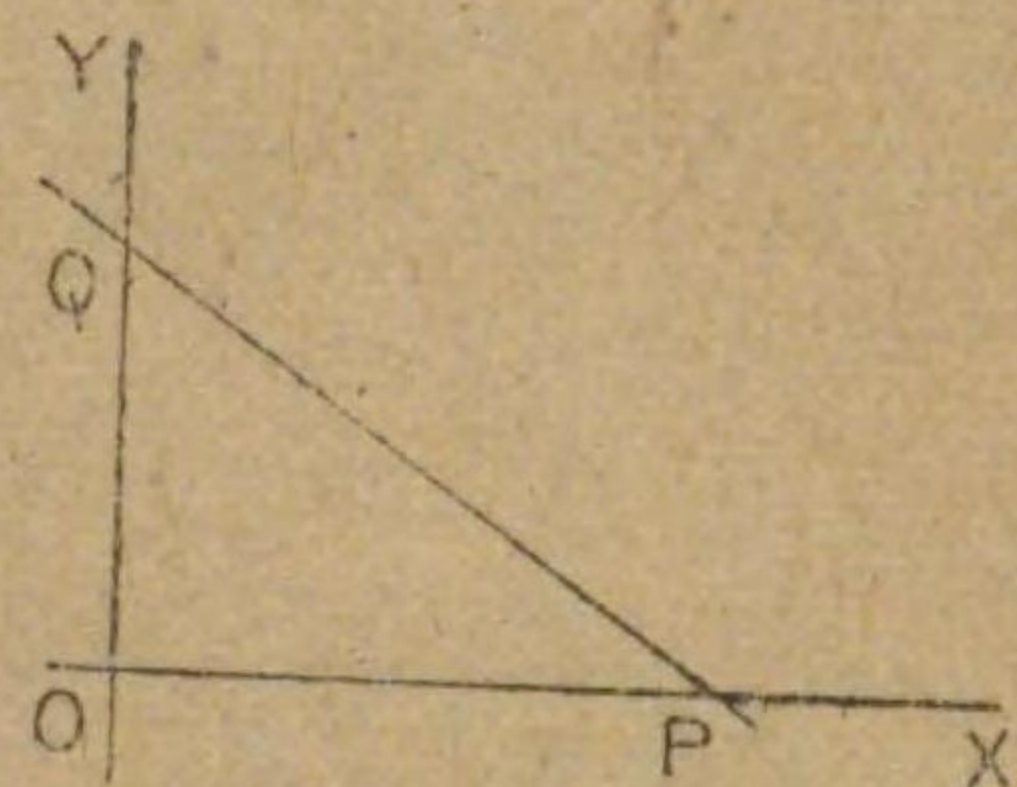
(2)ハ二點 $(x_1, y_1), (x_2, y_2)$ ヲ通過スル直線ノ方程式ナリ。

此ノ特別ナル場合トシテ $x_1=\alpha, y_1=0, x_2=0, y_2=\beta$ トスレバ

$$\frac{x-\alpha}{\alpha} = \frac{y}{-\beta}$$

即チ $\frac{x}{\alpha} + \frac{y}{\beta} = 1 \quad (3)$

(3)ハ横軸上ノ一點 $P(\alpha, 0)$ 及ビ縦軸上ノ一點 $Q(0, \beta)$ ヲ通過スル直線



線ノ方程式ニシテ, α, β ヲ横軸及ビ縦軸上ニ於ケル直線ノ截片トイフ。

又(2)ヨリ

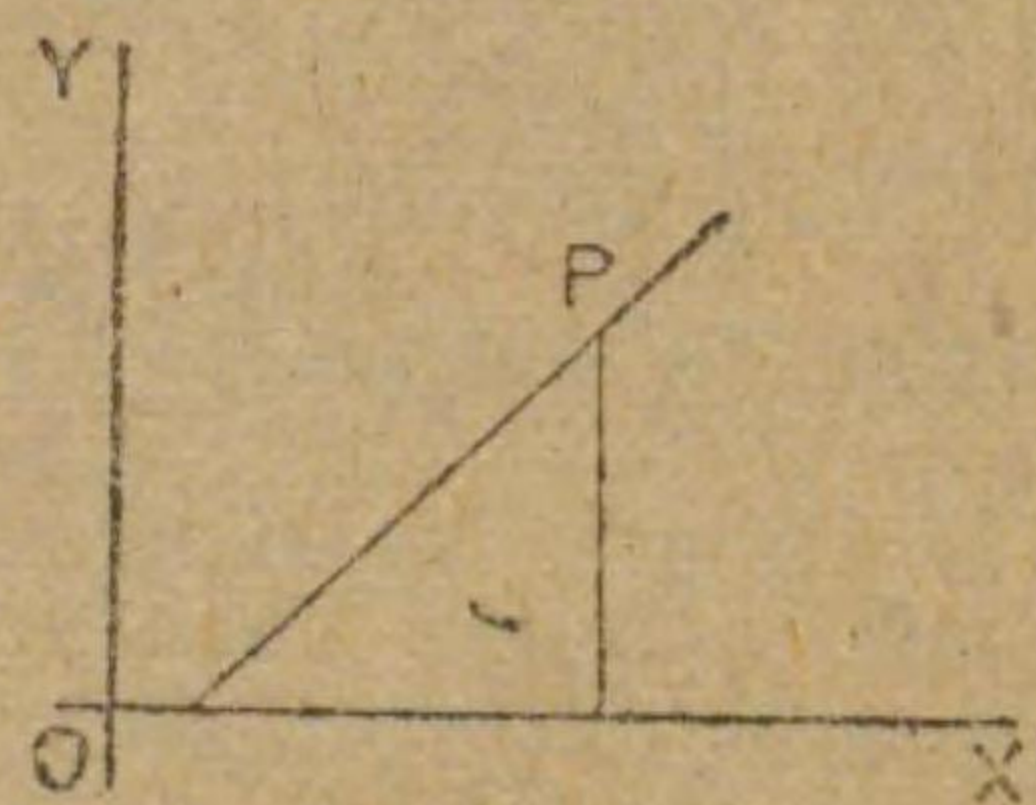
$$y-y_1 = \frac{y_1-y_2}{x_1-x_2} (x-x_1)$$

此 $= \frac{y_1-y_2}{x_1-x_2}$ ハ直線ガ横軸ノ正方向トナス角ノ正切ニ等シ, 之ヲ m

トスレバ

$$y-y_1 = m(x-x_1) \quad (4)$$

(4)ハ一點 $P(x, y)$ ヲ通過シ, 方向係數ガ m ニ等シキ直線ノ方程式ナリ。



10. ニツノ直線ノ關係

ニツノ直線ノ方程式ヲ

$$y = m_1x + k_1, \quad y = m_2x + k_2$$

トシ, 此ノ直線ガ横軸ノ正方向トナス角ヲ夫々 α_1, α_2 トスレバ

$$m_1 = \tan \alpha_1, \quad m_2 = \tan \alpha_2$$

(i) $m_1 = m_2, k_1 = k_2$

此ノ場合ニハニツノ方程式ハ全く同一トナリ, 直線ハ相一致ス。

(ii) $m_1 = m_2, k_1 \neq k_2$

此ノ場合ニハニツノ直線ノ方向相等シクシテ, 縦軸上ノ截片ハ等シカラズ, 故ニ直線ハ互ニ平行ナリ。



(iii) $m_1 \neq m_2$

此ノ場合ニハニツノ方程式ヲ聯立方程式トシテ

$$x = -\frac{k_1 - k_2}{m_1 - m_2}, \quad y = \frac{m_1 k_2 - m_2 k_1}{m_1 - m_2}$$

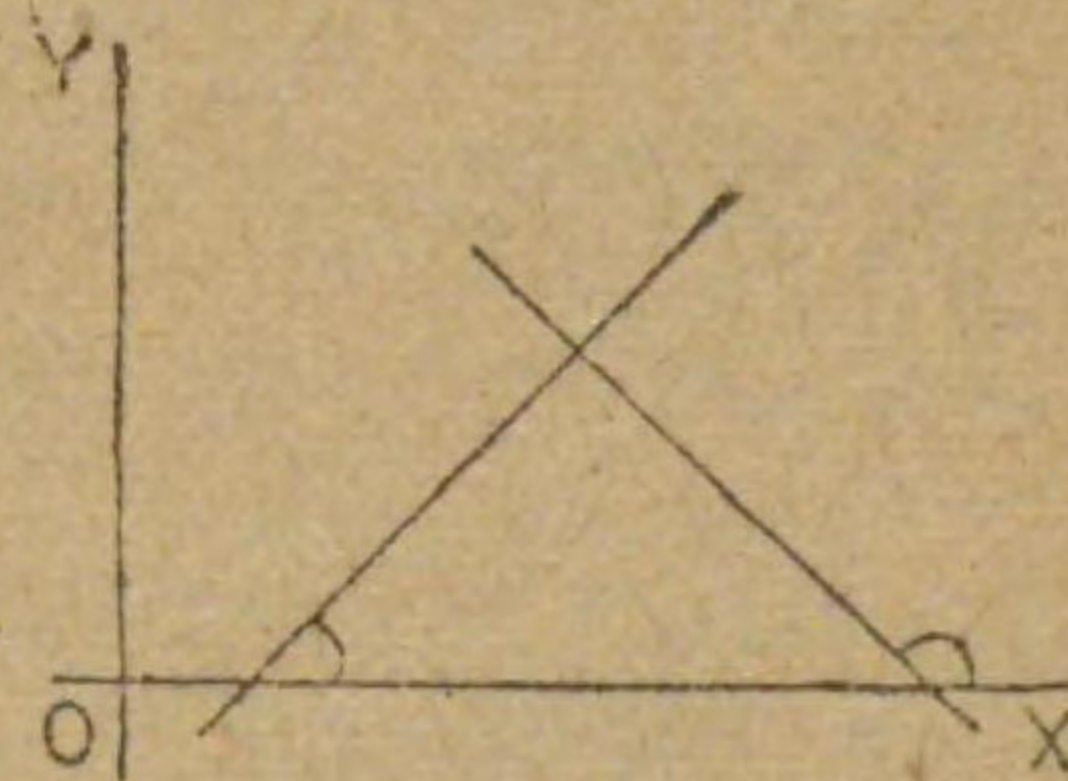
ヲ得, 即チニツノ方程式ヲ満足スル x, y ノ一對ノ値アリ, 故ニニツノ直線ハ一點ヲ共有ス, 即チ相交ハル。

此ノ特別ナル場合トシテニツノ直線ガ互ニ垂直ナルトキハ

$$\tan \alpha_2 = \tan \left(\alpha_1 + \frac{\pi}{2} \right) = -\frac{1}{\tan \alpha_1}$$

即チ $m_1 m_2 = -1$

故ニ $m_1 m_2 = -1$ ハニツノ直線ガ互ニ直交スル條件ナリ。



今一点 $P(x_0, y_0)$ ヨリ直線 $y = mx + k$ 至ル垂線距離ヲ索メントセ
 バ P ヲ通過シテ之ニ垂直ナル直線

$$y - y_0 = -\frac{1}{m}(x - x_0)$$

ヲ引、此ノ二ツノ交點 $Q(x, y)$

ヲ索ムルトキハ第6節ニヨリ

$$\sqrt{(x - x_0)^2 + (y - y_0)^2}$$

ヨリ PQ ノ長ヲ得、即チ二ツノ方程式

$$y = mx + k$$

$$y - y_0 = -\frac{1}{m}(x - x_0)$$

ヲ聯立方程式トシテ解クトキハ

$$x - y_0 = \frac{m(y_0 - mx_0 - k)}{1 + m^2}$$

從テ

$$y - y_0 = -\frac{y_0 - mx_0 - k}{1 + m^2}$$

依テ

$$\sqrt{(x - x_0)^2 + (y - y_0)^2} = \pm \sqrt{1 + m^2} \frac{y_0 - mx_0 - k}{1 + m^2}$$

即チ

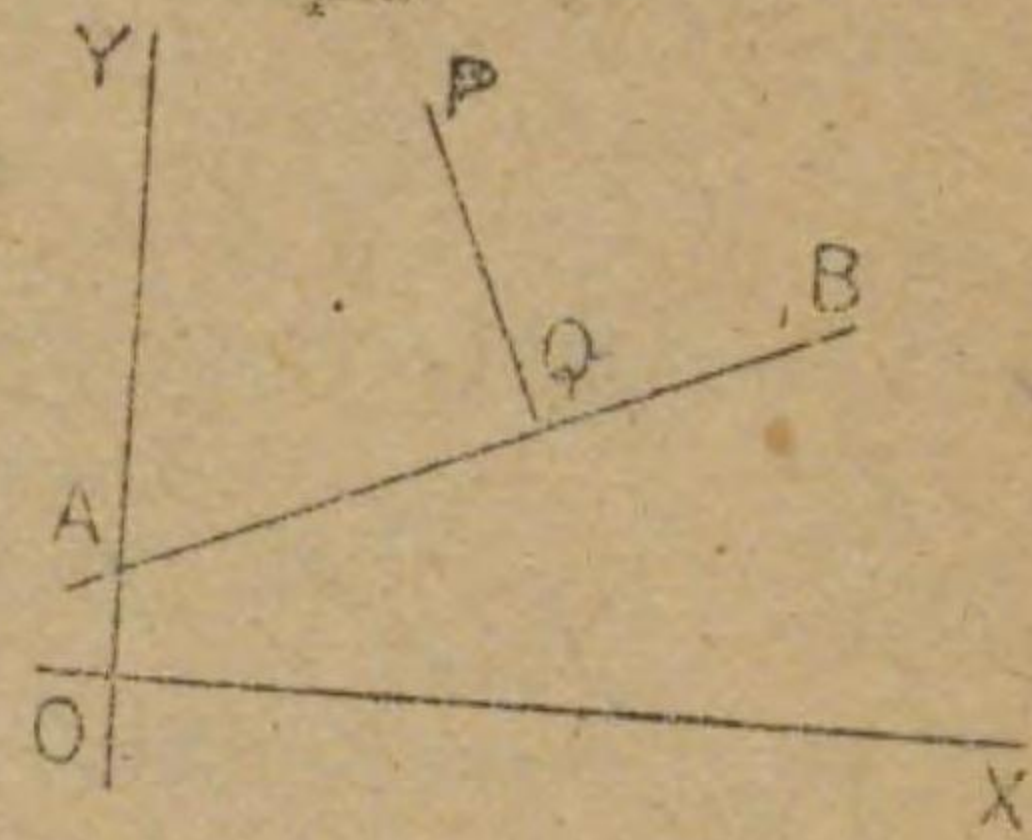
$$\sqrt{(x - x_0)^2 + (y - y_0)^2} = \pm \frac{y_0 - mx_0 - k}{\sqrt{1 + m^2}}$$

故ニ索ムル垂線距離ハ

$$\pm \frac{y_0 - mx_0 - k}{\sqrt{1 + m^2}}$$

ニシテ ± ノ記號ハ此ノ式ヲ正ナラシムルガ如ク取ルベキモノト

ス、即チ $y_0 - mx_0 - k$ ノ正負ニヨリテ + 又 - ヲ取ルベシ。



11. 圓ノ方程式

座標ノ原點 $(0, 0)$ ヲ中心トシ、半徑ガ r ナル圓ノ上ニアル一點

ヲ $P(x, y)$ トシ、 P ヨリ横軸ニ垂線

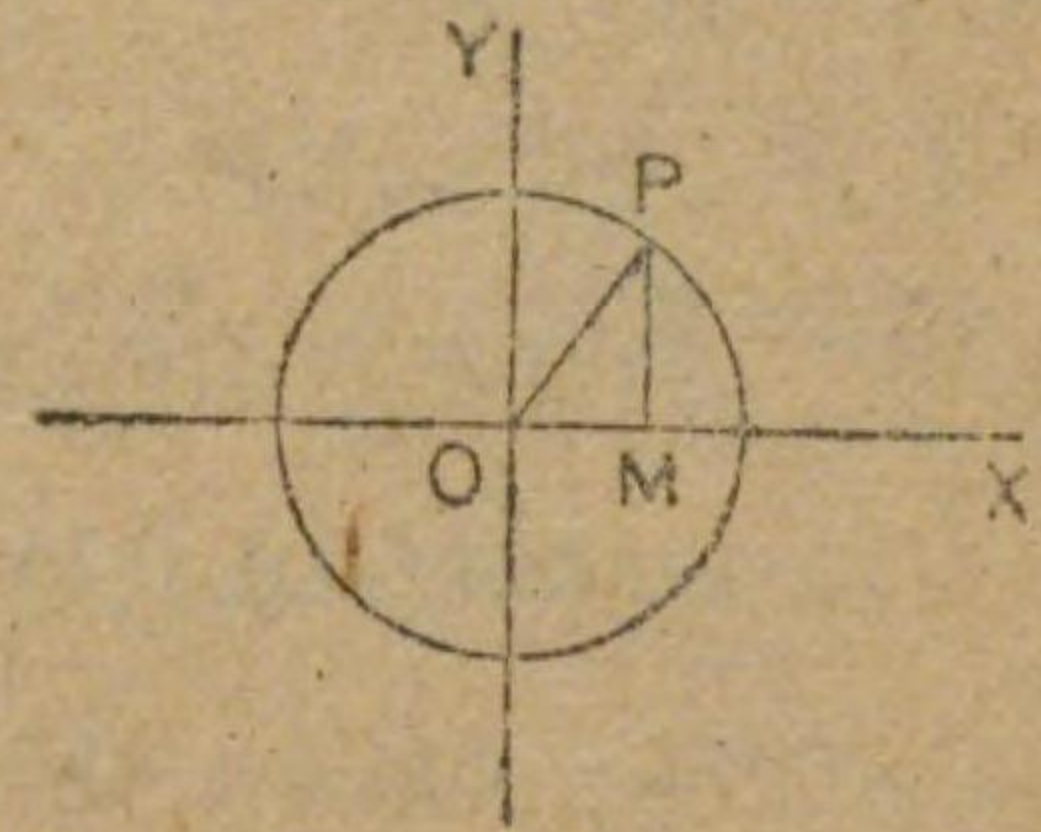
PM ヲ引クトキハ

$$OP^2 = OM^2 + MP^2$$

然ルニ $OP = r$, $OM = x$, $MP = y$

$$\text{故ニ } x^2 + y^2 = r^2$$

$$\text{即チ } y = \pm \sqrt{r^2 - x^2}$$



次ニ圓ノ外ニアル一點ヲ $Q(x, y)$ トシ、直線 OQ ヲ引キ、圓トノ

交點ヲ $P(x_1, y_1)$ トスルトキハ

$$x^2 + y^2 = OQ^2$$

$$x_1^2 + y_1^2 = r^2, OQ > r$$

$$\text{故ニ } x^2 + y^2 > r^2$$

同様ニ圓ノ内ニアル一點ヲ $R(x, y)$

トスレバ

$$x^2 + y^2 < r^2$$

故ニ $x^2 + y^2 = r^2$ 、即チ $y = \pm \sqrt{r^2 - x^2}$ ハ原點ヲ中心トシ、半徑ガ r ナル

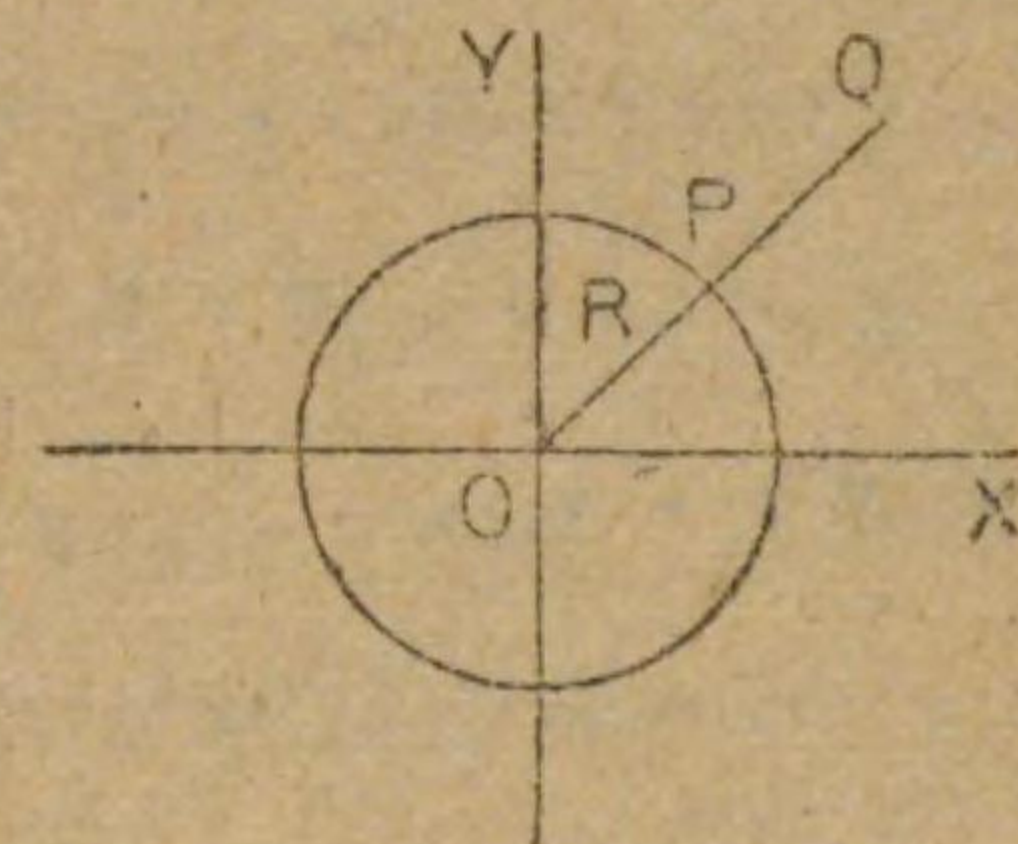
圓ヲ表ハス方程式ニシテ、其ノ外ニアル點ノ座標ハ何レモ不等式

$x^2 + y^2 > r^2$ ヲ満足シ、其ノ内ニアル點ノ座標ハ $x^2 + y^2 < r^2$ ヲ満足ス

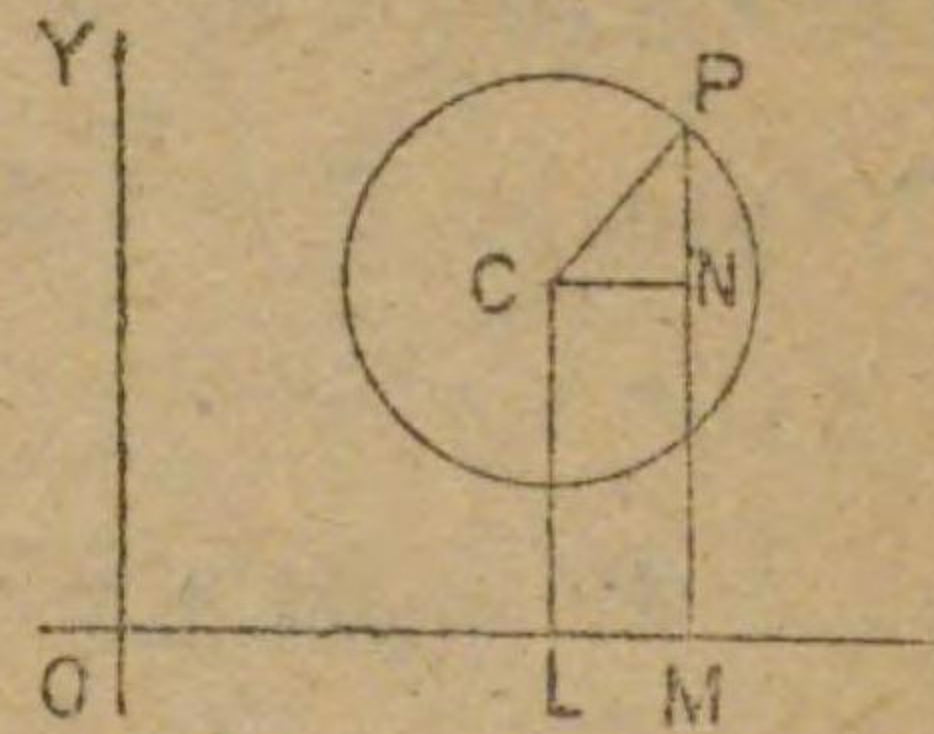
又 $y = \sqrt{r^2 - x^2}$ ハ圓ニ於テ $y \geq 0$ ナル部分即チ横軸ヨリ上方ニアル

半圓ヲ表ハシ、 $y = -\sqrt{r^2 - x^2}$ ハ $y \leq 0$ ナル部分即チ横軸ヨリ下方ニ

アル半圓ヲ表ハスモノトス。



更ニ一定ノ直交軸ニ關シテ定點 $C(a,b)$ ヨリ一定ノ距離 r ナル
 點ヲ $P(x,y)$ トシ、 C 及ビ P ヨリ横軸ニ
 夫々垂線 CL, PM ヲ引キ、 C ヨリ PM ニ
 垂線 CN ヲ引ケバ



$$\begin{aligned} \overline{CP}^2 &= \overline{CN}^2 + \overline{NP}^2 \\ &= (\overline{OM} - \overline{OL})^2 + (\overline{MP} - \overline{MN})^2 \\ &= (\overline{OM} - \overline{OL})^2 + (\overline{MP} - \overline{LC})^2 \end{aligned}$$

然ルニ $CP=r, OM=x, MP=y, OL=a, LC=b$

故ニ $(x-a)^2 + (y-b)^2 = r^2$ (1)

即チ $y = b \pm \sqrt{r^2 - (x-a)^2}$

(1)ハ $C(a,b)$ ヲ中心トシ、 r ヲ半径トスル圓ノ方程式ナリ。

(1)ニ於テ $b=0$ ト置クトキハ $(x-a)^2 + y^2 = r^2$ (2)

$a=0$ ト置クトキハ $x^2 + (y-b)^2 = r^2$ (3)

$b=0, a=r$ ト置クトキハ $x^2 + y^2 = 2rx$ (4)

$a=0, b=r$ ト置クトキハ $x^2 + y^2 = 2ry$ (5)

$a=0, b=0$ ト置クトキハ $x^2 + y^2 = r^2$ (6)

(2)及ビ(3)ハ夫々横軸及ビ縦軸上ニ中心ヲ有スル圓、(4)及ビ
 (5)ハ原點ヲ通過シ夫々横軸及ビ縦軸上ニ中心ヲ有スル圓、(6)ハ
 原點ヲ中心トスル圓ヲ表ハス。

(1)ニ於テ $x-a=X, y-b=Y$ ト置クトキハ

$$X^2 + Y^2 = r^2$$

トナリ (6)ト一致ス、之ハ座標軸ヲ平行ニ移動シ圓ノ中心 $C(a,b)$
 ヲ新原點トナシタルモノトス。

注意 上ニ擧ゲタル方程式ヨリ種々ノ重要ナル關係ヲ簡單ニ誘出
 スルコトヲ得、例ヘバ(6)ヨリ

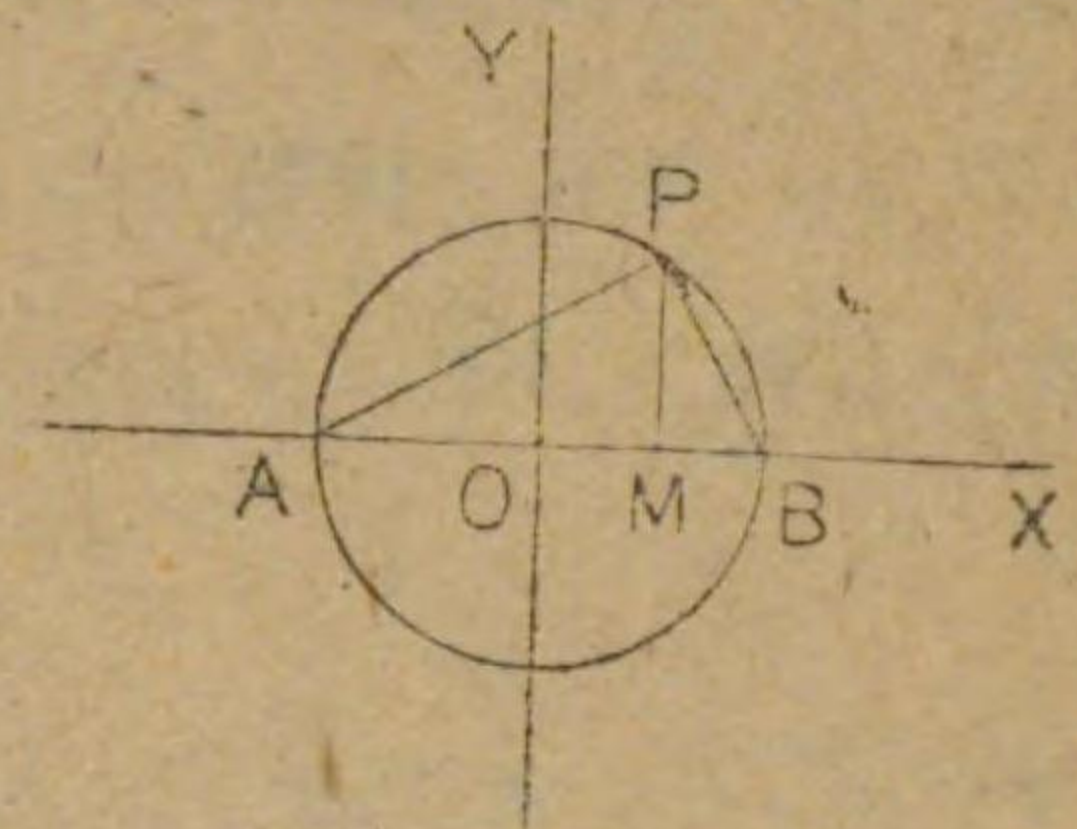
$$y^2 = r^2 - x^2 = (r-x)(r+x) \quad (7)$$

即チ $\frac{y}{r-x} \cdot \frac{y}{r+x} = -1$

此ノ式ハ次ノ二ツノ方程式ヨリ m ヲ消去シタル結果ト同一ナリ。

$$y = m(x-r), \quad y = -\frac{1}{m}(x+r)$$

然ルニ此ノ二ツノ方程式ハ直徑 AB
 ノ兩端ヲ通過シテ互ニ垂直ナル直線
 ヲ表ハシ、其ノ交點ハ恒ニ圓ノ上ニ
 アリ、之ニヨリテ半圓ニ於ケル角ハ
 直角ナルコト明カナリ。



又 $P(x,y)$ ヨリ直徑 AB ニ垂線 PM ヲ引クトキハ

$$AM = r+x, \quad MB = r-x, \quad PM = y$$

故ニ(7)ヨリ

$$\overline{PM}^2 = \overline{AM} \cdot \overline{MB}$$

又(4)ヨリ

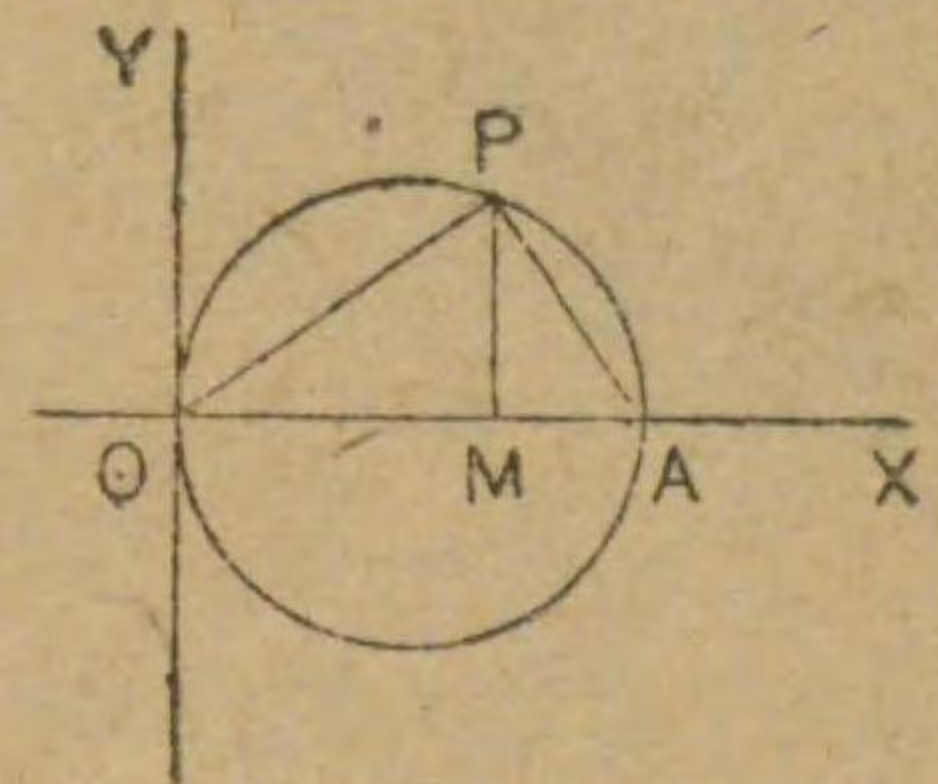
$$x^2 + y^2 = 2rx$$

圓上ノ一點 $P(x,y)$ ヨリ直徑 OA
 ニ垂線 PM ヲ引クトキハ

$$OM = x, \quad OA = 2r$$

$$\overline{OP}^2 = \overline{OM}^2 + \overline{MP}^2 = x^2 + y^2$$

故ニ $\overline{OP}^2 = \overline{OA} \cdot \overline{OM}$



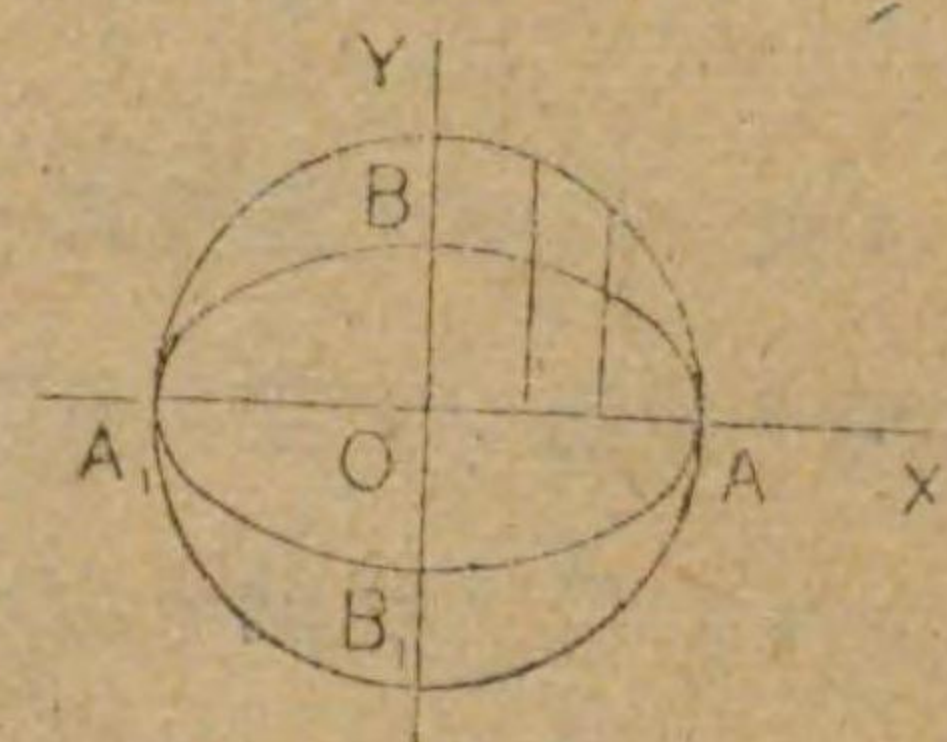
更ニ圓ノ方程式 $y = \pm \sqrt{a^2 - x^2}$ ニ於テ $\sqrt{a^2 - x^2}$ ノ代リ $= \frac{b}{a} \sqrt{a^2 - x^2}$,
 $a > b$ ト置クトキハ次ノ式ヲ得

$$y = \pm \frac{b}{a} \sqrt{a^2 - x^2}$$

即チ $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$

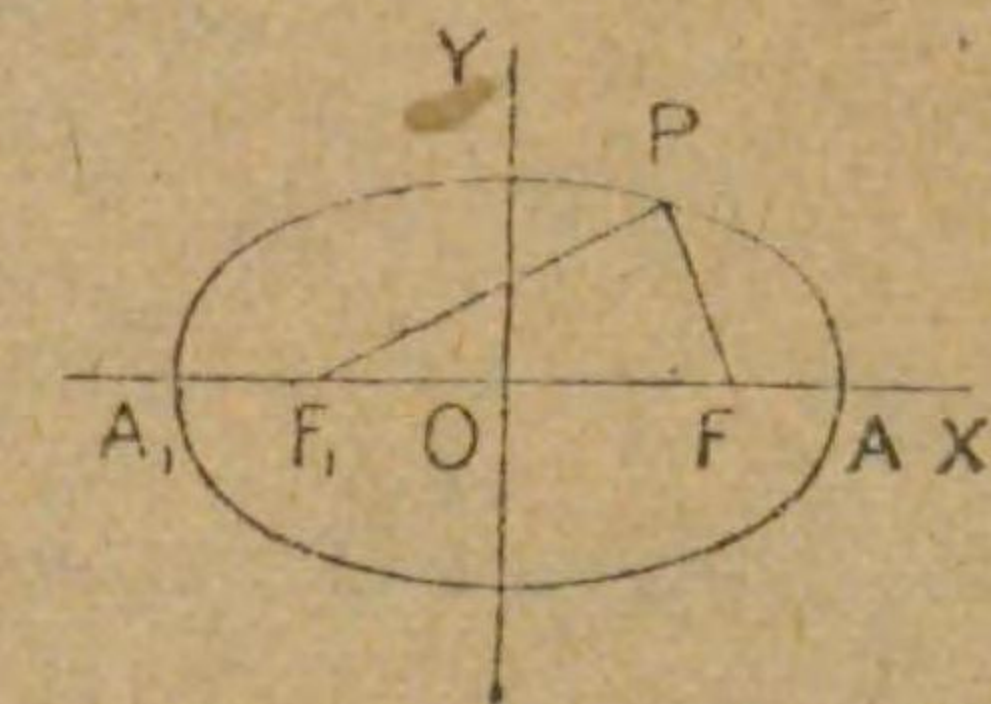
此ノ方程式ノ表ハス曲線ハ半徑ガ a ナル圓上ノ點ノ縱座標ヲ $\frac{b}{a}$ ノ
 比ニ縮メテ得タルモノニシテ之ヲ

橢圓トイヒ、座標軸トノ交點 A, A_1, B, B_1 ヲ其ノ頂點トイヒ、 AA_1 ヲ其ノ長軸、 BB_1 ヲ其ノ短軸トイフ。



今 $\sqrt{a^2 - b^2} = c$ ト置キ、 AA_1 ノ上ニ二點 $F(c, 0), F_1(-c, 0)$ ヲ取リ
 曲線上ノ任意ノ一點ヲ $P(x, y)$ トスルトキハ

$$\begin{aligned} FP^2 &= (c-x)^2 + y^2 \\ &= (c-x)^2 + \frac{b^2}{a^2}(a^2 - x^2) \\ &= a^2 - 2cx + \frac{c^2}{a^2}x^2 \end{aligned}$$



故ニ $FP = a - \frac{c}{a}x$

同様ニ $F_1P = a + \frac{c}{a}x$

依テ $FP + F_1P = 2a$

故ニ橢圓ハ二定點 F, F_1 ヨリノ距離ノ和ガ一定ナル點ノ軌跡ト考フル
 ヲトヲ得、定點 F, F_1 ヲ其ノ焦點トイフ。

F 及ビ F_1 ガ相一致スルトキハ $c=0$ 即チ $a=b$ トナリテ橢圓ハ圓
 ナルモノトス

尙又 $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ ノ代リ $= \frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = 1$ 即チ $y = \pm \frac{b}{a} \sqrt{x^2 - a^2}$ ヲ取
 ルトキハ、此ノ方程式ノ表ハス曲線ハ $x = \pm a$ ノトキ $y=0$ ニシテ
 $x \geq a$ 及ビ $x \leq -a$ ノトキノミ實在ス、故ニ點 $(a, 0), (-a, 0)$ ニ於
 テ横軸ニ交ハリ、直線 $x=a$ ノ右方及ビ $x=-a$ ノ左方ニアリ。

此ノ方程式ハ x 及ビ y ノ偶數幂ノミヲ含ムガ故ニ曲線ハ横軸ニ關
 シテモ亦縦軸ニ關シテモ對稱ナリ。

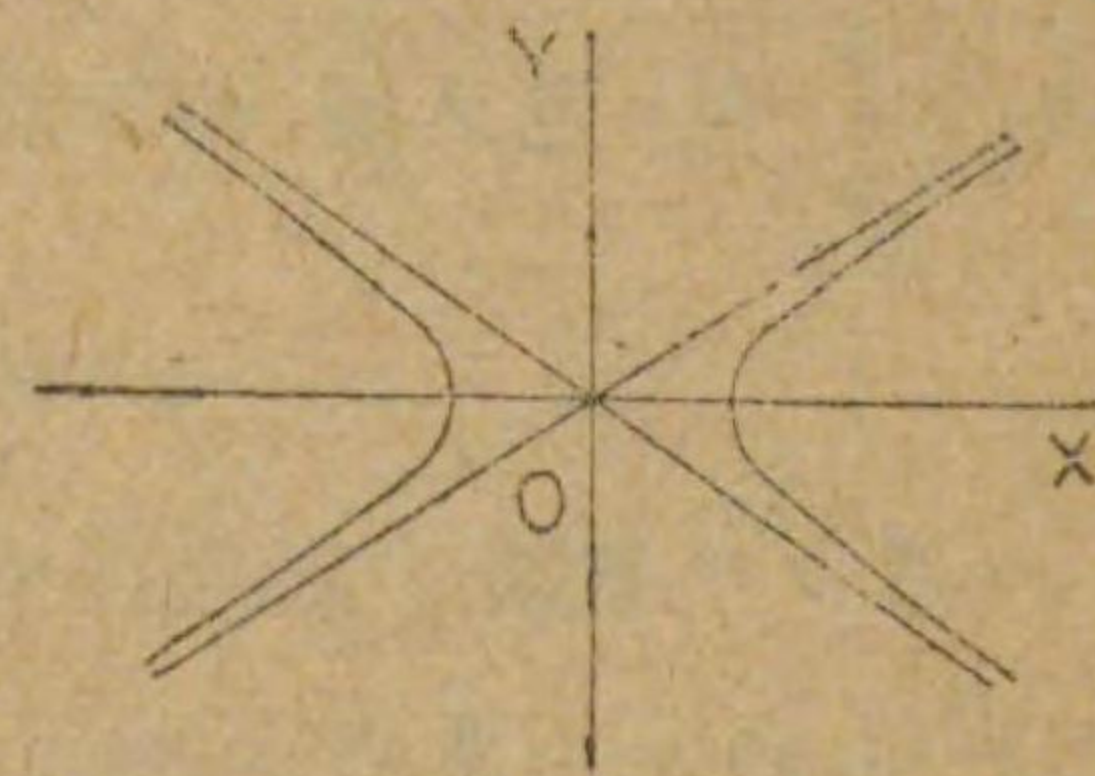
又 $y = \frac{b}{a} \sqrt{x^2 - a^2}, \quad y_1 = \frac{b}{a}x$

ト置クトキハ

$$y_1 - y = \frac{b}{a} \left\{ x - \sqrt{x^2 - a^2} \right\} = \frac{ab}{x + \sqrt{x^2 - a^2}}$$

故ニ $x > a$ ナルトキ $y_1 > y$ ニシテ x ノ増大スルニ從ヒ $y_1 - y$ ハ
 益減少シ終ニ 0 ニ近ヅク、即チ直線 $y = \frac{b}{a}x$ ハ此ノ曲線ノ漸近線ナ
 リ。

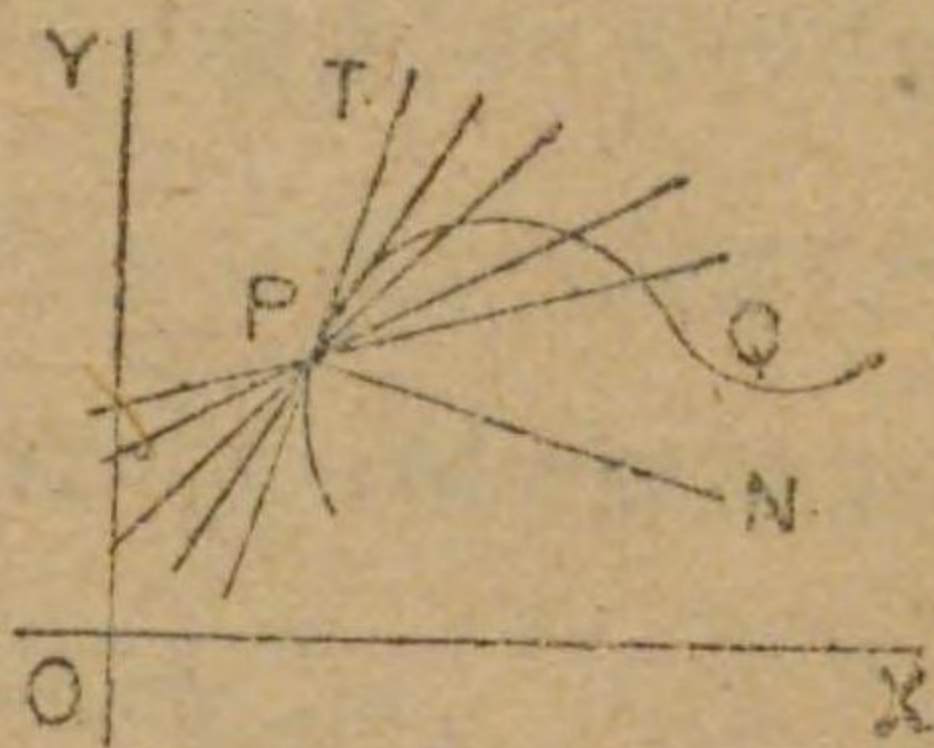
此ノ曲線ハ雙曲線ニシテ第7節ニ於テ舉ゲタルモノハ漸近線ガ互ニ直
 角ヲナセルモノ即チ $a=b$ ナル場合
 ナリ。



尙雙曲線ハ二ツノ定點ヨリノ距離
 ノ差ガ一定ナル點ノ軌跡ト考ヘ得ベキコトハ橢圓ノ場合ト同様ニ容
 易ニ證明セラルルモノトス

12. 切線及法線

一定ノ曲線上ニ於ケル一ツノ定點ヲ P トシ、此ノ曲線上ニ於テ P = 近ク第二ノ點 Q ヲ取り、Q ヲシテ此ノ曲線ニ沿ウテ P = 近ヅカシムルトキ直線 PQ ガ一定ノ直線 PT = 限リナク近ヅクトキハ此ノ一定ノ直線ヲ P = 於ケル此ノ直線ノ切線トイヒ、P ヲ其ノ切點トイフ。



又 P ヲ通過シテ其ノ點ニ於ケル切線ニ垂直ナル直線 PN ヲ P = 於ケル此ノ曲線ノ法線トイフ。

一ツノ曲線上ニ於ケル點 P(x₀, y₀) 及ビ (x₀+h, y₀+k) ヲ通過スル直線ノ方程式ヲ

$$y - y_0 = m(x - x_0)$$

トスレバ

$$(y_0 + k) - y_0 = m(x_0 + h - x_0)$$

即チ

$$m = \frac{k}{h}$$

故ニ Q ガ P = 限リナク近ヅクトキ、即チ k, h ガ共ニ限リナク小ナルトキ、 $\frac{k}{h}$ ガ一定ノ値 m₁ = 限リナク近ヅク場合ニハ

$$y - y_0 = m_1(x - x_0)$$

ハ P = 於ケル切線ノ方程式ナリ。

又 P = 於ケル法線ハ切線ニ垂直ナルガ故ニ第10節ニヨリ其ノ方程式次ノ如シ

$$y - y_0 = -\frac{1}{m_1}(x - x_0)$$

圓 x² + y² = r² 上ニ於ケル二點 P(x₀, y₀), Q(x₀+h, y₀+k) ヲ通過スル直線ノ方程式ハ

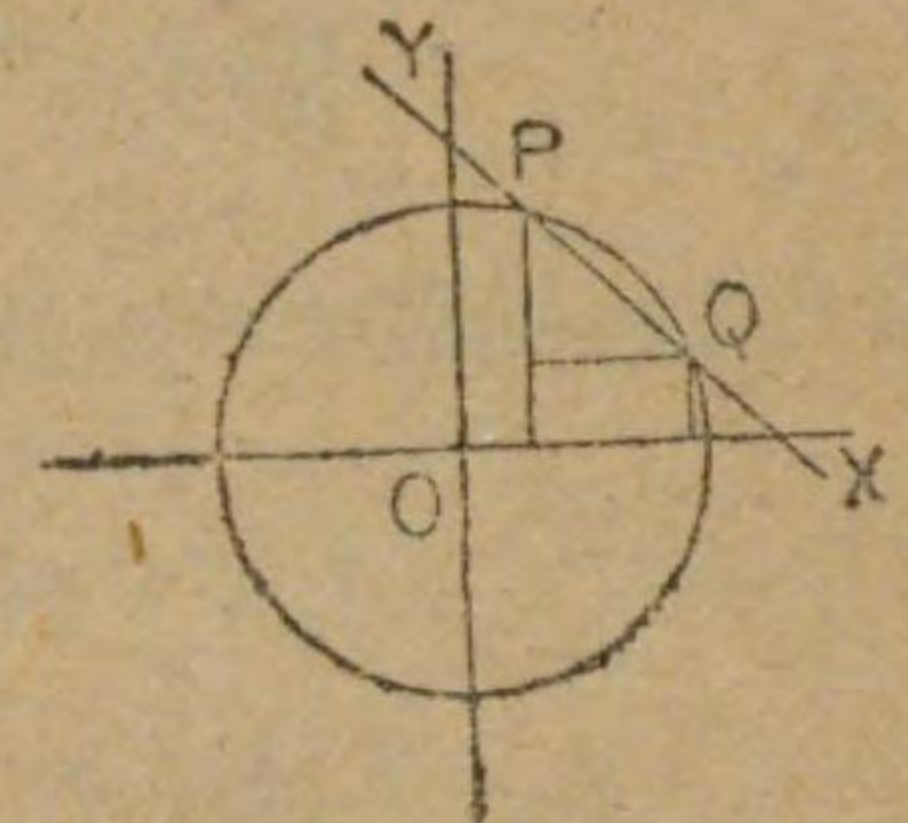
$$y - y_0 = m(x - x_0)$$

此ニ

$$m = \frac{k}{h}$$

$$x_0^2 + y_0^2 = r^2,$$

$$(x_0 + h)^2 + (y_0 + k)^2 = r^2$$



後ノ二式ヨリ

$$2hx_0 + 2ky_0 + h^2 + k^2 = 0$$

ヲ得、從テ

$$\frac{k}{h} = -\frac{2x_0 + h}{2y_0 + k}$$

依テ k, h ガ限リナク 0 = 近ヅクトキ $\frac{k}{h}$ ハ限リナク $-\frac{x_0}{y_0}$ = 近ヅク

ク

即チ

$$m_1 = -\frac{x_0}{y_0}$$

故ニ P(x₀, y₀) = 於ケル切線ノ方程式ハ

$$y - y_0 = -\frac{x_0}{y_0}(x - x_0)$$

即チ

$$x_0x + y_0y = r^2$$

又法線ノ方程式ハ

$$y - y_0 = \frac{y_0}{x_0}(x - x_0)$$

即チ

$$\frac{y}{y_0} = \frac{x}{x_0}$$

此ノ直線ハ圓ノ中心 (0, 0) ヲ通過ス。

故ニ圓ノ切線ハ其ノ切點ニ於テ半徑ニ垂直ナルコト明カナリ。



又椭圆 $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ 上ノ一點 (x_0, y_0) = 於ケル切線ハ前同様ニシ

$$\frac{x_0 x}{a^2} + \frac{y_0 y}{b^2} = 1$$

法線ハ之ニ垂直ナルガ故ニ

$$\frac{x-x_0}{\frac{x_0}{a^2}} = \frac{y-y_0}{\frac{y_0}{b^2}}$$

切線ノ方程式ニ於テ $y=0$ ト置キテ横軸トノ交點ヲ索ムルトキハ

$$x = \frac{a^2}{x_0}$$

此ノ値ハ b 及 y_0 = 無關係ナルガ故ニ b ノ如何ニ係ハラズ、同一ノ横座標ヲ有スル點ニ於ケル切線ハ同一ノ點ニ於テ横軸ニ交ナル、依

テ椭圆上ノ一點 P = 於ケル切線

ヲ引カントセバ原點ヲ中心トシテ

半徑ガ a ナル圓ヲ畫キ、 P ヨリ横

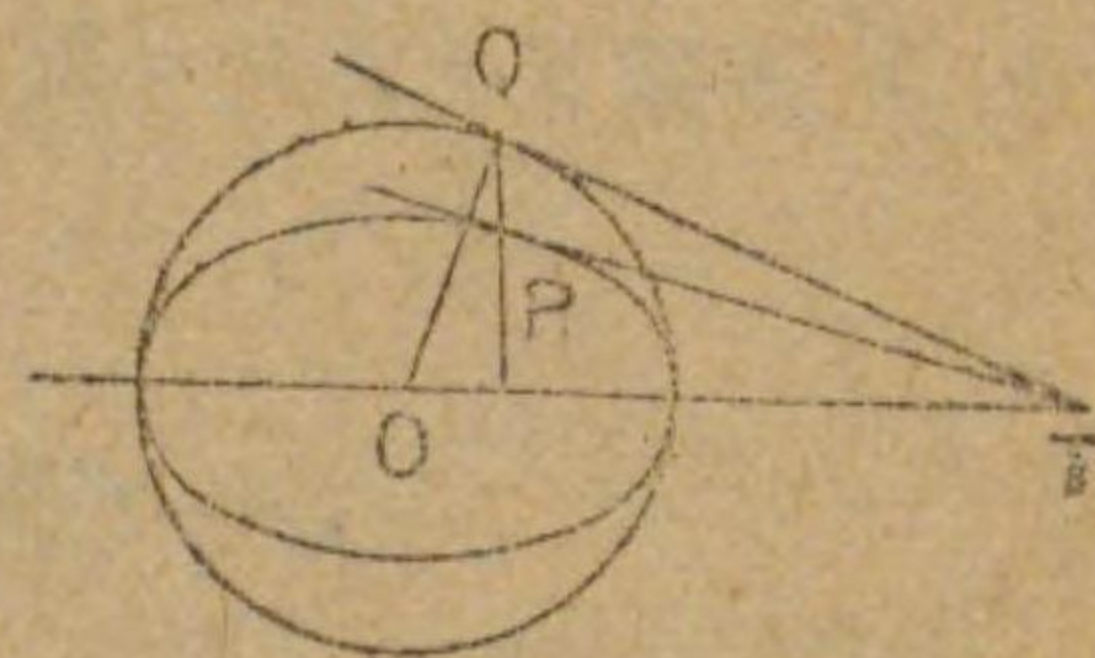
軸ニ垂線ヲ引キ、圓トノ交點ヲ Q

トシ、半徑 OQ ヲ作り、之ニ垂直

ニ切線 QT ヲ引キ、横軸トノ交點ヲ T トシ、 TP ヲ作ルトキハ P =

於ケル椭圆ノ切線ヲ得ベシ、又 P = 於テ PT = 垂直ナルモノハ即チ

其ノ法線ナリ。



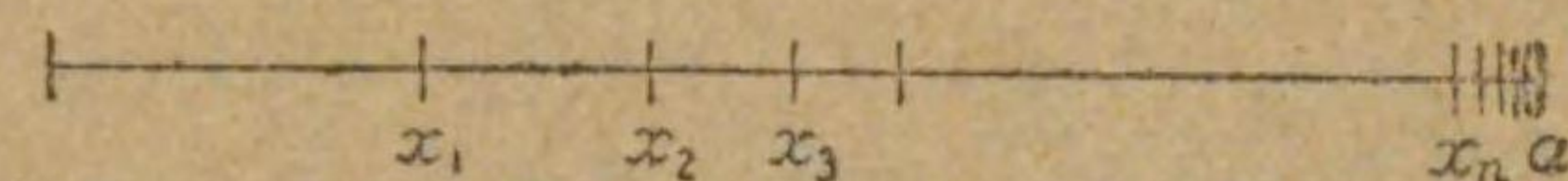
第四章 極限及ビ連續

13. 變數ノ極限值

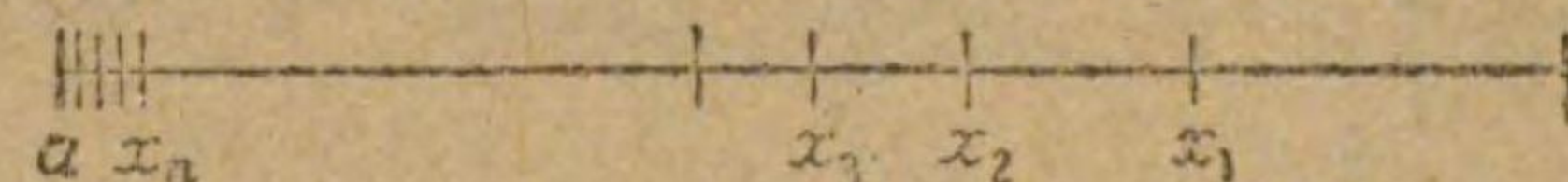
變數 x ガ順次 = $x_1, x_2, x_3, \dots, x_n, \dots$ ノ値ヲ取リテ、一定ノ値 a = 限リナク近ヅクトキ即チ a ト x_n トノ差ノ絶對値ヲ何程ニテモ小ナラシメ得ルトキニハ變數 x ハ a = 收斂ス、或ハ x ノ極限值ハ a ナリトイヒ、之ヲ $x \rightarrow a$ ニテ表ハス。

變數 x ノ極限值ガ a ナルトキ次ノ如ク三種ノ區別アリ。

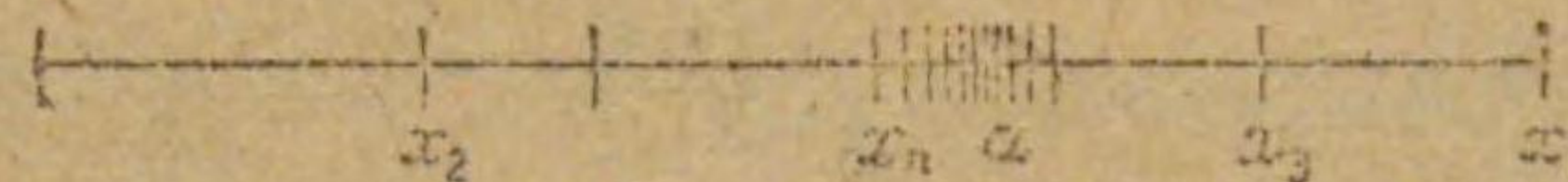
I. x ガ最初 = a ヨリモ小ナル値ヲ取り、以後順次 = 増大シテ終 = a = 近ヅク場合



II. x ガ最初 = a ヨリモ大ナル値ヲ取り、以後順次 = 減少シテ終 = a = 近ヅク場合



III. x ガ最初 = a ヨリモ大ナル値又ハ之ヨリモ小ナル値ヲ取り、以後或ハ a ヨリモ小、或ハ之ヨリモ大ナル値ヲ經テ終 = a = 近ヅク



變數 x が 0 = 收斂スルトキ即チ $x \rightarrow 0$ ナルトキハ x ハ無限小トナルトイフ。

變數 x ノ値ガ次第ニ増大シテ結局何程大ナル正數ヨリモ大ナル値ヲ取ルトキハ之ヲ $x \rightarrow \infty$ ニテ表ハシ、 x ハ無限大トナルトイフ。

又 x ガ負ノ値ヲ取り、其ノ絶對値ガ次第ニ増大シテ結局何程大ナル正數ヨリモ大ナルトキハ之ヲ $x \rightarrow -\infty$ ニテ表ハシ、 x ハ負ノ無限大トナルトイフ。

次ニ變數ノ極限ニ關スル二三ノ例ヲ掲グ。

(i) $x_1 = 0.3, x_2 = 0.33, x_3 = 0.333, x_4 = 0.3333, \dots$

x ガ順次上ノ如キ値ヲ取リテ進ムトキハ

$$\frac{1}{3} - x_1 = \frac{1}{3} - 0.3 = \frac{1}{3} - \frac{3}{10} = \frac{1}{30} = \frac{1}{3} \times \frac{1}{10}$$

$$\frac{1}{3} - x_2 = \frac{1}{3} - 0.33 = \frac{1}{3} - \frac{33}{100} = \frac{1}{300} = \frac{1}{3} \times \frac{1}{10^2}$$

$$\frac{1}{3} - x_3 = \frac{1}{3} - 0.333 = \frac{1}{3} - \frac{333}{1000} = \frac{1}{3000} = \frac{1}{3} \times \frac{1}{10^3}$$

$$\frac{1}{3} - x_4 = \frac{1}{3} - 0.3333 = \frac{1}{3} - \frac{3333}{10000} = \frac{1}{30000} = \frac{1}{3} \times \frac{1}{10^4}$$

一般ニ

$$\frac{1}{3} - x_n = \frac{1}{3} \times \frac{1}{10^n}$$

此ノ如クシテ x ハ恒ニ $\frac{1}{3}$ ヨリモ小ニシテ順次ニ増大シ、 $\frac{1}{3}$ ト x トノ

差ハ何程ニテモ小ナラシムルコトヲ得、故ニ此ノ場合ニ x ノ極限值

ハ $\frac{1}{3}$ 即チ $x \rightarrow \frac{1}{3}$ ナリ。

(ii) $x_1 = 1, x_2 = \frac{1}{2}, x_3 = \frac{3}{4}, \dots, x_n = \frac{x_{n-1} + x_{n-2}}{2}, \dots$

x ガ順次上ノ如キ値ヲ取リテ進ムトキハ

$$2x_n + x_{n-1} = 2x_{n-1} + x_{n-2}$$

同様ニ $2x_{n-1} + x_{n-2} = 2x_{n-2} + x_{n-3}$

從テ $2x_n + x_{n-1} = 2x_{n-1} + x_{n-2} = 2x_{n-2} + x_{n-3} = \dots = 2x_1 + x_1$

然ルニ $x_1 = 1, x_2 = \frac{1}{2}$

故ニ $x_n = 1 - \frac{1}{2}x_{n-1}$

依テ $x_n = 1 - \frac{1}{2}x_{n-1} = 1 - \frac{1}{2}(1 - \frac{1}{2}x_{n-2}) = 1 - \frac{1}{2} + (-\frac{1}{2})^2 x_{n-2}$

$$= 1 - \frac{1}{2} + (-\frac{1}{2})^2 + (-\frac{1}{2})^3 + \dots + (-\frac{1}{2})^{n-1} x_1$$

故ニ $x_n = \frac{1 - (-\frac{1}{2})^n}{1 - (-\frac{1}{2})} = \frac{2}{3} \{ 1 - (-\frac{1}{2})^n \}$

此ノ場合ニハ x ハ 1 ト $\frac{1}{2}$ トノ間ニアリテ交互ニ増大又ハ減少シ結

局 $\frac{2}{3}$ = 近ヅク、故ニ x ノ極限值ハ $\frac{2}{3}$ 即チ $x \rightarrow \frac{2}{3}$ ナリ。

(iii) $x_1 = \frac{1}{2}, x_2 = \frac{1}{4}, x_3 = \frac{1}{8}, \dots, x_n = \frac{1}{2^n}, \dots$

此ノ場合ニハ x ハ恒ニ正ニシテ次第ニ減少シ何程ニテモ小ナラシムルコトヲ得、故ニ x ハ無限小トナル即チ $x \rightarrow 0$ ナリ。

(iv) $x_1 = 10, x_2 = 10^2, x_3 = 10^3, \dots, x_n = 10^n, \dots$

此ノ場合ニハ如何ニ大ナル數ヲ取ルモ 10^n ヲシテ之ヨリモ大ナラシムルコトヲ得、故ニ x ハ無限大トナル即チ $x \rightarrow \infty$ ナリ。

14. 函數ノ極限值

變數 x が順次 $= x_1, x_2, x_3, \dots, x_n, \dots$ ノ値ヲ經テ一定ノ値 $a = \lim_{x \rightarrow a} x$ 限
 リナク近ヅクトキ函數 $y=f(x)$ モ亦之ニ對應スル値 $y_1, y_2, y_3, \dots,$
 y_n, \dots ヲ經テ他ノ一定ノ値 $b = \lim_{y \rightarrow b} y$ 限リナク近ヅク場合ニハ x が a へ
 收斂スルトキ y は b へ收斂ス、或ハ x ノ極限值が a ナルトキ $f(x)$ ノ
 極限值ハ b ナリトイヒ、之ヲ $\lim_{x \rightarrow a} y = b$ ニテ表ハス。

例へバ $y=x^3$ ニ於テ

$$x_1 = \frac{1}{10}, \quad x_2 = \frac{1}{10^2}, \quad x_3 = \frac{1}{10^3}, \quad x_4 = \frac{1}{10^4}, \dots$$

ナルトキ

$$y_1 = \frac{1}{10^3}, \quad y_2 = \frac{1}{10^6}, \quad y_3 = \frac{1}{10^9}, \quad y_4 = \frac{1}{10^{12}}, \dots$$

ニシテ x が $\frac{1}{10^n}$ よりモ小ナルトキハ x^3 が $\frac{1}{10^{3n}}$ よりモ小ナリ、故ニ x
 が 0 へ收斂スルトキハ y も亦 0 へ收斂ス、即チ

$$\lim_{x \rightarrow 0} x^3 = 0$$

次ニ x が無限大トナルトキ $f(x)$ ノ極限值が b ナル場合ニハ之ヲ
 $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = b$ 、又 x が負ノ無限大トナルトキ $f(x)$ ノ極限值が b' ナラ
 ば之ヲ $\lim_{x \rightarrow -\infty} f(x) = b'$ ニテ表ハス。

又 x が一定ノ値 a へ收斂スルトキ $f(x)$ ノ値が無限大トナル場合
 ニハ之ヲ $\lim_{x \rightarrow a} f(x) = \infty$ 、又 $f(x)$ ノ値が負ノ無限大トナル場合ニハ之
 ヲ $\lim_{x \rightarrow a} f(x) = -\infty$ ニテ表ハス。

例へバ $y = \frac{x+1}{x}$ 即チ $y = 1 + \frac{1}{x}$ ニ於テ x が正ノ値ヲ經テ次第ニ
 増大スルトキハ $\frac{1}{x}$ ハ正ニシテ次第ニ減少シ、終ニ x が無限大トナル
 トキ $\frac{1}{x}$ ハ無限小トナル、故ニ

$$\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{x+1}{x} = 1$$

又 x が -1 よりモ小ナル値ヲ取リテ其ノ絶對値が次第ニ増大スルト
 キハ $\frac{1}{x}$ ハ次第ニ減少シテ終ニ無限小トナル、故ニ

$$\lim_{x \rightarrow -\infty} \frac{x+1}{x} = 1$$

次ニ x が正ノ値ヲ取リテ次第ニ減少シ終ニ無限小トナルトキハ
 $\frac{1}{x}$ ハ益増大シテ終ニ無限大トナル、故ニ

$$\lim_{x \rightarrow +0} \frac{x+1}{x} = \infty$$

又 x が -1 よりモ大ナル値ヲ取リテ次第ニ増大スルトキハ $\frac{1}{x}$ ハ負ニ
 シテ其ノ絶對値ハ益増大シ終ニ負ノ無限大トナル、故ニ

$$\lim_{x \rightarrow -0} \frac{x+1}{x} = -\infty$$

注意 以上ノ關係ハ $y = \frac{x+1}{x}$ ノ圖ヲ畫クコトニヨリ明瞭ナルベ
 シ、尙 x が右方ヨリ 0 へ近ヅクト左方ヨリ近ヅクトヲ區別スル必要
 アル場合ニハ前例ニ於ケル如ク前者ヲ $x \rightarrow +0$ 、後者ヲ $x \rightarrow -0$ ト記
 ス、一般ニ x が右方ヨリ a へ近ヅクト左方ヨリ近ヅクトヲ區別スル
 場合ニハ前者ヲ $x \rightarrow a+0$ 、後者ヲ $x \rightarrow a-0$ ト記スモノトス

次=函数ノ極限=關スル一二ノ重要ナル例ヲ掲グ

(i) $\lim_{x \rightarrow a} \frac{x^n - a^n}{x - a}$

此 = nハ正ノ整数トス。

x-a=h ト置クトキハ xガaニ収斂スルトキハ hハ0ニ収斂ス。

又 $x^n - a^n = (a+h)^n - a^n = \{(a+h)^{n-1} + (a+h)^{n-2}a + (a+h)^{n-3}a^2 + \dots + a^{n-1}\}h$

從テ $\lim_{x \rightarrow a} \frac{x^n - a^n}{x - a} = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{(a+h)^n - a^n}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} \{(a+h)^{n-1} + (a+h)^{n-2}a + (a+h)^{n-3}a^2 + \dots + a^{n-1}\} = na^{n-1}$

故 = $\lim_{x \rightarrow a} \frac{x^n - a^n}{x - a} = na^{n-1}$

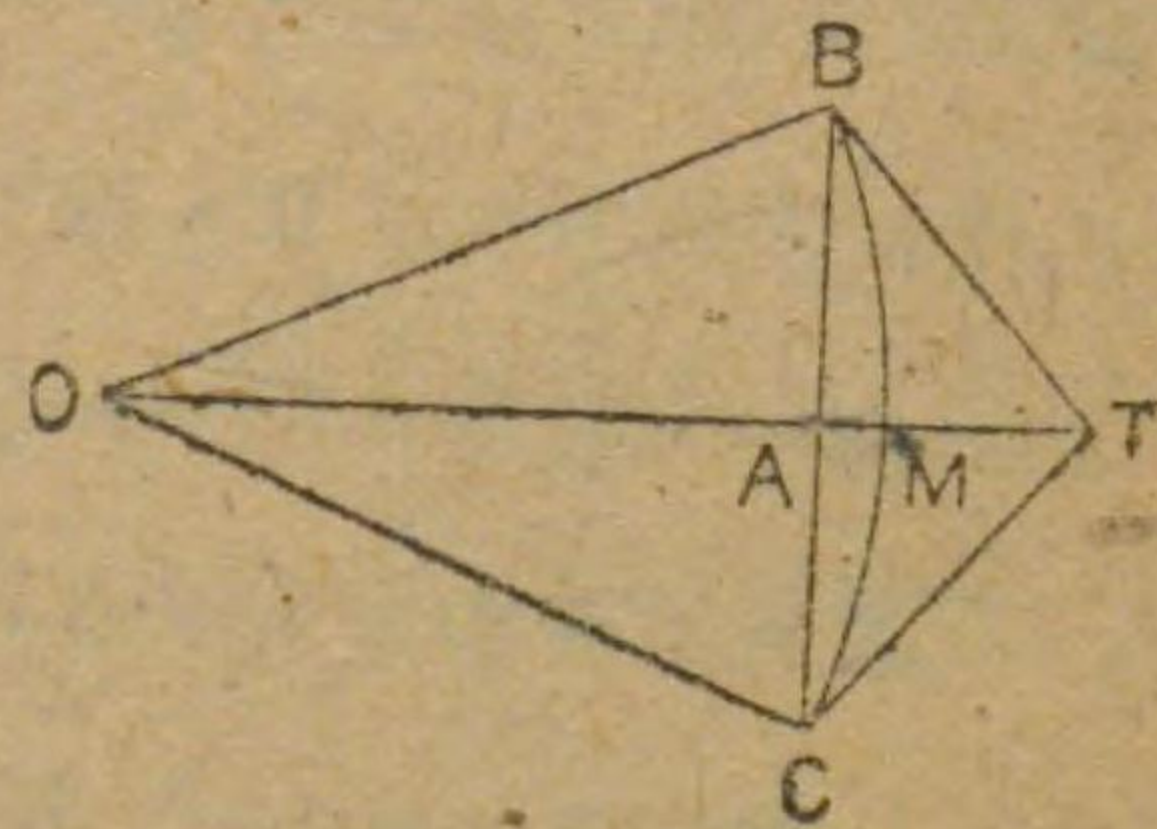
(ii) $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin x}{x}$

半徑ガ1ナル圓ノ中心ヲOトシ、其ノ弧BCノ中點ヲMトシ、弦BCト半徑OMトノ交點ヲA、又Bニ於ケル切線ト直線OAトノ交點ヲTトスルトキハ

$\overline{BC} < \widehat{BC} < \overline{BT} + \overline{CT}$

然ル = $\overline{BT} = \overline{CT}$

$\overline{BC} = 2\overline{BA}, \widehat{BC} = 2\widehat{BM}$



故 = $\overline{BA} < \widehat{BM} < \overline{BT}$

角 AOB=x トスルトキハ半徑ハ1ナルガ故ニ

$\sin x < x < \tan x, \quad 0 < x < \frac{\pi}{2}$

從テ $1 < \frac{x}{\sin x} < \frac{1}{\cos x}$

即チ $1 > \frac{\sin x}{x} > \cos x$

各項ヲ1ヨリ減ジテ

$0 < 1 - \frac{\sin x}{x} < 1 - \cos x$

然ル = $1 - \cos x = 2\sin^2 \frac{x}{2}, \quad \sin \frac{x}{2} < \frac{x}{2}$

故 = $0 < 1 - \frac{\sin x}{x} < \frac{x^2}{2}$

xガ0ニ収斂スルトキハ $\frac{x^2}{2}$ モ亦明カニ0ニ収斂ス。

故 = $\lim_{x \rightarrow 0} \left(1 - \frac{\sin x}{x}\right) = 0$

即チ $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin x}{x} = 1$

以上ハxガ正ノ値ヲ取り次第ニ減少シテ0ニ近ヅク場合ナリ、若シxガ負ノ値ヲ取りテ次第ニ増大シテ0ニ近ヅクトキハ -x=zト置ケバ

$\lim_{x \rightarrow -0} \frac{\sin x}{x} = \lim_{z \rightarrow +0} \frac{\sin(-z)}{-z} = \lim_{z \rightarrow +0} \frac{\sin z}{z} = 1$

故ニ何レノ場合ニ於テモ

$\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin x}{x} = 1$

15. 無限級數ノ極限值

數列 $a_1, a_2, a_3, \dots, a_n, \dots$ = 於テ

$$s_n = a_1 + a_2 + a_3 + \dots + a_n$$

ト置キ, $\lim_{n \rightarrow \infty} s_n$ ガ一定ノ値 s ヲ有スルトキハ, 無限級數

$$a_1 + a_2 + a_3 + \dots + a_n + \dots$$

ヲ收斂級數トイヒ, s ヲ其ノ極限值トイフ.

$\lim_{n \rightarrow \infty} s_n$ ガ無限大トナルカ又ハ不定ナルトキハ此ノ級數ヲ發散級數

トイフ.

無限級數ノ各項ガ何レモ x ノ函數ナルトキハ s_n ハ x ノ函數ナリ,

從テ其ノ極限值 s ガ存在スルトキハ s モ亦 x ノ函數ナリ.

次ニ無限級數ノ收斂發散ニ關スル二三ノ例ヲ掲グ.

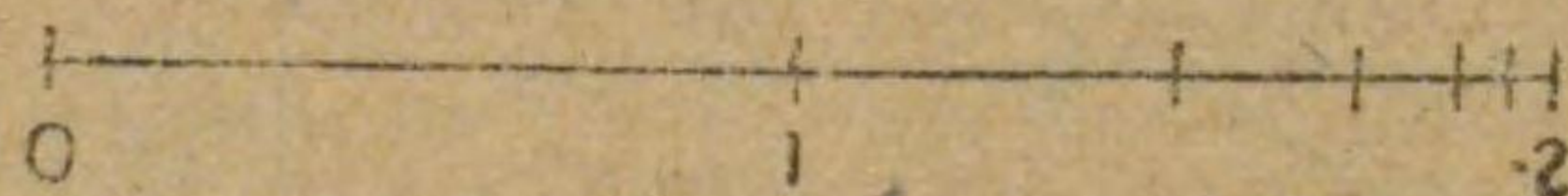
$$(i) 1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{4} + \frac{1}{8} + \dots + \frac{1}{2^n} + \dots$$

此ノ級數ノ最初ノ n 項ノ和ヲ s_n トスレバ

$$s_n = 1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{2^2} + \frac{1}{2^3} + \dots + \frac{1}{2^{n-1}}$$

$$= \frac{1 - \left(\frac{1}{2}\right)^n}{1 - \frac{1}{2}} = 2 - \frac{1}{2^{n-1}}$$

故ニ $\lim_{n \rightarrow \infty} s_n = 2$



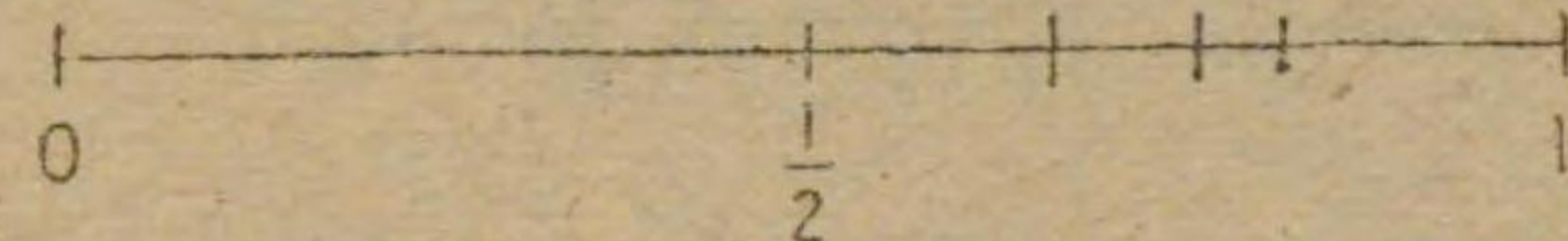
此ノ級數ハ收斂級數ニシテ其ノ極限值ハ 2 ナリ.

$$(ii) \frac{1}{1 \cdot 2} + \frac{1}{2 \cdot 3} + \frac{1}{3 \cdot 4} + \dots + \frac{1}{n(n+1)} + \dots$$

此ノ級數ノ最初ノ n 項ノ和ヲ s_n トスレバ

$$\begin{aligned} s_n &= \frac{1}{1 \cdot 2} + \frac{1}{2 \cdot 3} + \frac{1}{3 \cdot 4} + \dots + \frac{1}{n(n+1)} \\ &= \left(1 - \frac{1}{2}\right) + \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3}\right) + \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{4}\right) + \dots + \left(\frac{1}{n} - \frac{1}{n+1}\right) \\ &= 1 - \frac{1}{n+1} \end{aligned}$$

故ニ $\lim_{n \rightarrow \infty} s_n = 1$



此ノ級數ハ收斂級數ニシテ其ノ極限值ハ 1 ナリ.

$$(iii) 1 + x + x^2 + \dots + x^n + \dots$$

此ノ場合ニ於テハ

$$s_n = 1 + x + x^2 + \dots + x^{n-1} = \frac{1-x^n}{1-x} = \frac{x^n-1}{x-1}$$

$-1 < x < 1$ ナルトキハ $\lim_{n \rightarrow \infty} s_n = \frac{1}{1-x}$

$x > 1$ ナルトキハ $\lim_{n \rightarrow \infty} s_n = \infty$

$x < -1$ ナルトキハ $\lim_{n \rightarrow \infty} s_n = +\infty$ 又ハ $-\infty$

$x = 1$ ナルトキハ $\lim_{n \rightarrow \infty} s_n = \lim_{n \rightarrow \infty} n = \infty$

$x = -1$ ナルトキハ $\lim_{n \rightarrow \infty} s_n = 0$ 又ハ 1

此ノ級數ハ $-1 < x < 1$ ナルトキハ收斂級數ニシテ其ノ他ノ場合ニハ

發散級數ナリ

注意 無限級数ノ収斂發散ヲ決定セントスルニ當リ上ニ示セルガ如ク直接ニ s_n ノ極限值ヲ索ムルコトハ多クノ場合ニ於テ容易ナラズ、他ノ収斂級数又ハ發散級数ト比較シテ之ヲ決定スルヲ以テ簡單ナリトス、尙次ノ例ヲ見ルベシ。

$$(iv) \quad 1 + \frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{n} + \dots$$

此ノ級数ノ最初ノ n 項ノ和ヲ s_n トスレバ

$$s_n = 1 + \frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{n-1}$$

然ルニ $\frac{1}{2} = \frac{1}{2}, \frac{1}{3} = \frac{1}{1 \cdot 2 \cdot 3} < \frac{1}{2^2}, \dots$

$$\frac{1}{n-1} = \frac{1}{1 \cdot 2 \cdot \dots \cdot n-1} < \frac{1}{2^{n-2}}, \dots$$

故ニ $0 < s_n < 1 + \frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{2^2} + \dots + \frac{1}{2^{n-2}}$

(i) = ヨリ

$$0 < s_n < 3 - \frac{1}{2^{n-2}}$$

s_n ハ項数ノ増大スルニ從ヒ其ノ値益増大スレドモ恒ニ 3 ヨリモ小ナリ、故ニ必ズ 3 ヨリモ小ナル極限值ヲ有スベシ、從テ此ノ級数ハ収斂級数ナリ。

此ノ極限值ヲ e ニテ表ハセバ

$$e = 1 + \frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{n} + \dots$$

依テ $e > 1 + \frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{n}$

又 $\frac{1}{n+2} < \frac{1}{n+1} \cdot \frac{1}{n+1} < \frac{1}{n+3} < \frac{1}{n+1} \cdot \frac{1}{(n+1)^2}, \dots$

故ニ $\frac{1}{n+1} + \frac{1}{n+2} + \frac{1}{n+3} + \dots < \frac{1}{n+1} \left\{ 1 + \frac{1}{n+1} + \frac{1}{(n+1)^2} + \dots \right\}$

然ルニ (iii) = ヨリ

$$1 + \frac{1}{n+1} + \frac{1}{(n+1)^2} + \dots = \frac{1}{1 - \frac{1}{n+1}} = \frac{n+1}{n}$$

從テ $\frac{1}{n+1} + \frac{1}{n+2} + \frac{1}{n+3} + \dots < \frac{1}{n+1} \cdot \frac{n+1}{n}$

依テ $e < 1 + \frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{n} + \frac{1}{n \cdot n}$

故ニ e ノ近似値トシテ $1 + \frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \dots + \frac{1}{n}$ ト取ルトキハ其ノ誤差ハ $\frac{1}{n \cdot n}$ ヨリモ小ナリ。

實際小數第七位マデ索ムレバ次ノ近似値ヲ得。

$$e = 2.7182818$$

e ガ既約分數トシテ表ハシ得ザルコトハ上ノ式ヨリ容易ニ之ヲ證明スルヲ得

(v) $1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \dots + \frac{1}{n} + \dots$

$$\frac{1}{3} + \frac{1}{4} > \frac{1}{4} \times 2 = \frac{1}{2} \quad \frac{1}{5} + \frac{1}{6} + \frac{1}{7} + \frac{1}{8} > \frac{1}{8} \times 4 = \frac{1}{2}$$

$$\frac{1}{9} + \frac{1}{10} + \dots + \frac{1}{16} > \frac{1}{16} \times 4 = \frac{1}{4}, \dots$$

依テ $1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \dots + \frac{1}{n} + \dots > 1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{2} + \frac{1}{2} + \dots$

此ノ右側ハ無限大トナル、故ニ左側ノ級数ハ發散級数ナリ。

16. 函数ノ連續

變數 x が右方又ハ左方ノ何レヨリ a = 収斂スルモ $f(x)$ ノ極限值ト $x=a$ = 於ケル $f(x)$ ノ値トガ相一致スルトキハ $f(x)$ ハ $x=a$ = 於テ連續ナリトイフ、即チ $f(x)$ が $x=a$ = 於テ連續ナル爲ニハ

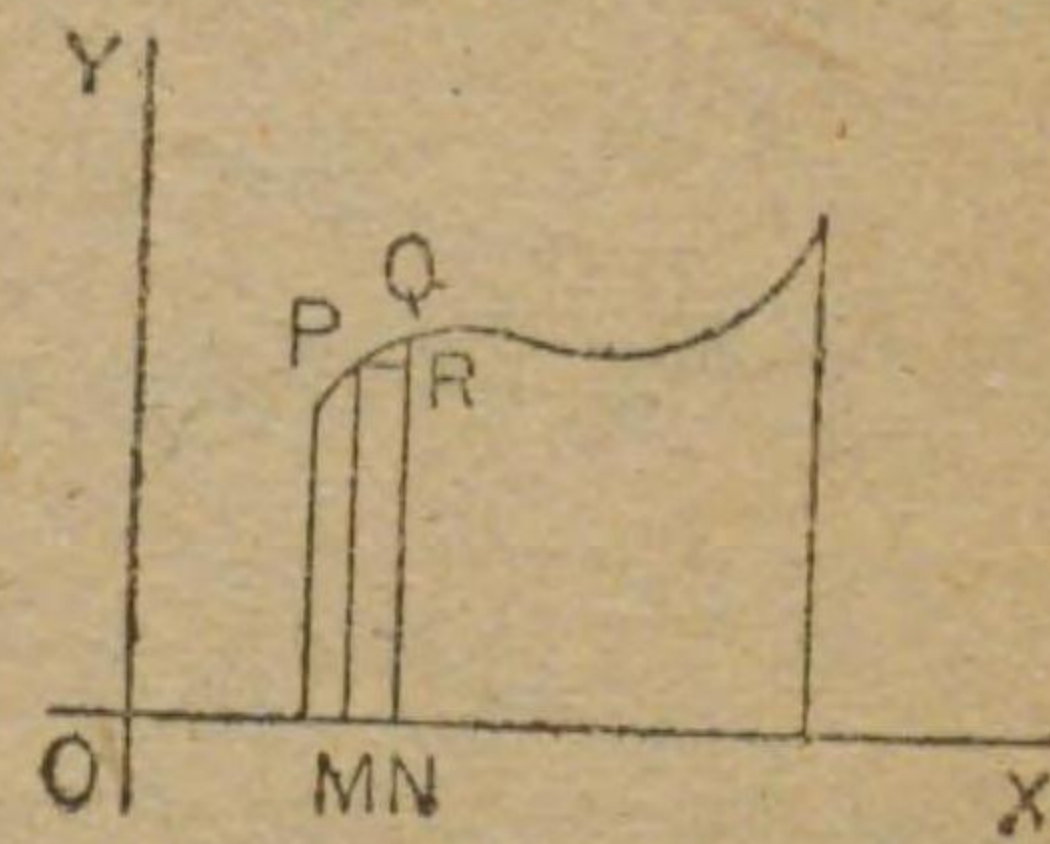
$$\lim_{x \rightarrow a+0} f(x) = f(a)$$

或ハ $x=a+h$ ト置クトキハ

$$\lim_{x \rightarrow a \pm 0} f(a+h) = f(a)$$

$f(x)$ が $x=\alpha$ ヨリ $x=\beta$ = 至ル間ニ於ケル x ノ總テノ値ニ對シテ上ノ條件ヲ満足スルトキハ $f(x)$ ハ (α, β) 域ニ於テ連續ナリトイフ。

一定ノ直交軸 OX, OY = 關シテ $OM=a, MN=h$ トシ、 M 及ビ N ヨリ横軸ニ垂線 MP, NQ ヲ引キ、 $MP=f(a), NQ=f(a+h)$ トシ P ヨリ横軸ニ平行線ヲ引キ NQ トノ交點ヲ R トスルトキハ



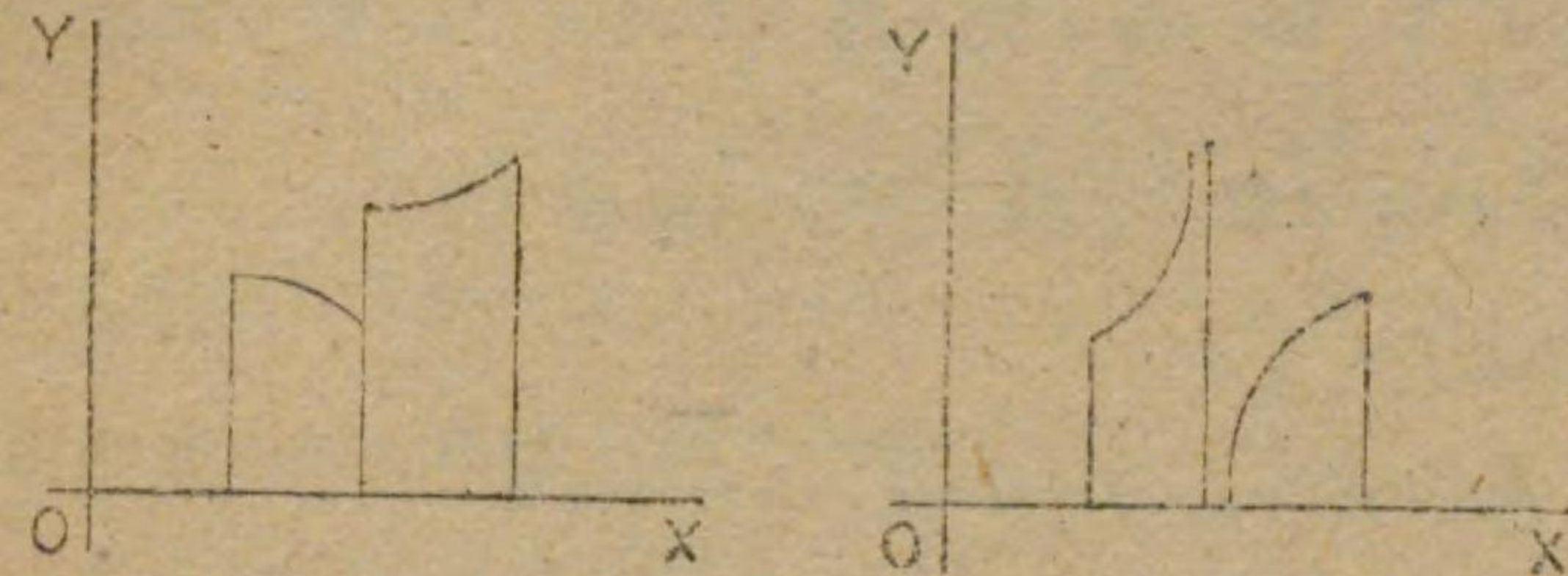
$$RQ = f(a+h) - f(a)$$

$$PQ = \sqrt{h^2 + \{f(a+h) - f(a)\}^2}$$

$f(x)$ が $x=a$ = 於テ連續ナルトキハ h 即チ MN ヲ小ナラシムルコトニヨリテ PQ ヲ何程ニテモ小ナラシムルコトヲ得。

故ニ $f(x)$ が連續ナル場合ニハ $y=f(x)$ ハ一般ニ連續シタル曲線ヲ表ハスモノト考フルコトヲ得。

$f(x)$ が $x=a$ = 於テ上記ノ要件ヲ満足セザルトキハ $f(x)$ ハ $x=a$ = 於テ不連續ナリトイフ、即チ $\lim_{x \rightarrow a+0} f(x)$ ト $\lim_{x \rightarrow a-0} f(x)$ ト相一致セザル場合、 $\lim_{x \rightarrow a+0} f(x)$ ト $\lim_{x \rightarrow a-0} f(x)$ ト相一致スルモ $f(a)$ ト相一致セザル場合、 $\lim_{x \rightarrow a+0} f(x)$ 及ビ $\lim_{x \rightarrow a-0} f(x)$ ノ何レカ一方又ハ雙方共ニ無限大或ハ不定トナル場合等ニ於テ $f(x)$ ハ何レモ不連續ナリ。



次ニ函数ノ連續ニ關シテ二三ノ例ヲ掲グ。

(i) $f(x) = x^2$

x ノ一ツノ値ヲ a トスルトキハ

$$f(a+h) - f(a) = (a+h)^2 - a^2 = (2a+h)h$$

故ニ $\lim_{h \rightarrow \pm 0} \{f(a+h) - f(a)\} = 0$

即チ $\lim_{h \rightarrow \pm 0} f(a+h) = f(a)$

故ニ x^2 ハ x ノ總テノ値ニ對シテ連續ナリ、從テ拋物線 $y=x^2$ ハ一ツノ連續シタル曲線ヲ表ハス。

同様ニ n が正ノ整數ナルトキハ x^n ハ x ノ總テノ値ニ對シテ連續ナルコトヲ證明スルヲ得。

(ii) $f(x) = \sqrt{1+x^2}$

$$f(a+h) - f(a) = \sqrt{1+(a+h)^2} - \sqrt{1+a^2}$$

$$= \frac{(a+h)^2 - a^2}{\sqrt{1+(a+h)^2} + \sqrt{1+a^2}}$$

$$= \frac{(2a+h)h}{\sqrt{1+(a+h)^2} + \sqrt{1+a^2}}$$

故 = $\lim_{h \rightarrow \pm 1} \{f(a+h) - f(a)\} = 0$

即チ $\lim_{h \rightarrow \pm 1} f(a+h) = f(a)$

依テ $\sqrt{1+x^2}$ ハ x ノ總テノ値ニ對シテ連續ナリ。

(iii) $f(x) = \sin x$

$$f(a+h) - f(a) = \sin(a+h) - \sin a$$

$$= 2\sin \frac{h}{2} \cos \left(a + \frac{h}{2}\right)$$

故 = $\lim_{h \rightarrow \pm 1} \{f(a+h) - f(a)\} = 0$

即チ $\lim_{h \rightarrow \pm 1} f(a+h) = f(a)$

依テ $\sin x$ ハ x ノ總テノ値ニ對シテ連續ナリ。

(iv) $f(x) = \frac{1}{x}$

$$\lim_{x \rightarrow +0} f(x) = +\infty, \lim_{x \rightarrow -0} f(x) = -\infty$$

故 = $\frac{1}{x}$ ハ $x=0$ = 於テ不連續ナリ。

第五章 微分法

17. 導來函數

第5節ニ於テ示シタルガ如ク、圓周率ヲ π 、圓ノ半徑ノ長サヲ r 、其ノ面積ヲ A トスルトキハ

$$A = \pi r^2$$

今 r ガ $r+h$ = 變ズルトキ A ガ $A+k$ = 變ジタリトスレバ

$$k = \pi(r+h)^2 - \pi r^2 = \pi(2r+h)h$$

h ガ次第ニ 0 = 近ヅクトキハ k

モ亦 0 = 近ヅキ、結局 h ガ 0 = 收

斂スルトキ k モ亦 0 = 收斂ス。

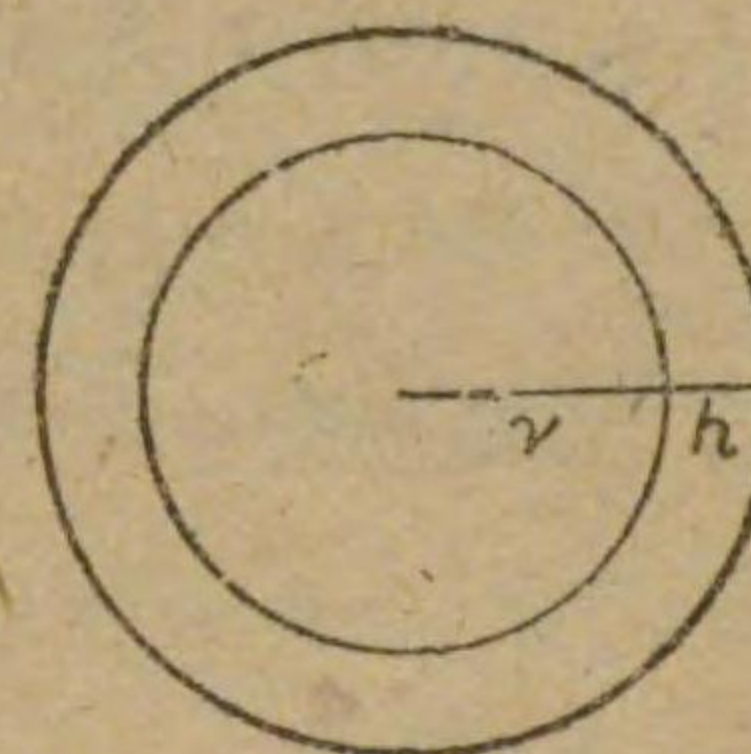
然ルニ $\frac{k}{h} = 2\pi r + h$

故ニ $\lim_{h \rightarrow 0} \frac{k}{h} = 2\pi r$

一般ニ連續函數 $y=f(x)$ = 於テ x ガ $x+h$ = 變ズルトキ $f(x)$ ハ $f(x+h)$ = 變ズベク、 h ガ 0 = 收斂スルトキ $f(x+h) - f(x)$ モ亦前節ニヨリ 0 = 收斂ス。

$$k = f(x+h) - f(x)$$

ト置クトキハ $\frac{k}{h}$ ノ値ハ極限ニ於テ有限ナルコトアリ、無限大トナルコトアリ、又全く不定ナルコトモアルベシ、又 h ガ右方ヨリ 0 = 近ヅクトキノ極限值ト左方ヨリ近ヅクトキノ極限值トハ必ズシモ相等シカラズ。



$h \rightarrow \pm 0$ ナル極限 = 於テ

$$\frac{k}{h} = \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

ガ唯一ノ確定シタル値ヲ有スルトキハ之ヲ次ノ如ク表ハス

$$\frac{dy}{dx} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

dx, dy ヲ夫々 x, y ノ微分トイヒ、 $\frac{dy}{dx}$ ヲ y 即チ $f(x)$ ノ微分係數ト

イフ、又此ノ極限值ハ x ノ函數ナルヲ以テ

$$\lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = f'(x)$$

ト記シ、 $f'(x)$ ヲ $f(x)$ ノ導來函數トイフ。

曲線 $y=f(x)$ ノ上ニ於ケル二點

P, Q ヨリ横軸ニ引ケル垂線ヲ夫々 PM, QN トシ、 P ヨリ QN ニ引ケル垂線ヲ PR トスルトキ

$$OM = x, MN = h$$

ト置ケバ

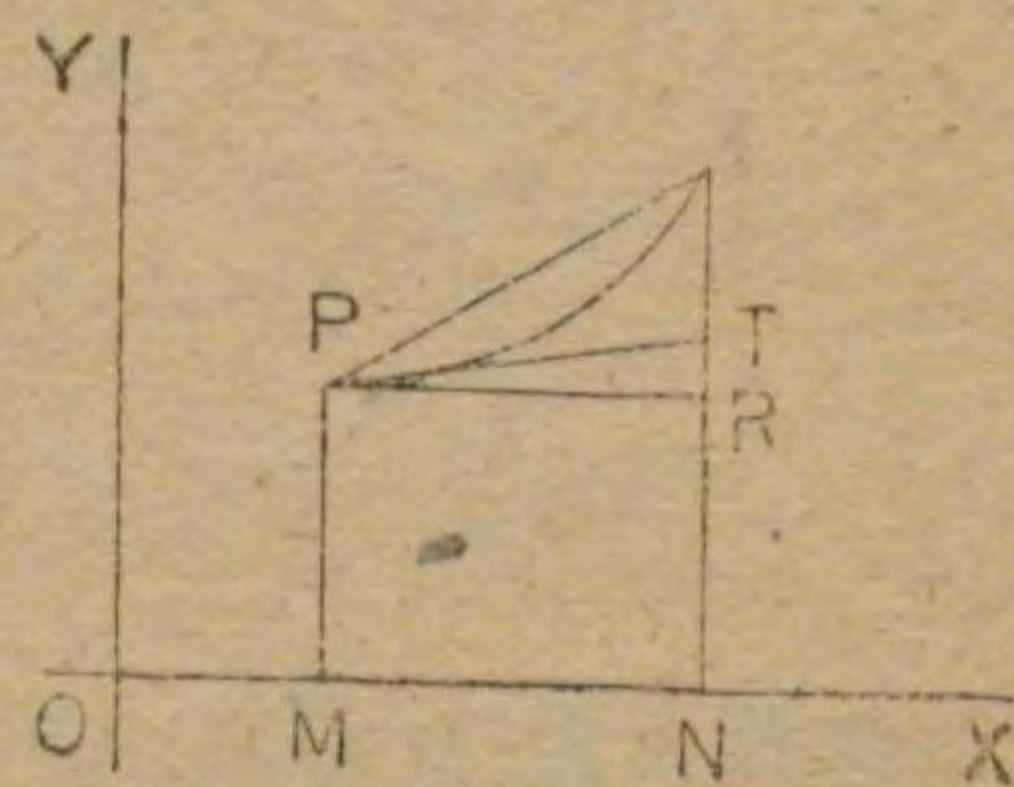
$$MP = f(x), NQ = f(x+h)$$

$$\text{即チ} \quad \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = \frac{RQ}{PR} = \tan \angle QPR$$

Q ガ限リナク P ニ近ヅクトキハ PR, RQ ハ何レモ 0 ニ收斂シ、

PQ ハ P ニ於ケル切線トナル、故ニ P ニ於ケル切線 PT ガ横軸ノ正方向トナス角ヲ α トスレバ

$$\lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = \tan \alpha$$



次ニ簡單ナル函數ノ導來函數ヲ索ムル例ヲ掲グ。

(i) $f(x) = x^n$, 此ニ n ハ正ノ整數

$$\begin{aligned} f(x+h) - f(x) &= (x+h)^n - x^n \\ &= \{(x+h)^{n-1} + (x+h)^{n-2}h + \dots + h^{n-1}\}h \end{aligned}$$

$$\text{從テ} \quad \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} \{(x+h)^{n-1} + (x+h)^{n-2}h + \dots + h^{n-1}\}$$

$$\text{故ニ} \quad f'(x) = nx^{n-1}$$

(ii) $f(x) = \frac{1}{x}$

$$f(x+h) - f(x) = \frac{1}{x+h} - \frac{1}{x} = \frac{-h}{(x+h)x}$$

$$\text{從テ} \quad \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{-1}{(x+h)x}$$

$$\text{故ニ} \quad f'(x) = -\frac{1}{x^2}$$

(iii) $f(x) = \sqrt{1+x^2}$

$$\begin{aligned} f(x+h) - f(x) &= \sqrt{1+(x+h)^2} - \sqrt{1+x^2} \\ &= \frac{(x+h)^2 - x^2}{\sqrt{1+(x+h)^2} + \sqrt{1+x^2}} \\ &= \frac{2xh + h^2}{\sqrt{1+(x+h)^2} + \sqrt{1+x^2}} \end{aligned}$$

$$\text{從テ} \quad \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{2x+h}{\sqrt{1+(x+h)^2} + \sqrt{1+x^2}}$$

$$\text{故ニ} \quad f'(x) = \frac{x}{\sqrt{1+x^2}}$$

(iv) $f(x) = \sin x$

$$f(x+h) - f(x) = \sin(x+h) - \sin x$$

$$= 2\sin\frac{h}{2}\cos\left(x + \frac{h}{2}\right)$$

$$\text{從テ } \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{\sin\frac{h}{2}}{\frac{h}{2}} \cos\left(x + \frac{h}{2}\right)$$

然ル = 第14節 = \Rightarrow γ

$$\lim_{x \rightarrow \pm 0} \frac{\sin x}{x} = 1$$

故 =

$$f'(x) = \cos x$$

(v) $f(x) = \cos x$

$$f(x+h) - f(x) = \cos(x+h) - \cos x$$

$$= -2\sin\frac{h}{2}\sin\left(x + \frac{h}{2}\right)$$

$$\text{從テ } \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} -\frac{\sin\frac{h}{2}}{\frac{h}{2}} \sin\left(x + \frac{h}{2}\right)$$

故 =

$$f'(x) = -\sin x$$

(vi) $f(x) = \tan x$

$$f(x+h) - f(x) = \tan(x+h) - \tan x$$

$$= \frac{\sin(x+h)}{\cos(x+h)} - \frac{\sin x}{\cos x}$$

$$\frac{\sin h}{\cos(x+h)\cos x}$$

$$\text{從テ } \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{\sin h}{h} \frac{1}{\cos(x+h)\cos x}$$

故 =

$$f'(x) = \frac{1}{\cos^2 x}$$

13. 函數ノ和, 積及ビ商ノ導來函數

二ツノ函數 $f(x)$, $\phi(x)$ ノ導來函數ヲ夫々 $f'(x)$, $\phi'(x)$ トシ, 次ノ如ク $f(x)$ 及ビ $\phi(x)$ ノ和, 積及ビ商ヲ作ル.

(i) $y = f(x) + \phi(x)$

然ルトキハ

$$\frac{dy}{dx} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{\{f(x+h) + \phi(x+h)\} - \{f(x) + \phi(x)\}}{h}$$

$$= \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} + \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{\phi(x+h) - \phi(x)}{h}$$

$$\text{然ル} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = f'(x), \quad \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{\phi(x+h) - \phi(x)}{h} = \phi'(x)$$

故 =

$$\frac{dy}{dx} = f'(x) + \phi'(x)$$

此ノ特別ナル場合トシテ $y = f(x) + c$ ナルトキハ $\frac{dy}{dx} = f'(x)$

(ii) $y = f(x)\phi(x)$

$$\frac{dy}{dx} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h)\phi(x+h) - f(x)\phi(x)}{h}$$

$$= \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{\{f(x+h) - f(x)\}\phi(x+h) + \{f(x)\}\{\phi(x+h) - \phi(x)\}}{h}$$

$$= \lim_{h \rightarrow \pm 0} \left\{ \frac{f(x+h) - f(x)}{h} \phi(x+h) \right\} + f(x) \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{\phi(x+h) - \phi(x)}{h}$$

故 =

$$\frac{dy}{dx} = f'(x)\phi(x) + f(x)\phi'(x)$$

此ノ特別ナル場合トシテ $y = cf(x)$ ナルトキハ $\frac{dy}{dx} = cf'(x)$

又 $y = ax^2 + bx + c$ ナルトキハ $\frac{dy}{dx} = 2ax + b$

(iii) $y = \frac{f(x)}{\phi(x)}$

$$\frac{dy}{dx} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{\frac{f(x+h)}{\phi(x+h)} - \frac{f(x)}{\phi(x)}}{h}$$

$$= \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{\{f(x+h) - f(x)\} \phi(x) - \{\phi(x+h) - \phi(x)\} f(x)}{\phi(x+h) \phi(x) h}$$

$$= \lim_{h \rightarrow \pm 0} \left\{ \frac{f(x+h) - f(x)}{h} \cdot \frac{1}{\phi(x+h)} \right\}$$

$$- f(x) \lim_{h \rightarrow \pm 0} \left\{ \frac{\phi(x+h) - \phi(x)}{h} \cdot \frac{1}{\phi(x+h) \phi(x)} \right\}$$

故 = $\frac{dy}{dx} = \frac{f'(x)}{\phi(x)} - f(x) \frac{\phi'(x)}{\{\phi(x)\}^2}$

或ハ $\frac{dy}{dx} = \frac{f'(x) \phi(x) - f(x) \phi'(x)}{\{\phi(x)\}^2}$

此ノ特別ナル場合トシテ $y = \frac{c}{f(x)}$ ナルトキハ $\frac{dy}{dx} = -\frac{cf'(x)}{\{f(x)\}^2}$

此ニ $c=1, f(x)=x^n$ ト置キ、 n ノ正ノ整数トスルトキハ第17節ニヨリ

$$\frac{dy}{dx} = -\frac{nx^{n-1}}{(x^n)^2} = -nx^{-n-1}$$

上式ニ於テ $-n=m$ ト置ケバ

$$y = x^m, \frac{dy}{dx} = mx^{m-1}$$

此ニ m ハ負ノ整数ナリ、 $m = n$ ガ整数ナルトキハ其ノ正負ニ關セ

ズ $y = x^n$ ニヨリ $\frac{dy}{dx} = nx^{n-1}$ ノ得。

19. 函数ノ函数ノ導來函数

$z = \phi(y)$ ニシテ $y = f(x)$ ナルトキハ

$$z = \phi\{f(x)\}$$

$$\frac{dz}{dx} = \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{\phi\{f(x+h)\} - \phi\{f(x)\}}{h}$$

$$= \lim_{h \rightarrow \pm 0} \left[\frac{\phi\{f(x+h)\} - \phi\{f(x)\}}{f(x+h) - f(x)} \cdot \frac{f(x+h) - f(x)}{h} \right]$$

$f(x+h) - f(x) = k$ ト置クトキハ

$$\phi\{f(x+h)\} - \phi\{f(x)\} = \phi(y+k) - \phi(y)$$

$\phi(y)$ 及ビ $f(x)$ ガ何レモ連續函数ナルトキハ h ガ 0 ニ收斂スルトキ

k モ亦 0 ニ收斂シ、從テ $\phi(y+k) - \phi(y)$ モ同様 0 ニ收斂ス。

故ニ

$$\frac{dz}{dx} = \lim_{k \rightarrow \pm 0} \frac{\phi(y+k) - \phi(y)}{k} \cdot \lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

尙 $\phi(y)$ 及ビ $f(x)$ ガ夫々導來函数 $\phi'(y)$ 及ビ $f'(x)$ ノ有ストスルトキハ

$$\lim_{k \rightarrow \pm 0} \frac{\phi(y+k) - \phi(y)}{k} = \phi'(y)$$

$$\lim_{h \rightarrow \pm 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = f'(x)$$

故ニ

$$\frac{dz}{dx} = \phi'(y) f'(x)$$

或ハ

$$\frac{dz}{dx} = \frac{dz}{dy} \frac{dy}{dx}$$

次ニ二三ノ應用問題ヲ掲グ

(i) $y = x^{\frac{p}{q}}$, 此 p, q は整数トス.

$z = x^{\frac{1}{q}}$ ト置クトキハ

$$y = z^p, \quad z^q = x$$

依テ $\frac{dy}{dz} = pz^{p-1}, \quad qz^{q-1} \frac{dz}{dx} = 1$

故ニ $\frac{dy}{dx} = \frac{dy}{dz} \frac{dz}{dx} = \frac{p}{q} z^{p-q}$

即チ $\frac{dy}{dx} = \frac{p}{q} x^{\frac{p}{q}-1}$

第17節及ビ第18節ヲ参照スルトキハ n ガ任意ノ有理数ナルトキ,

$y = x^n$ ヲリ $\frac{dy}{dx} = nx^{n-1}$ ヲ得.

(ii) $y = \sqrt{a+bx^2}$

$$y = z^{\frac{1}{2}}, \quad z = a+bx^2$$

$$\frac{dy}{dz} = \frac{1}{2} z^{-\frac{1}{2}}, \quad \frac{dz}{dx} = 2bx$$

依テ $\frac{dy}{dx} = \frac{dy}{dz} \frac{dz}{dx} = \frac{1}{2} z^{-\frac{1}{2}} 2bx$

即チ $\frac{dy}{dx} = \frac{bx}{\sqrt{a+bx^2}}$

(iii) $y = \sin^3 x$

$$y = z^3, \quad z = \sin x$$

$$\frac{dy}{dz} = 3z^2, \quad \frac{dz}{dx} = \cos x$$

故ニ $\frac{dy}{dx} = \frac{dy}{dz} \frac{dz}{dx} = 3z^2 \cos x$

即チ $\frac{dy}{dx} = 3 \sin^2 x \cos x$

20. 高次導來函数

函数 $y=f(x)$ ノ導來函数ヲ $y'=f'(x)$ トスレバ $f'(x)$ ハ亦ノ函数ナルガ故ニ同様ニシテ其ノ導來函数ヲ索ムルコトヲ得ベシ、之ヲ第二次ノ導來函数トイヒ

$$y'' = \frac{d^2 y}{dx^2} = f''(x)$$

ト記ス、之ニ對シテ $f'(x)$ ヲ第一次ノ導來函数トイフ。

$f''(x)$ ヲリ更ニ其ノ導來函数ヲ索メ得ル場合ニハ

$$y''' = \frac{d^3 y}{dx^3} = f'''(x)$$

ヲ第三次ノ導來函数トイフ。

一般ニ $y^{(n-1)} = f^{(n-1)}(x)$ ノ導來函数ヲ第 n 次ノ導來函数トイヒ、

$$y^{(n)} = \frac{d^n y}{dx^n} = f^{(n)}(x)$$

ト記スモノトス。

尙函数ノ和、積等ノ高次導來函数ヲ索ムルニハ第18節ニ於テ示シタルコトヲ反復スルニ過ギズ、例ヘバ

$$y = f(x) + \phi(x)$$

$$y' = f'(x) + \phi'(x)$$

從テ $y'' = f''(x) + \phi''(x)$

又 $y = f(x)\phi(x)$

$$y' = f'(x)\phi(x) + f(x)\phi'(x)$$

$$y'' = f''(x)\phi(x) + 2f'(x)\phi'(x) + f(x)\phi''(x)$$

尚次 = 高次導來函數 = 關スル例ヲ舉グベシ

(1) $y = x^n$

前節 = ヲリ

$$y' = nx^{n-1}$$

從テ

$$y'' = n(n-1)x^{n-2}$$

$$y''' = n(n-1)(n-2)x^{n-3}$$

.....

$$y^{(k)} = n(n-1)(n-2)\dots(n-k+1)x^{n-k}$$

.....

nガ正ノ整数ナルトキハ

$$y^{(n)} = n(n-1)(n-2)\dots 2 \cdot 1$$

$$y^{(n+1)} = 0, y^{(n+2)} = 0, \dots, y^{(n+r)} = 0, \dots$$

(ii) $y = \sin x$

第17節 = ヲリ

$$y' = \cos x = \sin\left(x + \frac{\pi}{2}\right)$$

$$y'' = \cos\left(x + \frac{\pi}{2}\right) = \sin\left(x + 2 \cdot \frac{\pi}{2}\right)$$

依テ $y^{(k-1)} = \sin\left(x + k-1 \cdot \frac{\pi}{2}\right)$ ト假定スルトキハ

$$y'' = \cos\left(x + 2 \cdot \frac{\pi}{2}\right) = \sin\left(x + 3 \cdot \frac{\pi}{2}\right)$$

故ニ

$$y^{(n)} = \sin\left(x + n \cdot \frac{\pi}{2}\right)$$

注意 $y' = \cos x$ ヲリ直接微分スルコトニヨリテ $y'' = -\sin x$ ヲ得、
更ニ之ヲ微分スルトキハ複雑ナル形ヲ取ルガ故ニ上ノ如クスルヲ簡
單ナリトス。

(iii) $(1+x)^m$ ノ展開、此ニ m ハ正ノ整数トス。

$(1+x)^m$ ハ x^m ヲリモ高次ノ項ヲ含マザルコト明カナリ、依テ之ヲ

次ノ如ク置ク

$$(1+x)^m = A_0 + A_1x + A_2x^2 + \dots + A_kx^k + \dots + A_{m-1}x^{m-1} + A_mx^m$$

此ニ $A_0, A_1, A_2, \dots, A_k, \dots, A_{m-1}, A_m$ ハ未定ノ常數トス。

此ノ式ノ左右兩邊ヲ微分スレバ

$$m(1+x)^{m-1} = A_1 + 2A_2x + \dots + kA_kx^{k-1} + \dots$$

$$+ (m-1)A_{m-1}x^{m-2} + mA_mx^{m-1}$$

$$m(m-1)(1+x)^{m-2} = 2A_2 + \dots + k(k-1)A_kx^{k-2} + \dots$$

$$+ (m-1)(m-2)A_{m-1}x^{m-3} + m(m-1)A_mx^{m-2}$$

$$m(m-1)(m-2)\dots 2(1+x) = (m-1)(m-2)\dots 2 \cdot 1 \cdot A_{m-1}$$

$$+ m(m-1)(m-2)\dots 2A_mx$$

$$m(m-1)(m-2)\dots 2 \cdot 1 = m(m-1)(m-2)\dots 2 \cdot 1 A_m$$

此ノ各式ニ於テ $x=0$ ト置クトキハ

$$A_0 = 1, A_1 = m, A_2 = \frac{m(m-1)}{2}$$

$$A_k = \frac{m(m-1)\dots(m-k+1)}{k}$$

$$A_{m-1} = m, A_m = 1$$

$$\text{故ニ } (1+x)^m = 1 + mx + \frac{m(m-1)}{2}x^2 + \dots$$

$$+ \frac{m(m-1)\dots(m-k+1)}{k}x^k + \dots + mx^{m-1} + x^m$$

此ノ展開式ヲ二項定理トイフ。

注意 二項定理 = 於テ $x = \frac{1}{m}$ ト置クトキハ

$$\begin{aligned} \left(1 + \frac{1}{m}\right)^n &= 1 + m \binom{n}{1} \left(\frac{1}{m}\right) + \frac{m(m-1)}{2} \binom{n}{2} \left(\frac{1}{m}\right)^2 + \dots \\ &+ \frac{m(m-1)\dots(m-k+1)}{k} \binom{n}{k} \left(\frac{1}{m}\right)^k + \dots + \left(\frac{1}{m}\right)^n \\ &= 1 + \frac{1}{1} + \frac{1}{2} \left(1 - \frac{1}{m}\right) + \frac{1}{3} \left(1 - \frac{1}{m}\right) \left(1 - \frac{2}{m}\right) + \dots \\ &+ \frac{1}{k} \left(1 - \frac{1}{m}\right) \left(1 - \frac{2}{m}\right) \dots \left(1 - \frac{k-1}{m}\right) + \dots \\ &+ \frac{1}{m} \left(1 - \frac{1}{m}\right) \left(1 - \frac{2}{m}\right) \dots \left(1 - \frac{m-1}{m}\right) \end{aligned}$$

故 = $\left(1 + \frac{1}{m}\right)^n < a_n$

此 = $a_n = 1 + \frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \dots + \frac{1}{m}$

又 $\left(1 - \frac{1}{m}\right) \left(1 - \frac{2}{m}\right) \dots \left(1 - \frac{k-1}{m}\right) > 1 - \frac{(k-1)k}{2m}$

故 = $\left(1 + \frac{1}{m}\right)^n > 1 + \frac{1}{1} + \frac{1}{2} \left(1 - \frac{1 \cdot 2}{2m}\right) + \dots$
 $+ \frac{1}{m} \left(1 - \frac{m-1 \cdot m}{2m}\right)$

即チ $\left(1 + \frac{1}{m}\right)^n > a_n - \frac{1}{2m} a_{n-2} > \left(1 - \frac{1}{2m}\right) a_n$

故 = $a_n > \left(1 + \frac{1}{m}\right)^n > a_n \left(1 - \frac{1}{2m}\right)$

從テ $0 < a_n - \left(1 + \frac{1}{m}\right)^n < \frac{1}{2m} a_n$

第15節 = 同シ

$\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = e$

故 = $\lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{m}\right)^n = e$

次 = x ガ二ツノ正ノ整数 n 及ビ $n+1$ ノ間 = アリトスレバ

$n < x < n+1$

從テ $1 + \frac{1}{n} > 1 + \frac{1}{x} > 1 + \frac{1}{n+1}$

$\left(1 + \frac{1}{n}\right)^{n+1} > \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x > \left(1 + \frac{1}{n+1}\right)^n$

即チ $\left(1 + \frac{1}{n}\right)^n \left(1 + \frac{1}{n}\right) > \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x > \left(1 + \frac{1}{n+1}\right)^{n+1} \left(1 + \frac{1}{n+1}\right)^{-1}$

然ルニ $\lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{n}\right)^n = e, \lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{n+1}\right)^{n+1} = e$

$\lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{n}\right) = 1, \lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{n+1}\right)^{-1} = 1$

故 = $\lim_{x \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x = e$

終ニ x ヲ負數トシ, $x = -z$ ト置クトキハ

$\left(1 + \frac{1}{x}\right)^x = \left(1 - \frac{1}{z}\right)^{-z} = \left(1 + \frac{1}{z-1}\right)$

$= \left(1 + \frac{1}{z-1}\right)^{z-1} \left(1 + \frac{1}{z-1}\right) \quad z > 0$

然ルニ $\lim_{z \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{z-1}\right)^{z-1} = e, \lim_{z \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{z-1}\right) = 1$

從テ $\lim_{z \rightarrow -\infty} \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x = e$

故ニ恒ニ次ノ式ヲ得

$\lim_{x \rightarrow \pm \infty} \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x = e$

此ノ極限值ヲ得ルトキハ容易ニ次ノ函數ノ導來函數ヲ索ムルコトヲ得

$y=e^x$ ト置クトキハ y ハ x ノ函數ナレドモ又逆ニシテ y ノ函數ト考ヘ得ルヲ以テ此ノ關係ヲ $x=\log_e y$ ニテ表ハスコトトスレバ $\log_e e=1$

$$\frac{dy}{dx} = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{e^{x+h} - e^x}{h} = e^x \lim_{h \rightarrow 0} \frac{e^h - 1}{h}$$

$e^h - 1 = \frac{1}{z}$ ト置クトキハ $e^h = 1 + \frac{1}{z}$, 從テ $h = \log_e \left(1 + \frac{1}{z}\right)$

依テ
$$\frac{dy}{dx} = e^x \lim_{z \rightarrow \infty} \frac{1}{\log_e \left(1 + \frac{1}{z}\right)^z}$$

然ルニ
$$\lim_{z \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{z}\right)^z = e, \log_e e = 1$$

故ニ
$$\frac{dy}{dx} = e^x$$

從テ $y=e^x, \frac{dy}{dx}=y \Rightarrow x=\log_e y, \frac{dx}{dy} = \frac{1}{y}$ ヲ得 此ノ最後ノ

二式ニ於テ x ト y トヲ交換スルトキハ

$$y=\log_e x, \frac{dy}{dx} = \frac{1}{x}$$

尚以下 $\log_e x$ ハ單ニ $\log x$ ト書クコトヲ定ム

第六章 導來函數ノ應用

21. 函數ノ値ノ變化, 極大及ビ極小

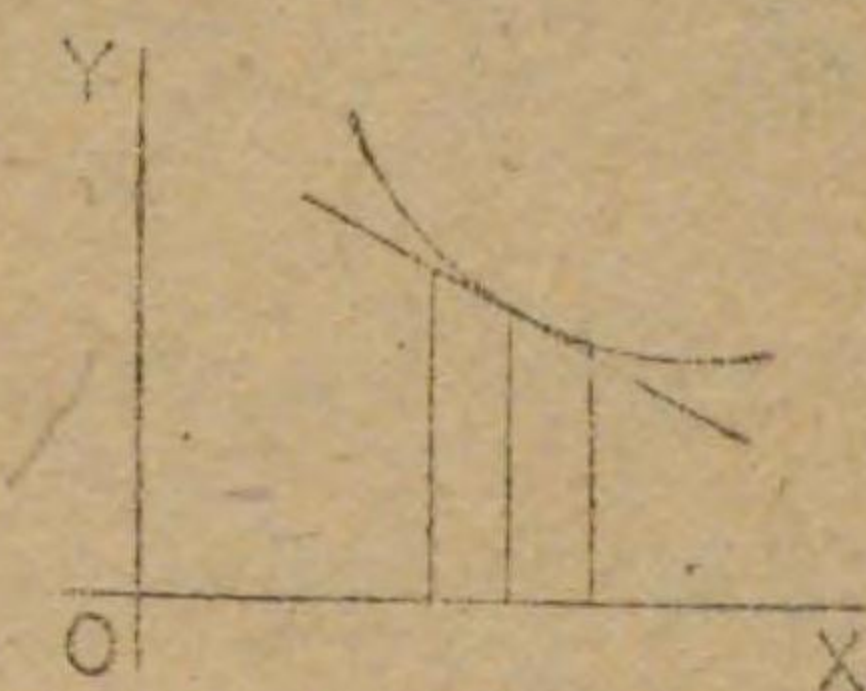
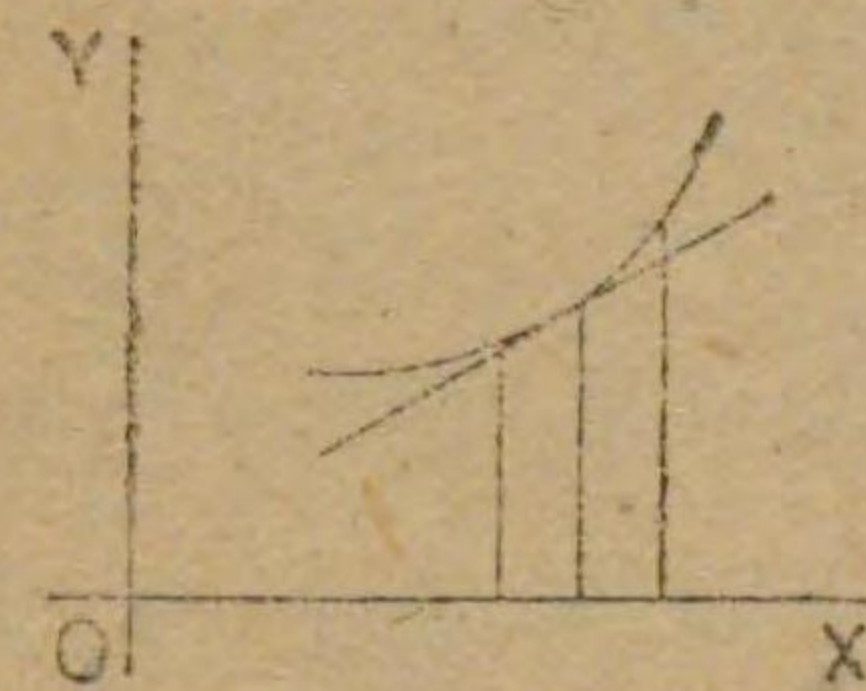
$x=a$ ニ於テ $f(x)$ ノ導來函數ノ値ガ正ナルトキ即チ $f'(a) > 0$ ナルトキ, h ヲ極メテ小ナル正數トスレバ

$$f(a-h) < f(a) < f(a+h)$$

又 $f'(a) < 0$ ナルトキハ

$$f(a-h) > f(a) > f(a+h)$$

初ノ場合ニハ $f(x)$ ハ $x=a$ ニ於テ増加ノ状態ニアリトイヒ, 後ノ場合ニハ減少ノ状態ニアリトイフ.



$f(x)$ ガ連續函數ニシテ $x=a$ ニ於テ正ヨリ負ニ移リ, 又ハ負ヨリ正ニ移ル場合ニハ $f'(a)=0$ ナラザルベカラズ.

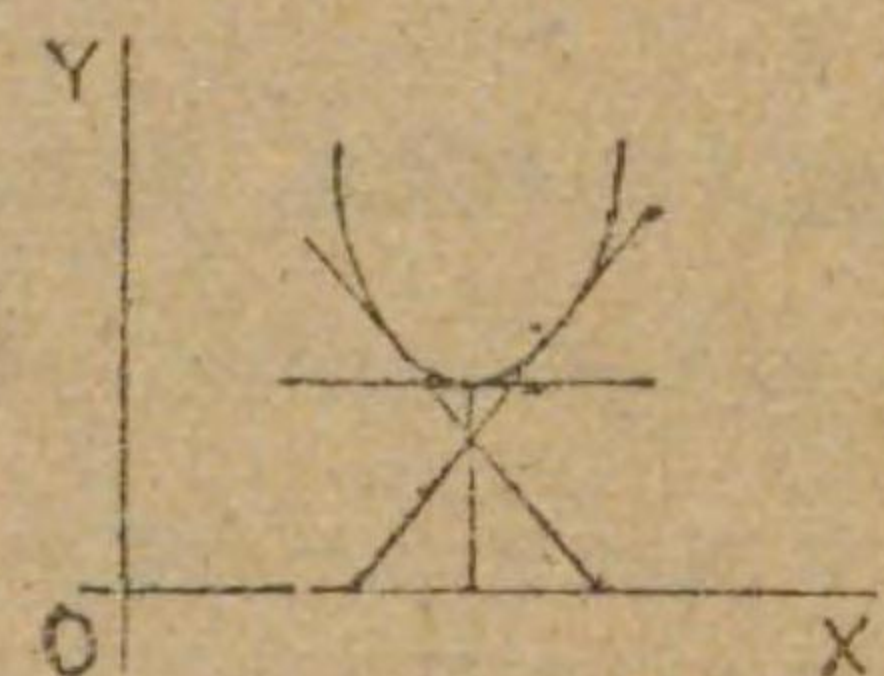
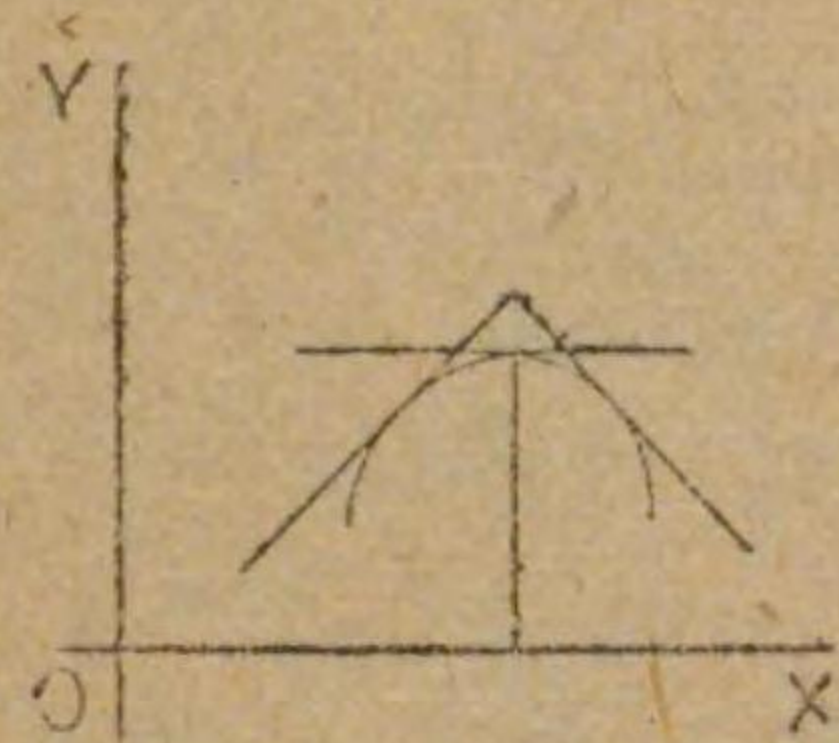
$x=a$ ニ於テ $f'(a)$ ノ値ガ正ヨリ零ヲ經テ負ニ移ルトキ, h ヲ極メテ小ナル正數トスレバ

$$f(a-h) < f(a), f(a+h) < f(a)$$

又 $f'(a)$ ノ値ガ負ヨリ零ヲ經テ正ニ移ルトキハ

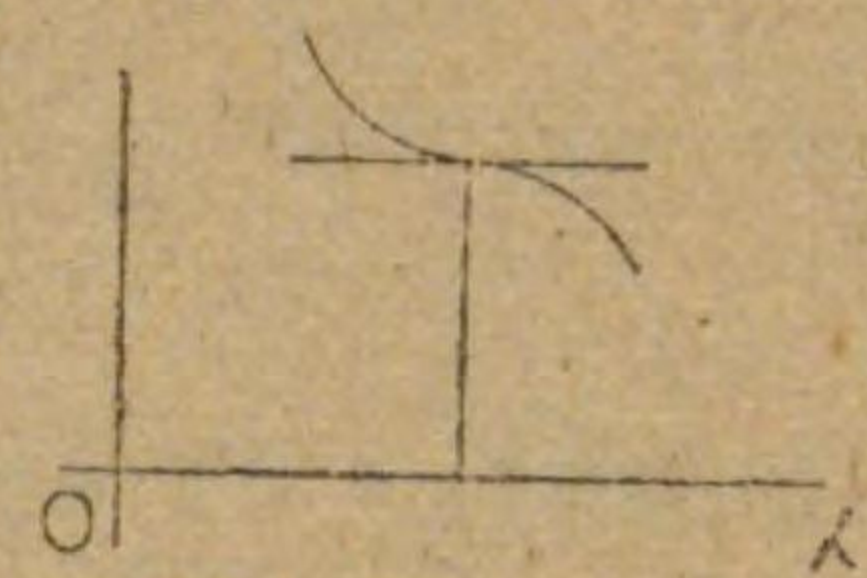
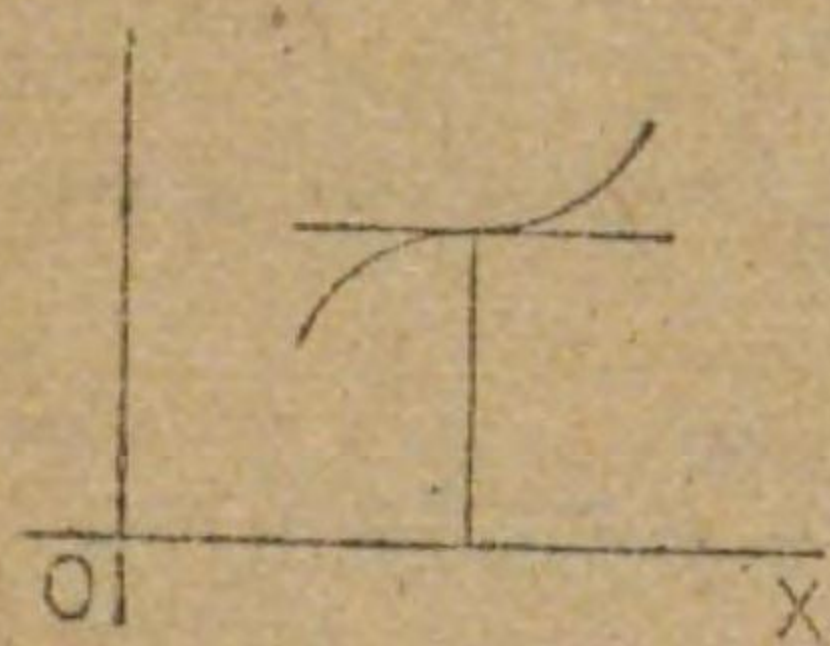
$$f(a-h) > f(a), f(a+h) > f(a)$$

初ノ場合ニハ $f(x)$ ハ $x=a$ ニ於テ極大ナリトイヒ、後ノ場合ニハ極小ナリトイフ。



$f(x)$ ノ極大極小ヲ索メントスルトキハ $f'(x)=0$ ト置キ此ノ方程式ノ一ツノ實根ヲ a トシ、極メテ小ナル正數 h = 對シテ $f'(a-h) > 0$ = シテ且 $f'(a+h) < 0$ ナルトキハ $f(x)$ ハ $x=a$ ニ於テ極大ナリ、又 $f'(a-h) < 0$ = シテ且 $f'(a+h) > 0$ ナルトキハ極小ナリ。

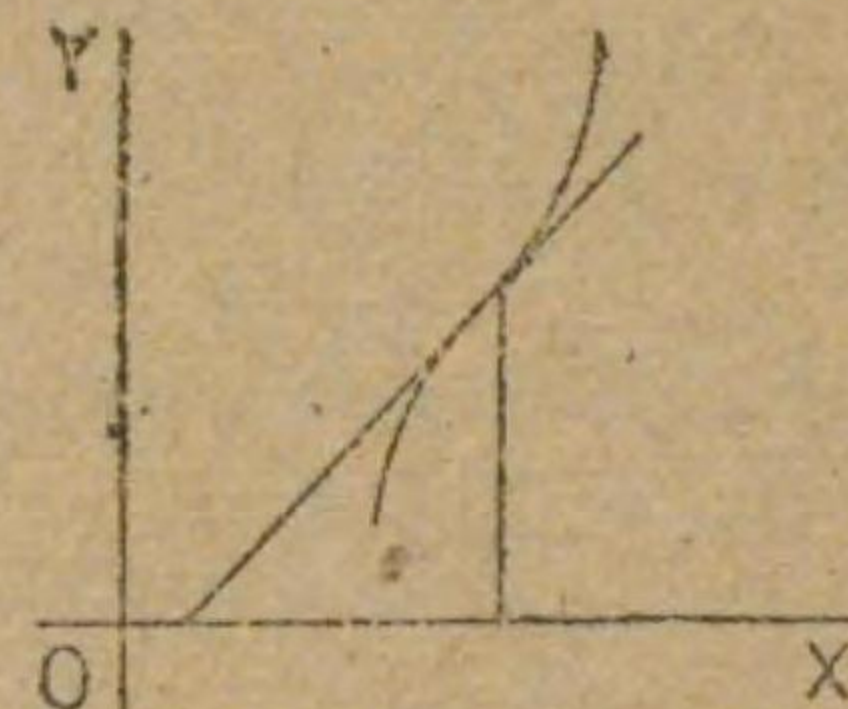
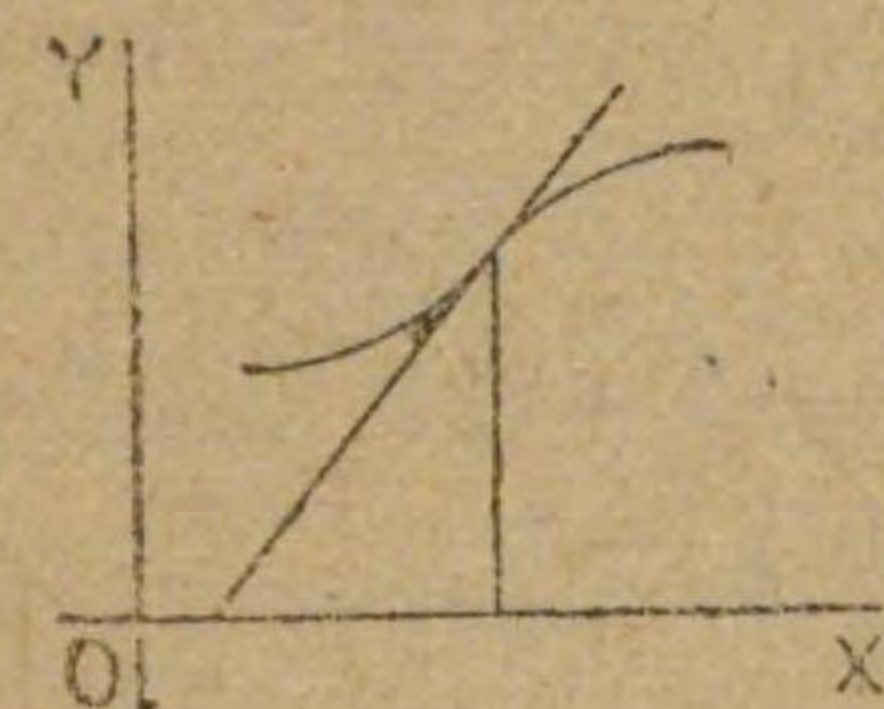
$f'(a-h)$ ト $f'(a+h)$ トガ同符號ナルトキハ $f(x)$ ハ $x=a$ ニ於テ極大ニモ極小ニモアラス。



尙 $x=a$ = 於テ $f''(x)$ ノ値ガ正ナルトキハ $f'(x)$ ハ増加ノ状態ニリ、之ニ反シテ負ナルトキハ $f'(x)$ ハ減少ノ状態ニアリ。

故ニ $f'(a)=0$ = シテ且 $f''(a) > 0$ ナルトキハ $f'(x)$ ノ値ハ $x=a$ = 於テ負ヨリ正ニ移リ、 $f''(a) < 0$ ナルトキハ負ヨリ正ニ移ル、從テ初ノ場合ニハ $f(x)$ ハ $x=a$ = 於テ極小ニシテ後ノ場合ニハ極大ナリ。

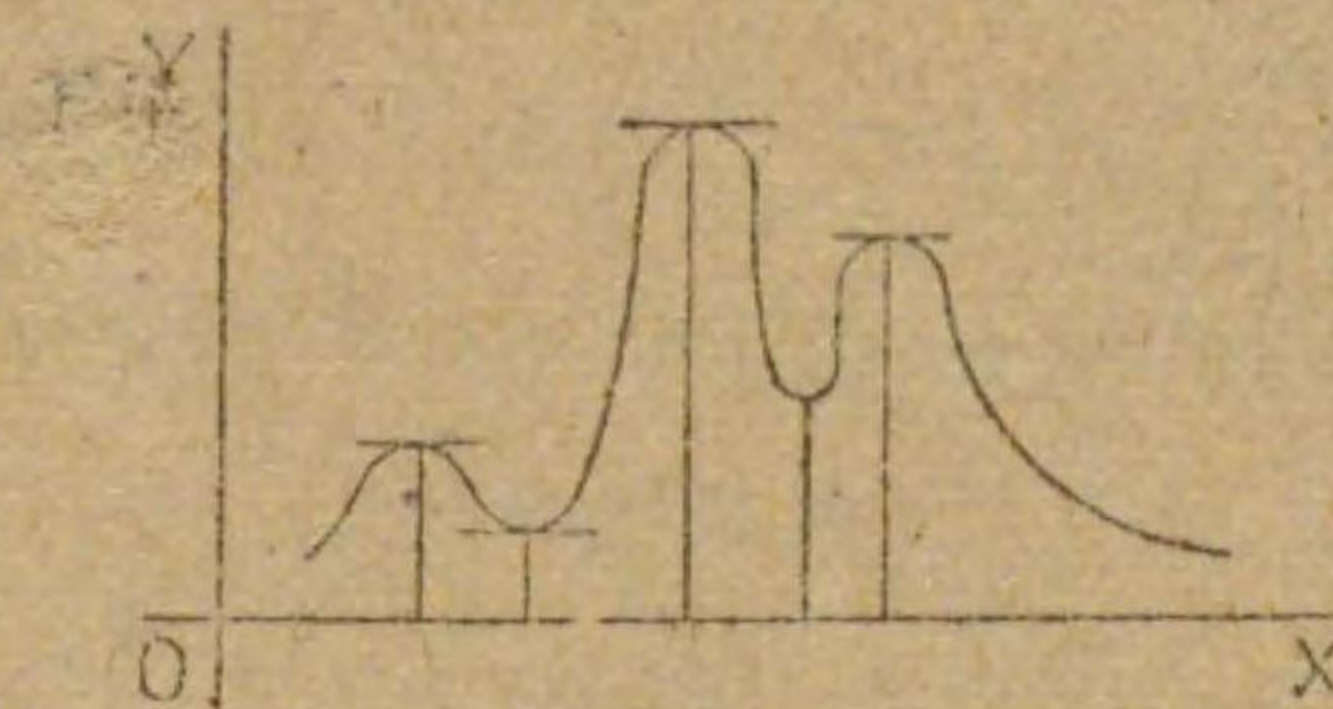
次ニ $f''(a)=0$ ナル場合ニハ $f'''(a)$ ヲ考ヘ、 $f'''(a) < 0$ ナルトキハ $f'(x)$ ハ $x=a$ = 於テ極大ニシテ、 $f'''(a) > 0$ ナルトキハ極小ナリ。



故ニ $f'(a)=0$ = シテ且 $f''(a)=0$ ナルトキハ $f'''(a) > 0$ = テモ又 $f'''(a) < 0$ = テモ $f'(a)$ ハ $f'(x)$ ノ極大又ハ極小値ナルヲ以テ $f'(x)$ ハ $x=a$ ヲ通過スルトキ其ノ符號ヲ變ズルコトナシ、從テ $f(a)$ ハ $f(x)$ ノ極大値ニモ極小値ニモアラス。

$f'''(a)=0$ 等ノ場合ニモ同様ニシテ極大極小ノ有無ヲ確ムルコトヲ得ベシ。

尙又極大及ビ極小値ハ絶對値ノ大小ニハ關係ナシ、故ニ同一ノ函數ニ於テ極大値ガ極小値ヨリモ小ナルコトアルベク又極大極小ノ數ニハ制限ナシ。



注意 $f''(x)=0$ ヲ満足スル點ニ於テ曲線ハ一般ニ其ノ曲ル方向ヲ變ズ、此ノ點ヲ彎曲點トイフ。

例 1 $f(x) = x(1-x)$

$$f'(x) = 1 - 2x$$

故 $f'(x) = 0$ より $x = \frac{1}{2}$ を得、 $x < \frac{1}{2}$ ナルトキハ $f'(x) > 0$ 、又 $x > \frac{1}{2}$

ナルトキハ $f'(x) < 0$

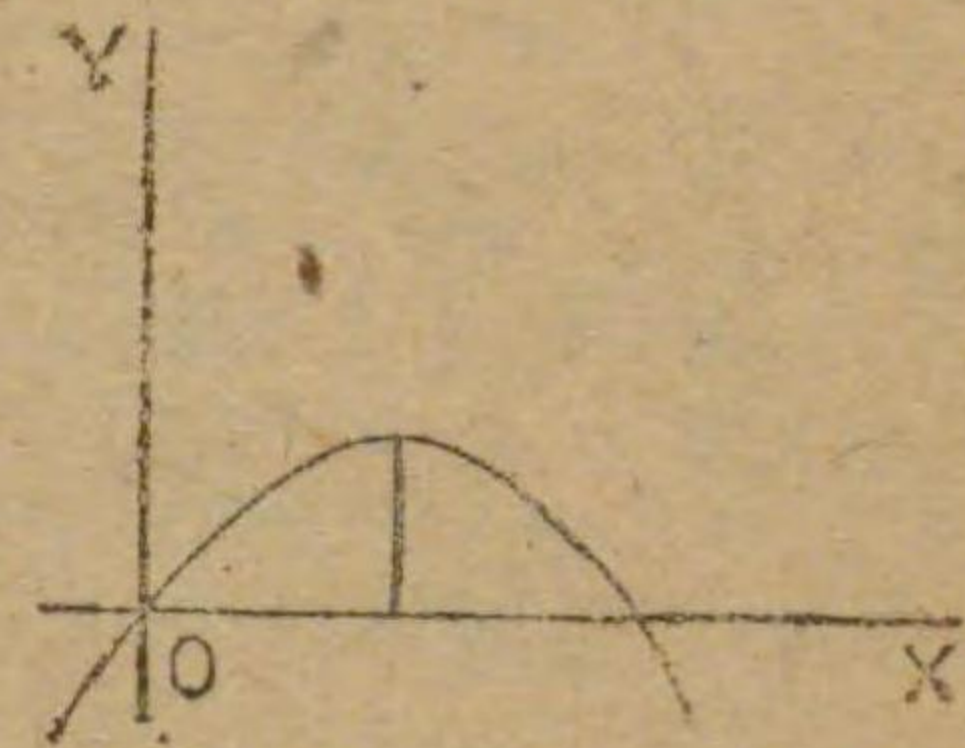
依テ x ガ $-\infty$ ヨリ $\frac{1}{2}$ = 至ル間 = 於テ $f(x)$ ハ 常ニ 増加ノ状態ニアリ、

$x = \frac{1}{2}$ = 於テ 極大ニシテ $\frac{1}{4}$ トナリ、

x ガ $\frac{1}{2}$ ヨリ ∞ = 至ル間 = 於テハ 常

ニ 減少ノ状態ニアリ。

注意 $f''(x) = -2$ 、故ニ $x = \frac{1}{2}$ =



於テ $f'(x) = 0$ = シテ $f''(x) < 0$ 、依テ $f(x)$ ハ $x = \frac{1}{2}$ = 於テ 極大ナリ。

例 2. $f(x) = \sqrt{a^2 + x^2} + \sqrt{b^2 + (c-x)^2}$, $a > b > 0$, $c > 0$

$$f'(x) = \frac{x}{\sqrt{a^2 + x^2}} + \frac{-(c-x)}{\sqrt{b^2 + (c-x)^2}}$$

$$f''(x) = \frac{a^2}{(a^2 + x^2)^{3/2}} + \frac{b^2}{\{b^2 + (c-x)^2\}^{3/2}}$$

故ニ $f'(x) = 0$ ヨリ

$$x^2 \{b^2 + (c-x)^2\} = (a^2 + x^2)(c-x)^2$$

即チ

$$b^2 x^2 = a^2 (c-x)^2$$

$$\pm bx = a(c-x)$$

故ニ

$$x = \frac{ac}{a+b}, \text{ 又 } x = \frac{ac}{a-b}$$

$$(i) \quad x = \frac{ac}{a+b} \text{ ナルトキハ } c-x = \frac{bc}{a+b}$$

$$\text{從テ } f'\left(\frac{ac}{a+b}\right) = \frac{\frac{ac}{a+b}}{\sqrt{a^2 + \left(\frac{ac}{a+b}\right)^2}} - \frac{\frac{bc}{a+b}}{\sqrt{b^2 + \left(\frac{bc}{a+b}\right)^2}} = 0$$

$$f''\left(\frac{ac}{a+b}\right) > 0$$

故ニ $f(x)$ ハ $x = \frac{ac}{a+b}$ = 於テ 極小ニシテ 其ノ値ハ

$$f\left(\frac{ac}{a+b}\right) = \sqrt{a^2 + \left(\frac{ac}{a+b}\right)^2} + \sqrt{b^2 + \left(\frac{bc}{a+b}\right)^2} = \sqrt{(a+b)^2 + c^2}$$

$$(ii) \quad x = \frac{ac}{a-b} \text{ ナルトキハ } c-x = \frac{-bc}{a-b}$$

$$\text{從テ } f'\left(\frac{ac}{a-b}\right) = \frac{\frac{ac}{a-b}}{\sqrt{a^2 + \left(\frac{ac}{a-b}\right)^2}} + \frac{\frac{bc}{a-b}}{\sqrt{b^2 + \left(\frac{bc}{a-b}\right)^2}} > 0$$

故ニ $f'(x)$ ハ $x = \frac{ac}{a-b}$ = 於テ 0 トナラズ、從テ $f(x)$ ハ 極大ニモ 極小ニモ アラズ。

定直線ノ一方ニアル二定點 A, B ヨリ此ノ直線ニ垂線 AM, BN ヲ

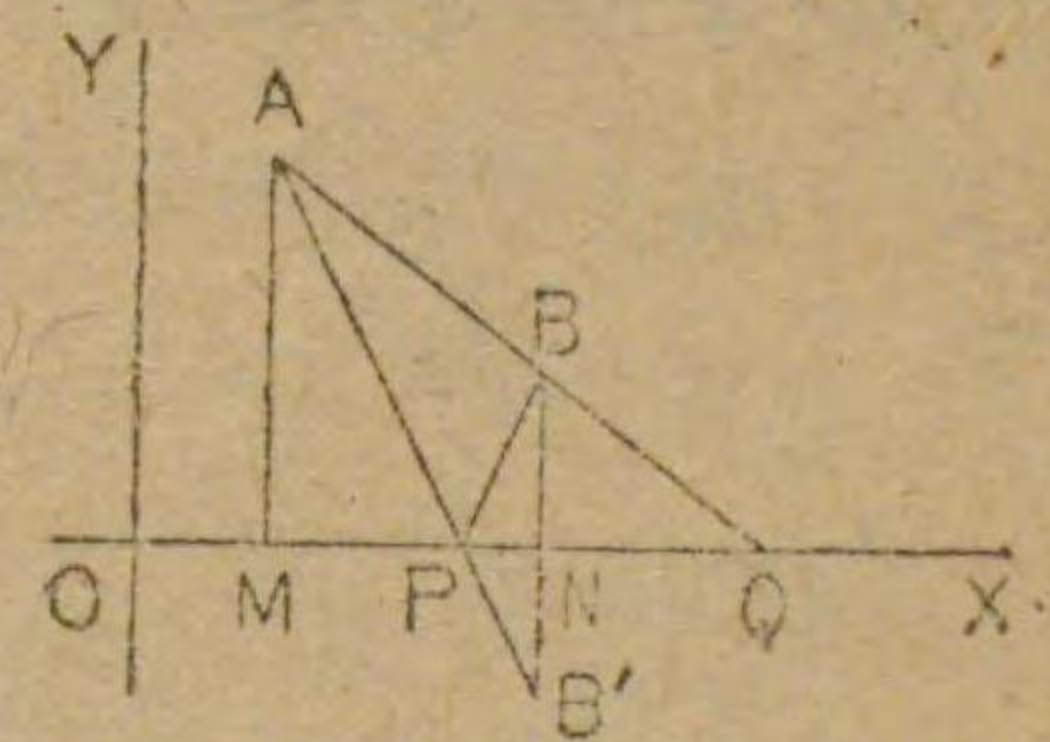
引キ、直線上ニ一點 P ヲ取リ

AM = a, BN = b, MN = c, MP = x

トスレバ $f(x)$ ハ AP + BP ヲ表ハ

ス、從テ B ノ對稱點ヲ B' トシ、

AB' ト直線トノ交點ヲ P トスレバ



P ハ即チ $x = \frac{ac}{a+b}$ = 相當ス、又 AB' ト直線トノ交點 Q ハ $x = \frac{ac}{a-b}$

= 相當ス、之ハ AP = BP ノ極大ヲ定ムルモノニシテ、 $f'(x) = 0$ ノ根

ヲ索ムルニ當リ二乗シタル爲メニ生ジタルモノトス。

22. 曲線ノ追跡

方程式 $y=f(x)$ ノ表ハス曲線ヲ追跡シテ其ノ形ヲ窺カントスルニ當リ注意スベキ重ナル點大略次ノ如シ。

I. 座標軸, 原點又ハ他ノ定直線, 定點ニ關シテ對稱ノ有無ヲ吟味ス

x ノ代リニ $-x$ ト書キテ方程式變ゼザルトキハ曲線ハ縱軸ニ關シテ對稱ナリ。

y ノ代リニ $-y$ ト書キテ方程式變ゼザルトキハ曲線ハ横軸ニ關シテ對稱ナリ。

x, y ノ代リニ $-x, -y$ ト書キテ方程式變ゼザルトキハ曲線ハ原點ニ關シテ對稱ナリ。

II. 曲線ト座標軸又ハ他ノ特別ナル直線又ハ曲線トノ交點ヲ索ム

$x=0, y=0$ ガ方程式ヲ満足スルトキハ原點 $(0, 0)$ ハ曲線上ニアリ, $y=0$ ト置キテ x ノ實値 a ヲ得ルトキハ點 $(a, 0)$ ハ曲線上ニアリ, 又 $x=0$ ト置キテ y ノ實値 b ヲ得ルトキハ點 $(0, b)$ ハ曲線上ニアリ。

III. 曲線ノ存在スル區域ヲ定ム

平面ヲ一定ノ直線又ハ曲線ニヨリテ適宜ニ分割シ, 其ノ各區域内ニ於テ方程式ヲ満足スル x, y ノ實値アルトキハ曲線存在シ, 然ラザルトキハ存在セズ。

IV. y' ヲ索メ其ノ正負ヲ吟味ス

$y' > 0$ ナルトキハ y ハ x ト共ニ増大ス

$y' < 0$ ナルトキハ y ハ x ノ増大スルニ從テ減少ス

$y' = 0$ ナルトキハ一般ニ y ハ極大又ハ極小ナリ

V. y'' ヲ索メ其ノ正負ヲ吟味ス

$y'' > 0$ ナルトキハ y' ハ x ト共ニ増大ス

$y'' < 0$ ナルトキハ y' ハ x ノ増大スルニ從テ減少ス

$y'' = 0$ ナルトキハ一般ニ彎曲點存在ス

VI. 原點ヨリ無限ノ距離ニ於ケル曲線ノ形ヲ研究ス

次ニ曲線ノ追跡ニ關シテ一ニノ例ヲ掲グ

(i) $y = \frac{x}{1+x^2}$

I. x, y ノ代リニ $-x, -y$ ト書キテ方程式變ゼザルガ故ニ曲線ハ原點ニ關シテ對稱ナリ。

II. $x=0, y=0$ ハ方程式ヲ満足ス, 故ニ原點ハ曲線上ニアリ。

III. $(1+x^2)y=x$ ニ於テ x ト y トハ必ズ同一ノ符號ヲ有セザルベカラズ, 即チ $x > 0$ ナラバ $y > 0$, 又 $x < 0$ ナラバ $y < 0$, 故ニ $x < 0, y > 0$ 及ビ $x > 0, y < 0$ ノ區域ニハ曲線存在セズ。

$x(xy-1)+y=0$ ト書クトキハ $x > 0, y > 0$ トシテ $xy-1 > 0$ ニテハ方程式成立セズ, 故ニ雙曲線 $xy=1$ ノ上方ニハ曲線存在セズ。

同様ニ $x < 0, y < 0$ ニテハ $xy=1$ ノ下方ニハ曲線存在セズ。

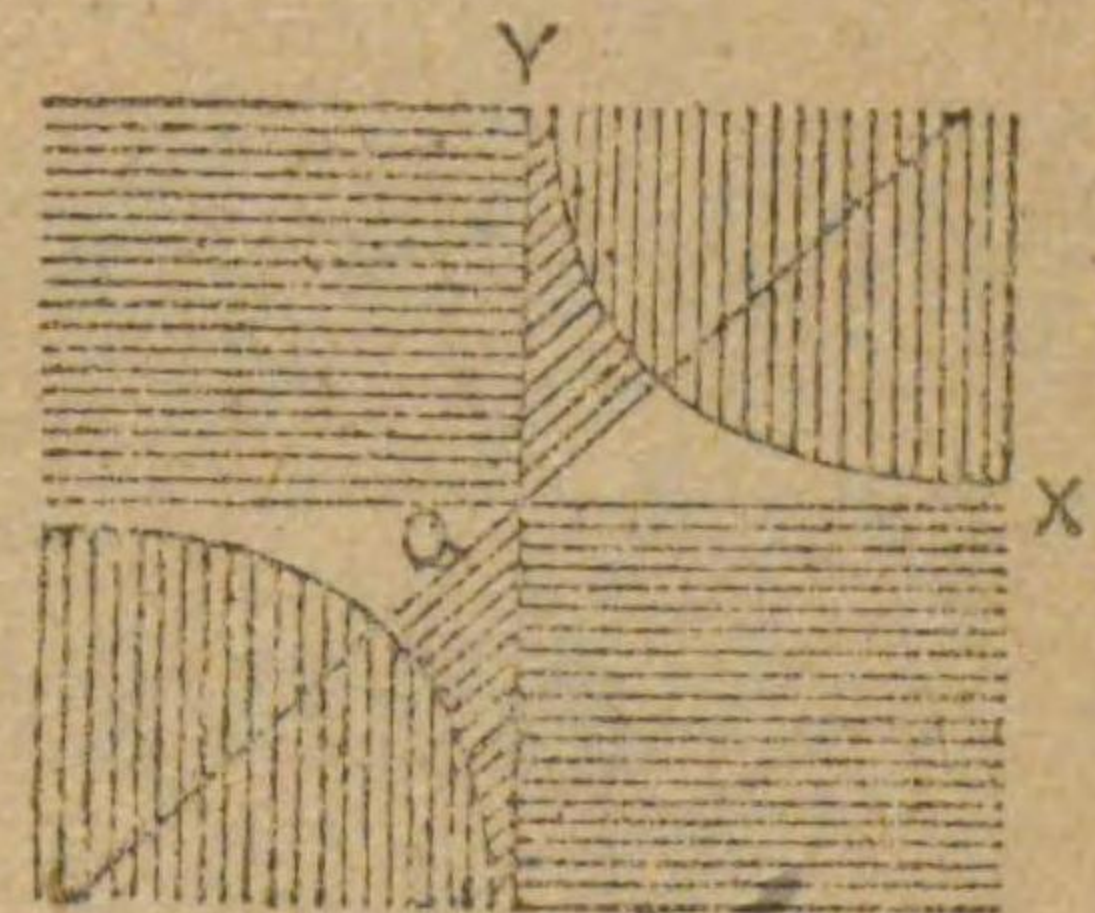
$x^2y+(y-x)=0$ ト書クトキハ $y > 0, y-x > 0$ ニテハ方程式成立セズ, 故ニ $y > 0$ ニテハ直線 $y=x$

ノ上方ニハ曲線存在セズ。

同様ニ $y < 0$ ニテハ直線 $y=x$

ノ下方ニハ曲線存在セズ。

右圖ニ於テ影ヲ附シタルハ曲線ノ存在セザル區域ナリ。



$$IV \quad y' = \frac{1}{1+x^2} - \frac{2x^2}{(1+x^2)^2} = \frac{1-x^2}{(1+x^2)^2}$$

故 $x = \pm 1$ = 於テ $y' = 0$, 又 $|x| < 1$ ナルトキハ $y' > 0$, $|x| > 1$ ナルトキハ $y' < 0$, $x = 0$ = 於テハ $y = 1$

依テ $x < -1$ ナルトキハ y ハ負ニシテ x ノ増大スルニ從ヒ益減少シ $x = -1$ = 於テ極小トナリ其ノ値ハ $-\frac{1}{2}$ ナリ, $-1 < x < 1$ ナルトキハ y ハ x ト共ニ増大シ, $x = 1$ = 於テ極大トナリ其ノ値ハ $\frac{1}{2}$, 又 $x > 1$ ナルトキハ y ハ x ノ増大スルニ從テ減少ス.

原點 = 於テハ切線ハ直線 $y = x$ ノ方向ヲ取ル.

$$V. \quad y' = \frac{-2x}{(1+x^2)^2} + \frac{-4x(1-x^2)}{(1+x^2)^3} = \frac{2x(x^2-3)}{(1+x^2)^3}$$

故 $x = 0$ 及ビ $x = \pm\sqrt{3}$ = 於テ $y' = 0$, 又 x ト $x^2 - 3$ トガ同符號ナルトキハ $y' > 0$ ニシテ異符號ナルトキハ $y' < 0$

依テ $x < -\sqrt{3}$ ナルトキハ $y' < 0$, $-\sqrt{3} < x < 0$ ナルトキハ $y' > 0$.

又 $0 < x < \sqrt{3}$ ナルトキハ $y' < 0$, $x > \sqrt{3}$ ナルトキハ $y' > 0$

從テ $(0, 0)$, $(\sqrt{3}, 0)$, $(-\sqrt{3}, 0)$ ハ何レモ彎曲點ナリ.

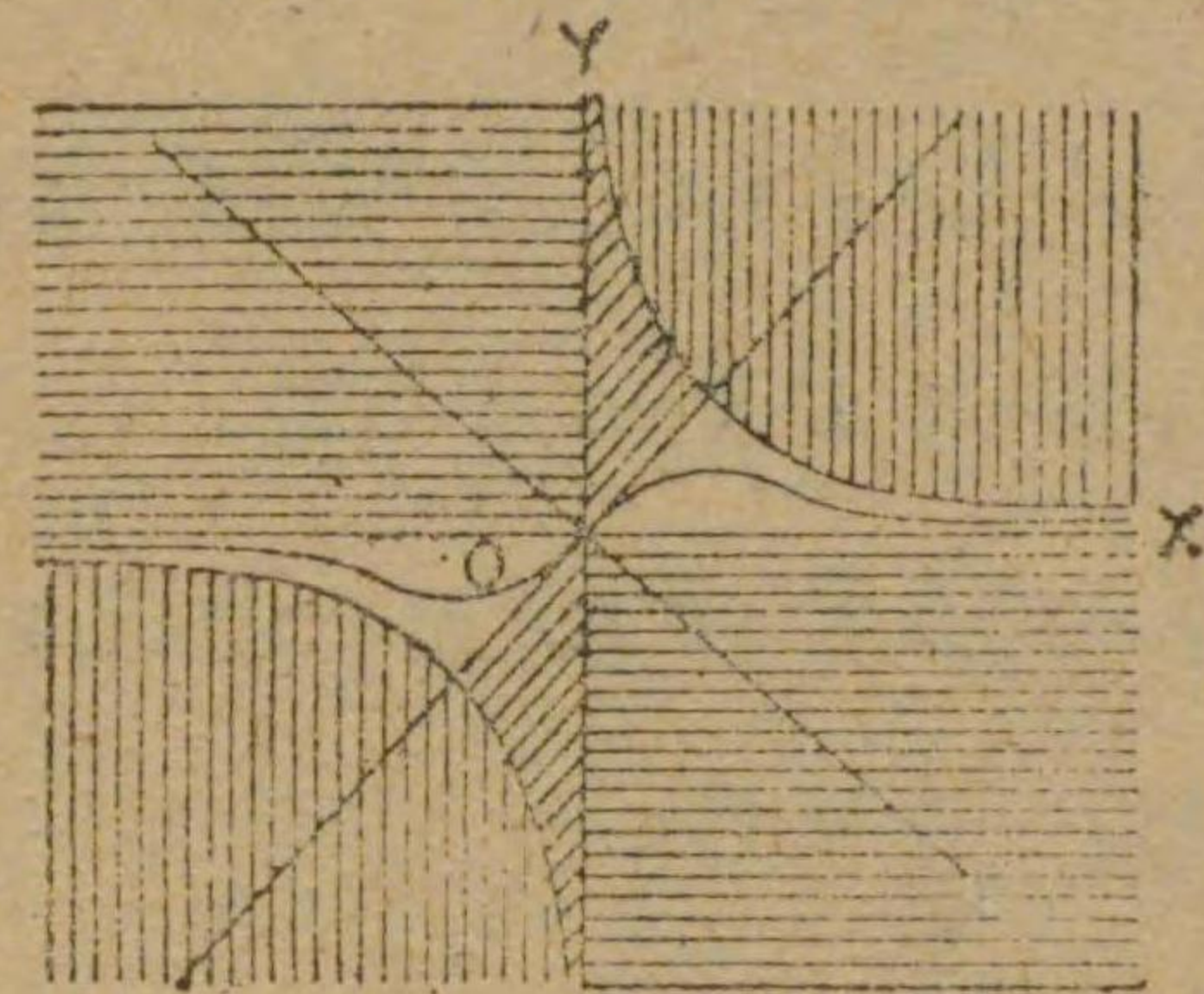
$$VI. \quad y = \frac{1}{\frac{1}{x} + x}$$

故 x ノ絶對値が増大スルニ從ヒ y ノ絶對値ハ益減少シ終ニ $y = 0$ = 限リナリ近ヅク.

依テ $y = 0$ ハ漸近線ニシテ, $x > 0$ = 於テハ曲線ハ其ノ上方ニアリ.

又 $x < 0$ = 於テハ其ノ下方ニアリ.

以上ノ結果ニヨリ曲線ノ形ヲ得ルコト次ノ如シ.



$$(ii) \quad y = x^2(x^2 - 1)$$

I. x ノ代リニ $-x$ ト書キテ方程式變ビザルガ故ニ曲線ハ縦軸ニ關シテ對稱ナリ.

II. $x = 0, y = 0$ 及ビ $x = \pm 1, y = 0$ ハ方程式ヲ満足ス, 故ニ點 $(0, 0)$, $(1, 0)$, $(-1, 0)$ ハ曲線上ニアリ.

III. $y = x^2(x^2 - 1)$ = 於テ y ト $x^2 - 1$ トハ必ズ同一ノ符號ヲ有セザルベカラズ, 即チ $y > 0$ ナルトキハ $x^2 > 1$, 又 $y < 0$ ナルトキハ $x^2 < 1$ 故ニ $y > 0$, $-1 < x < 1$ ノ區域, $y < 0$, $x > 1$ ノ區域及ビ $y < 0$, $x < -1$ ノ區域ニハ曲線存在セズ.

$y = x^4 - x^2$ ト書クトキハ $y < x^4$, 故ニ曲線 $y = x^4$ ノ上方ニハ曲線存在セズ.

$$y = \left(x - \frac{1}{2}\right)^2 - \frac{1}{4} \text{ ト書クトキハ } y \geq -\frac{1}{4}, \text{ 故ニ直線 } y = -\frac{1}{4} \text{ ノ下}$$

方ニハ曲線存在セズ.

IV. $y' = 2x(x^2 - 1) + 2x^3 = 2x(2x^2 - 1)$

故 = $x = 0$ 及 $x = \pm \frac{1}{\sqrt{2}}$ = 於テ $y' = 0$, 又 $x < -\frac{1}{\sqrt{2}}$ ナルトキハ

$y' < 0$, $-\frac{1}{\sqrt{2}} < x < 0$ ナルトキハ $y' > 0$, $0 < x < \frac{1}{\sqrt{2}}$ ナルトキハ

$y' < 0$, 又 $x > \frac{1}{\sqrt{2}}$ ナルトキハ $y' > 0$

依テ $x = 0$ ノトキ y ハ極大ニシテ其ノ値ハ 0 , 又 $x = \pm \frac{1}{\sqrt{3}}$ ノトキ
ハ極小ニシテ其ノ値ハ $-\frac{2}{9}$ ナリ.

V. $y'' = 12x^2 - 2$

故 = $x = \pm \frac{1}{\sqrt{6}}$ = 於テ $y'' = 0$, 又 $|x| < \frac{1}{\sqrt{6}}$ ナルトキハ $y'' < 0$

= シテ, $|x| > \frac{1}{\sqrt{6}}$ ナルトキハ $y'' > 0$

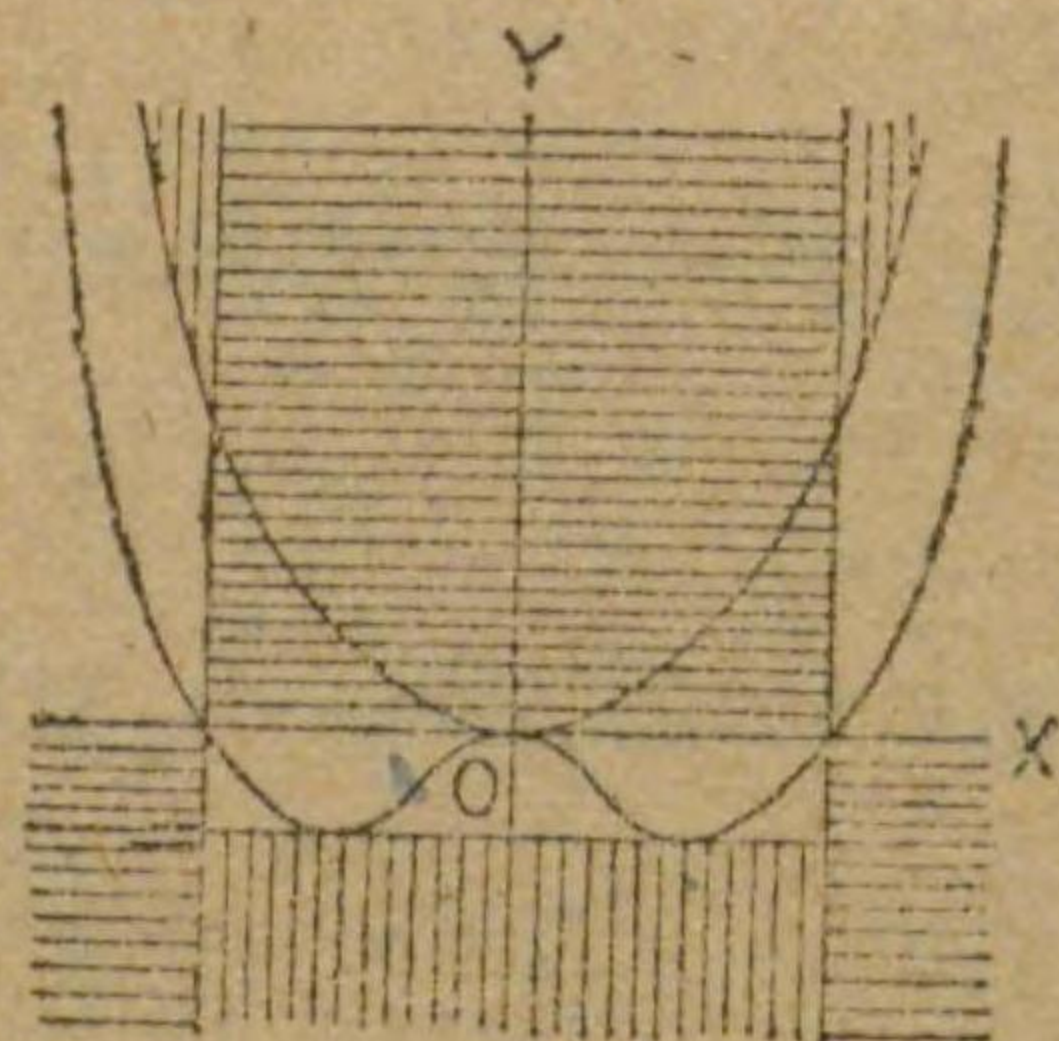
$x = \pm \frac{1}{\sqrt{6}}$ = 於テ $y = \frac{1}{6} \left(\frac{1}{6} - 1 \right) = -\frac{5}{36}$

依テ點 $\left(\frac{1}{\sqrt{6}}, -\frac{5}{36} \right)$, $\left(-\frac{1}{\sqrt{6}}, -\frac{5}{36} \right)$ ハ彎曲點ナリ.

VI. $y^2 = x^4 - x^2$

$|x|$ ガ増大スルトキ x^2 ハ x^4 = 比シテ微小ナリ, 從テ曲線ノ形ハ無限大ニ於テハ益曲線 $y = x^2$ = 近ヅク.

上記ノ結果ニヨリ曲線ノ形ヲ得ルコト次ノ如シ.



23. 函數ノ展開

p ガ正ノ整數ナルトキ次ノ式ヲ得

$$\frac{1}{1-x} = 1 + x + x^2 + \dots + x^{p-1} + \frac{x^p}{1-x}$$

$|x| < 1$ ナルトキハ p ガ無限大トナル極限ニ於テ $\frac{x^p}{1-x} \rightarrow 0$ = 收斂ス

依テ $\lim_{p \rightarrow \infty} \left\{ \frac{1}{1-x} - (1 + x + x^2 + \dots + x^{p-1}) \right\} = 0$

即チ $\frac{1}{1-x} = 1 + x + x^2 + \dots + x^k + \dots$

故 = $(1-x)^{-1}$ ハ $-1 < x < 1$ ナルトキ無限級數トシテ之ヲ表ハスコトヲ得

同様 = $-1 < x < 1$ ナルトキ

$$(1+x)^{-1} = 1 - x + x^2 - \dots + (-1)^k x^k + \dots$$

一般 = m ガ任意ノ常數ナルトキ

$$(1+x)^m = A_0 + A_1 x + A_2 x^2 + \dots + A_k x^k + \dots$$

ト置クトキハ第20節ニ於ケルト全ク同様ニ此ノ式ノ兩邊ヲ順次ニ微分シテ $x=0$ ト置クコトニヨリ次ノ値ヲ得

$$A_0 = 1, A_1 = m, A_2 = \frac{m(m-1)}{1 \cdot 2}$$

$$A_k = \frac{m(m-1) \dots (m-k+1)}{1 \cdot 2 \dots k}$$

故 = $(1+x)^m = 1 + \frac{m}{1} x + \frac{m(m-1)}{1 \cdot 2} x^2 + \dots + \frac{m(m-1) \dots (m-k+1)}{1 \cdot 2 \dots k} x^k + \dots$



此 = $m = -1$ ト置ケバ上ニ擧ゲタル $(1+x)^{-1}$ ノ展開式ヲ得ベク、
 又 m ヲ正ノ整数トスレバ $k = m + 1$ ノトキ $A_k \neq 0$ トナリ、 x^{m+1} 以上ノ項ノ係數ハ悉ク 0 ニシテ第20節ニ於ケル二項定理ヲ得ベシ。

更ニ一般ニ $f(x)$ 及ビ其ノ導來函數ハ何レモ連續ナリトシテ

$$f(x) = A_0 + A_1x + A_2x^2 + A_3x^3 + \dots + A_kx^k + \dots$$

ト置クトキハ

$$f'(x) = A_1 + 2A_2x + 3A_3x^2 + \dots + kA_kx^{k-1} + \dots$$

$$f''(x) = 2A_2 + 3 \cdot 2A_3x + \dots + k(k-1)A_kx^{k-2} + \dots$$

$$f^{(k)}(x) = k(k-1) \dots \cdot 2 \cdot 1 A_k + \dots$$

以上ノ各式ニ於テ $x=0$ ト置クトキハ

$$A_0 = f(0), \quad A_1 = \frac{f'(0)}{1}, \quad A_2 = \frac{f''(0)}{1 \cdot 2}, \quad \dots$$

$$A_k = \frac{f^{(k)}(0)}{1 \cdot 2 \dots k}$$

$$\text{故ニ} \quad f(x) = f(0) + \frac{f'(0)}{1}x + \frac{f''(0)}{1 \cdot 2}x^2 + \dots + \frac{f^{(k)}(0)}{1 \cdot k}x^k + \dots$$

此ノ特別ナル場合トシテ $f(x) = (1+x)^m$ ト置クトキハ

$$f(0) = 1, \quad f'(0) = m, \quad f''(0) = m(m-1), \quad \dots$$

$$f^{(k)}(0) = m(m-1) \dots (m-k+1), \quad \dots$$

$$\text{依テ} \quad (1+x)^m = 1 + \frac{m}{1}x + \frac{m(m-1)}{1 \cdot 2}x^2 + \dots$$

$$+ \frac{m(m-1) \dots (m-k+1)}{1 \cdot k}x^k + \dots$$

次ニ $f(x) = \sin x$ ト置クトキハ第20節ニヨリ

$$f'(x) = \sin\left(x + \frac{\pi}{2}\right), \quad f''(x) = \sin\left(x + 2\frac{\pi}{2}\right), \quad \dots$$

$$f^{(k)}(x) = \sin\left(x + k\frac{\pi}{2}\right), \quad \dots$$

故ニ $f(0) = 0, \quad f'(0) = 1, \quad f''(0) = 0, \quad \dots$

$$f^{(k)}(0) = \sin\left(k\frac{\pi}{2}\right)$$

k ガ偶數ナルトキハ $k = 2m$ ト置ケバ

$$f^{(2m)}(0) = \sin\left(2m\frac{\pi}{2}\right) = \sin m\pi = 0$$

k ガ奇數ナルトキハ $k = 2m + 1$ ト置ケバ

$$f^{(2m+1)}(0) = \sin\left(\frac{2m+1}{2}\pi\right) = (-1)^m$$

$$\text{依テ} \quad \sin x = \frac{x}{1} - \frac{x^3}{3} + \frac{x^5}{5} - \dots + (-1)^m \frac{x^{2m+1}}{2m+1} + \dots$$

同様ニ $f(x) = \cos x$ ト置クトキハ次ノ展開式ヲ得

$$\cos x = 1 - \frac{x^2}{2} + \frac{x^4}{4} - \dots + (-1)^m \frac{x^{2m}}{2m} + \dots$$

注意 上ニ得タル $f(x)$ ノ展開式ハ此ノ函數ヲ x ノ昇幂ヨリ成ル無限級數トシテ表ハシ得ルモノト假定シテ其ノ係數ヲ索メタルニ過ギズ、此ノ展開式ガ果シテ $f(x)$ ヲ表ハスヤ否ハ別ニ之ヲ研究スルヲ要ス

$(1+x)^m$ ニ於テハ $-1 < x < 1$ ナルトキハ $m = -1$ ナル場合ト同様ニ容易ニ其ノ正シキコトヲ證明スルヲ得。又 $\sin x, \cos x$ ニ於テハ x ノ有限ナル値ニ對シテ常ニ此ノ展開式ヲ用フルコトヲ得

24. 函数ノ近似値

前節ニ於テ得タル展開式ニヨリ函数ノ近似値ヲ案ムルコトヲ得、次ノ例ニヨリテ其ノ應用ヲ見ルベシ。

(i) (1+x)^m = 1 + m/x x + ... + m(m-1)...(m-k+1)/k x^k + ...

xガ微小ナルトキx^2以上ノ項ヲ省略スレバ

(1+x)^m = 1 + mx

トナリ、x^3以上ノ項ヲ省略スレバ

(1+x)^m = 1 + mx + m(m-1)/2 x^2

ヲ得、以下同様ニシテxノ値ニヨリテ適當ナル項數ヲ取リテ(1+x)^mノ近似値ヲ得ベシ、例ヘバ

sqrt(2) = sqrt(50/25) = sqrt(49/25 * 50/49) = 7/5 * (49/50)^(-1/2) = 7/5 * (1 - 1/50)^(-1/2)

上ノ展開式ニ於テ m = -1/2, x = -1/50 ト置ケバ

sqrt(2) = 7/5 { 1 + 1/2 * (1/50) + 1/2 * 3/2 * (1/50)^2 + 1/2 * 3/2 * 5/2 * (1/50)^3 + ... }

= 7/5 { 1 + (1/10) + 3/2 * (1/10)^2 + 3.5/2.3 * (1/10)^3 + ... }

= 1.4 + 0.014 + 0.00021 + ...

= 1.41421.....

第四項以下ノ總和ヲrトスレバ

0 < r < 7/5 * 3/2 * (1/10)^4 * 1/50 * 1/(1 - 1/50) = 0.00021 * 1/49

故ニ sqrt(2)ヲ 1.41421 ト取ルトキノ誤差ハ 0.00001 ヨリモ小ナリ

(ii) sqrt((a+x)(b+x)) - sqrt((a-x)(b-x))

a及bガxニ對シテ微小ナリトスレバ(1+x)^mノ展開式ヨリ

sqrt((1+a/x)(1+b/x)) = (1 + (a+b)/x + ab/x^2)^1/2

= 1 + 1/2 * ((a+b)/x + ab/x^2) - 1/8 * ((a+b)/x + ab/x^2)^2 + ...

sqrt((1-a/x)(1-b/x)) = (1 - (a+b)/x + ab/x^2)^1/2

= 1 - 1/2 * ((a+b)/x - ab/x^2) - 1/8 * ((a+b)/x - ab/x^2)^2 + ...

故ニ sqrt((a+x)(b+x)) - sqrt((a-x)(b-x))

= x { sqrt((1+a/x)(1+b/x)) - sqrt((1-a/x)(1-b/x)) }

= x { (a+b)/x - (a+b)ab/2x^3 + ... }

= a+b - (a+b)ab/2x^2 + ...

依テ 1/x^2以上ノ項ヲ省略スルトキハ

sqrt((a+x)(b+x)) - sqrt((a-x)(b-x)) = a+b - (a+b)ab/2x^2

トナリ、1/x^2以上ノ項ヲ省略スルトキハ

sqrt((a+x)(b+x)) - sqrt((a-x)(b-x)) = a+b

ヲ得、又之ニヨリ次ノ極限值ヲ得

lim_{x->0} { sqrt((a+x)(b+x)) - sqrt((a-x)(b-x)) } = a+b

$$(iii) \sin x = \frac{x}{1} - \frac{x^3}{3} + \frac{x^5}{5} - \dots + (-1)^m \frac{x^{2m+1}}{2m+1} + \dots$$

圓ノ中心ヲO, 半徑ヲrトシ, 中心角 α = 對スル弧ABノ長サヲ

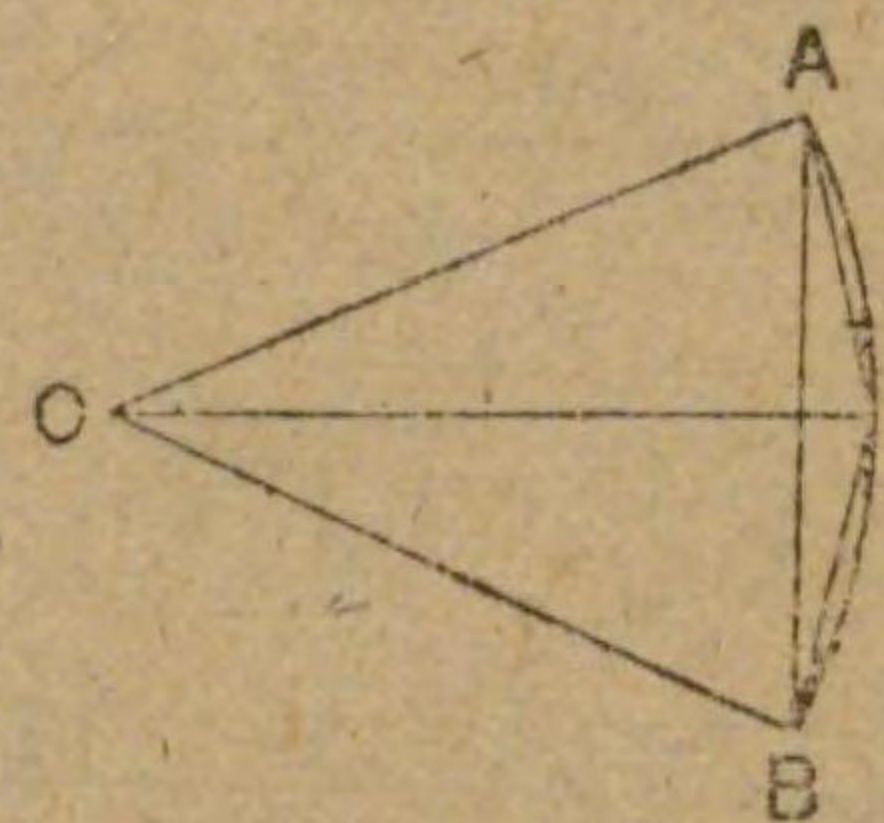
s, 又 $\frac{s}{2}$ 及 $\frac{s}{4}$ = 對應スル弦ノ長サ

ヲ夫々a及bトスルトキハ

$$s = r\alpha$$

$$a = 2r \sin \frac{\alpha}{2}$$

$$b = 2r \sin \frac{\alpha}{4}$$



故 = $a = 2r \left\{ \left(\frac{\alpha}{2} \right) - \frac{1}{3} \left(\frac{\alpha}{2} \right)^3 + \frac{1}{5} \left(\frac{\alpha}{2} \right)^5 - \dots \right\}$

$b = 2r \left\{ \left(\frac{\alpha}{4} \right) - \frac{1}{3} \left(\frac{\alpha}{4} \right)^3 + \frac{1}{5} \left(\frac{\alpha}{4} \right)^5 - \dots \right\}$

依テ $8b - a = 3r\alpha + \frac{2}{15} \left(\frac{8}{4^3} - \frac{1}{2^5} \right) r\alpha^5 + \dots$

從テ $s = \frac{8b - a}{3} + \frac{1}{7680} \frac{s^5}{r^4} + \dots$

故 = sガ微小ナルトキハ $\frac{1}{7680} \frac{s^5}{r^4}$ 以上ノ項ヲ省略シ $\frac{8b - a}{3}$ ヲ以

テ弧ABノ長サトスルコトヲ得

第七章 積分法

25. 積分ノ定義

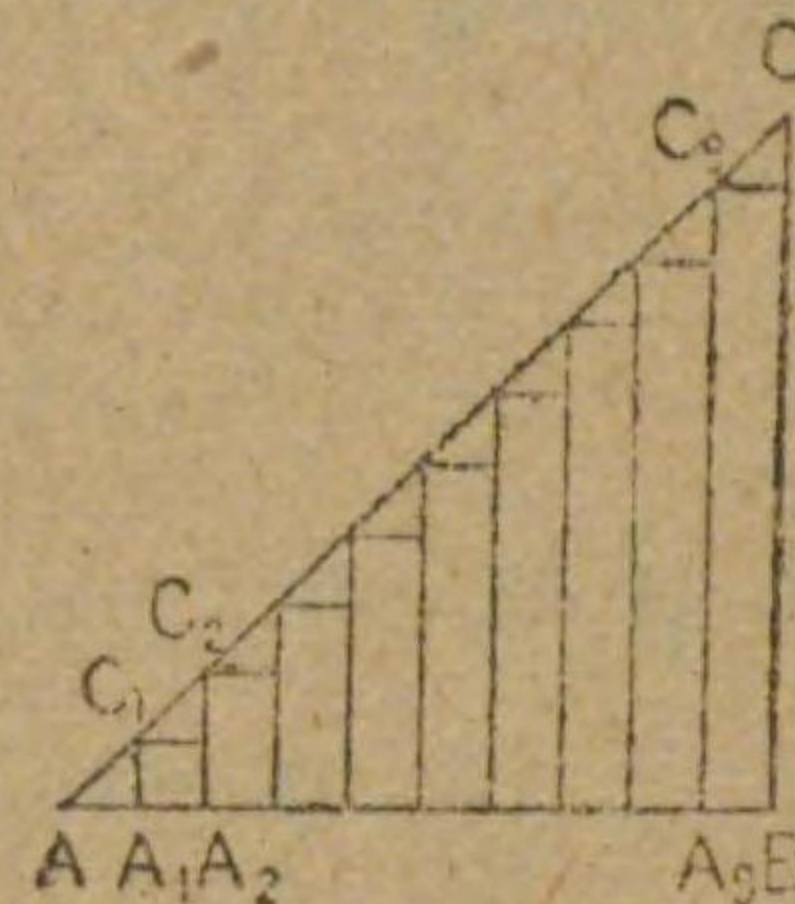
二等邊直角三角形ABCヲ取り其ノ面積ヲ考フルニ, 此ノ面積ハABヲ一邊トスル正方形ノ面積ノ

半 = 等シ, 故 =

$$AB = 10 \text{ 種}$$

トスレバ ABCノ面積ハ

$$\frac{10 \times 10}{2} = 50 \text{ 平方種}$$



今ABヲ10等分シテ各分點A1, A2, ..., A9ヨリAB = 垂線ヲ引キ, ACトノ交點C1, C2, ..., C9ヨリAB = 平行線ヲ引キ, ABCノ内 = A1A2, A2A3, ..., A9Bヲ底トスル9個ノ矩形ヲ容ルルトキハ

$$A_1A_2 = A_2A_3 = \dots = A_9B = 1 \text{ 種}$$

$$A_1C_1 = 1 \text{ 種}, A_2C_2 = 2 \text{ 種}, \dots, A_9C_9 = 9 \text{ 種}$$

故 = 此ノ矩形ノ面積ノ和ヲs1トスレバ

$$s_1 = (1 \times 1) + (1 \times 2) + \dots + (1 \times 9)$$

$$s_1 = 1 + 2 + \dots + 9$$

$$s_1 = 9 + 8 + \dots + 1$$

$$2s_1 = 10 \times 9$$

$$s_1 = \frac{10 \times 9}{2} = 45 \text{ 平方種}$$

次 = AA₁, A₁A₂, …, A₉B ヲ各10等分シ即チ AB ヲ100等分シテ
前同様 ABC 内 = 99個ノ矩形ヲ容レ其面積ノ和ヲ s₂ トスルトキハ

$$s_2 = (0.1 \times 0.1) + (0.1 \times 0.2) + \dots + (0.1 \times 9.9) \\ = (0.1 + 0.2 + \dots + 9.9) \times 0.1$$

故 = $s_2 = \frac{10 \times 99}{2} \times \frac{1}{10} = 49.5$ 平方糎

次 = 此ノ各小部分ヲ更 = 10等分シテ前同様 = シテ作リタル矩形ノ
面積ノ和ヲ s₃ トスルトキハ

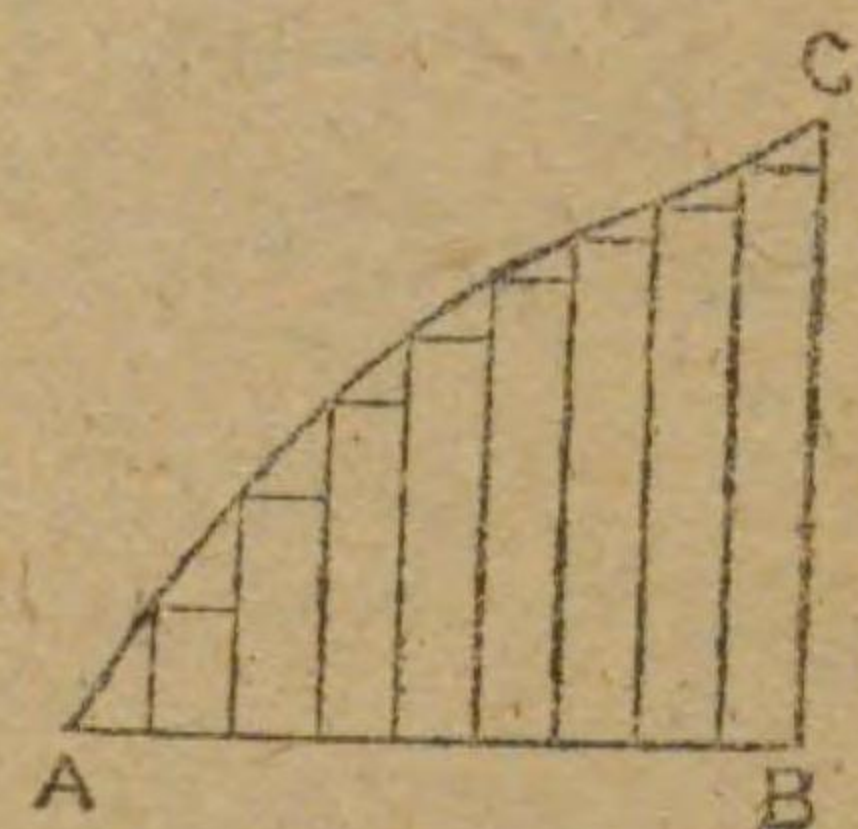
$$s_3 = (0.01 \times 0.01) + (0.01 \times 0.02) + \dots + (0.01 \times 9.99) \\ = (0.01 + 0.02 + \dots + 9.99) \times 0.01$$

故 = $s_3 = \frac{10 \times 999}{2} \times \frac{1}{100} = 49.95$ 平方糎

上 = 示セルガ如ク AB ヲ細 = 等分シテ ABC 内 = 數多ノ矩形ヲ容
ルレバ等分數ヲ増加スル = 從ヒ矩形ノ總面積ハ増大シテ前 = 擧ゲタ
ル三角形ノ面積50平方糎 = 近ヅク。

此ノ如ク面積ヲ細 = 分割シテ其ノ各部分ノ和ヲ索ムル方法ハ三角
形 = 限ラズ, AC ガ任意ノ曲線ナ

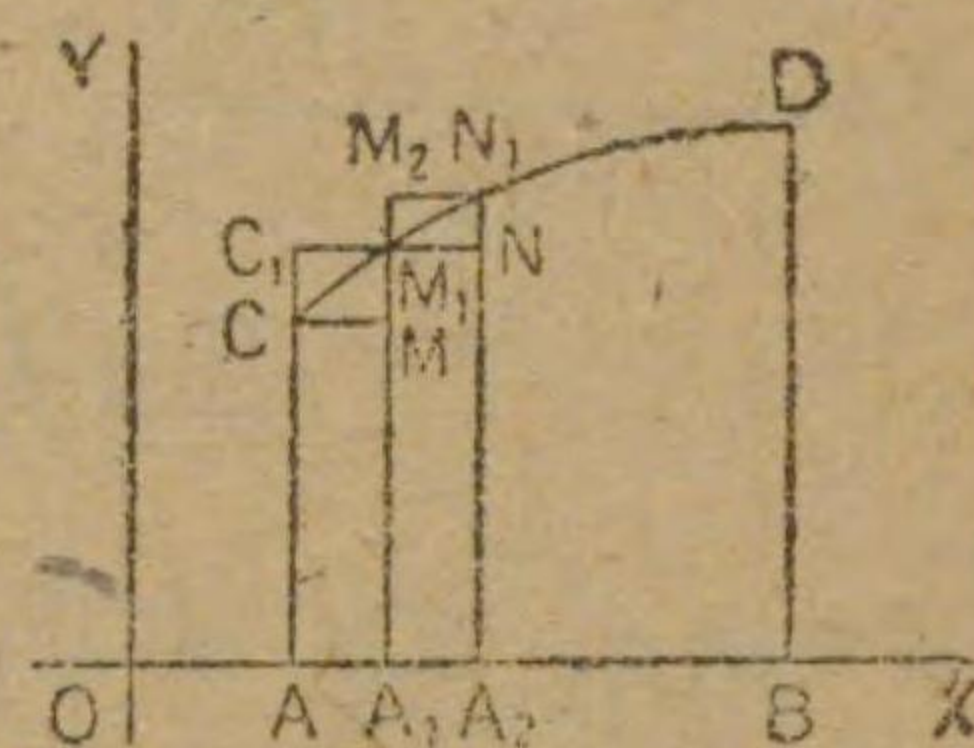
ル場合 = モ之ヲ應用スルコトヲ得
ベク, 尙此ノ如クシテ面積ノ大略
ノ値ヲ知ルノミニアラズシテ, 曲
線 AC ノ方程式ヲ知り得ル場合 =
ハ等分點ガ無限 = 多キ極限トシテ



曲線 AC 及ビ直線 AB, BC ノ包圍スル面積ノ値ヲ索ムルコトヲ得ベ

今曲線 $y=f(x)$ ト横軸及ビ二ツノ直線 $x=a, x=b$ トノ間 = アル部
分 ACDB ノ面積ヲ s トシ, 簡單ノ爲メ = $f(x)$ ハ連續函數 = シテ
常 = 増加ノ状態 = アリ, 即チ右方 = 赴ク = 從ヒ益横軸 = 遠ザカルモ
ノトシ, AB ヲ n 等分シテ順次

= x_1, x_2, \dots, x_{n-1} ノ値ヲ取リ,
各分點 A_1, A_2, \dots, A_{n-1} ヨリ縦
軸 = 平行線ヲ引キ, 又曲線トノ
交點ヨリ横軸 = 平行線ヲ引キ,
矩形 $ACMA_1, A_1M_1NA_2, \dots$ ノ



面積ノ和ヲ s_1 トシ, 矩形 $AC_1M_1A_1, A_1M_2N_1A_2, \dots$ ノ面積ノ和ヲ s_2
トスルトキハ

$$s_1 < s < s_2$$

又 $x_1 - a = x_2 - x_1 = \dots = b - x_{n-1} = h$

ト置クトキハ

$$s_1 = \{f(a) + f(x_1) + \dots + f(x_{n-1})\}h$$

$$s_2 = \{f(x_1) + f(x_2) + \dots + f(b)\}h$$

從テ $s_2 - s_1 = \{f(b) - f(a)\}h$

$s_2 - s_1$ ハ矩形 $CC_1M_1M, M_1M_2N_1N, \dots$ ノ面積ノ和 = シテ等分點ノ
増加スル = 從ヒ即チ h ノ減少スル = 從ヒ益其ノ値ヲ減少シ, 結局
 $f(a), f(b)$ ガ有限 = シテ h ノ限リナク小ナル極限 = 於テ 0 トナル。

故 = $\lim_{h \rightarrow 0} (s_2 - s_1) = 0$

即チ $\lim_{h \rightarrow 0} s_1 = \lim_{h \rightarrow 0} s_2$

s_1 と s_2 とハ明ニ有限ニシテ極限ニ於テ其ノ値相等シ、故ニ其ノ間ニアル s モ亦極限ニ於テ之ト同一ノ値ヲ取ル、依テ此ノ極限值即チ

$$\lim_{h \rightarrow 0} \{f(a) + f(x_1) + \dots + f(x_{n-1})\}h$$

或ハ

$$\lim_{h \rightarrow 0} \{f(x_1) + f(x_2) + \dots + f(b)\}h$$

ヲ表ハスニ

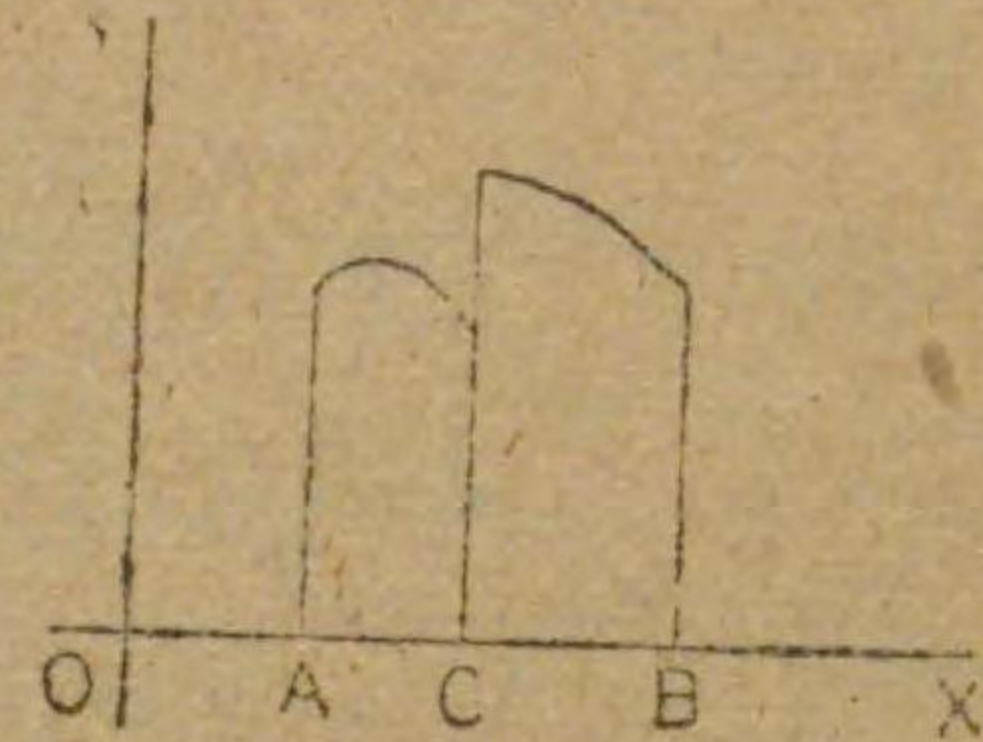
$$\int_a^b f(x)dx$$

ナル記號ヲ用ヒ、之ヲ $x=a$ 及ビ $x=b$ ノ間ニ於ケル函數 $f(x)$ ノ積分トイヒ、 a ヲ其ノ下限、 b ヲ其ノ上限トイフ。

以上ハ $f(x)$ ガ正ニシテ増加ノ状態ニアルモノトシタレドモ $f(x)$ ガ減少ノ状態ニアルトモ、又ハ極大極小ヲ有スルトキ、又ハ $f(x)$ ガ負ナルトキ等ニモ全ク同様ナル結果ヲ得ベシ。

尙又 $f(x)$ ヲ連続ト假定シタレドモ有限ニシテ不連続ナル場合ニハ、其ノ點ニテ區分シテ考フレバ

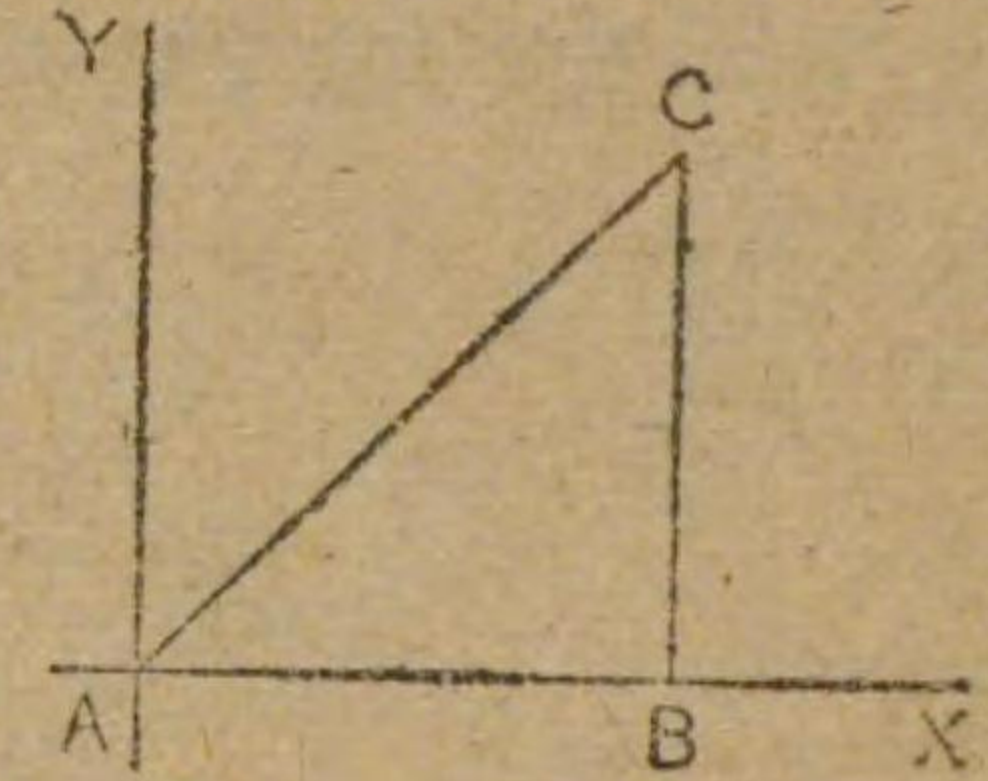
其ノ結果ハ連続ナル場合ト同様ナリ、例ヘバ圖ノ如ク $f(x)$ ガ $x=c$ 、 $a < c < b$ ニ於テ不連続トナルトキハ



$$\int_a^b f(x)dx = \int_a^c f(x)dx + \int_c^b f(x)dx$$

最後ニ説明ノ便宜上圖ヲ用ヒテ面積ニ就テ論ジタレドモ、積分ニ必ズシモ面積ヲ索ムル場合ノミニ限ラズ、或ルーツノ極限值ヲ索ムル手續ニ過ギザルモノトス。

本節ノ初ニ舉ゲタル直角三角形ノ面積ヲ索ムル問題ヲ考フルニ、頂點Aヲ原點トシ、ABヲ横軸ノ上ニ置クトキハ直線ACノ方程式ハ $y=x$ ニシテ、 h ハAB即チ1ヲ n 等分シタルモノナルガ故ニ $h = \frac{1}{n}$ ニシテ面積ABCハ



$$\int_0^1 xdx = \lim_{n \rightarrow \infty} \left\{ \frac{1}{n} + \frac{2}{n} + \dots + \frac{n-1}{n} \right\} \frac{1}{n}$$

$$= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1+2+\dots+n-1}{n^2}$$

$$= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{n(n-1)}{2} \frac{1}{n^2}$$

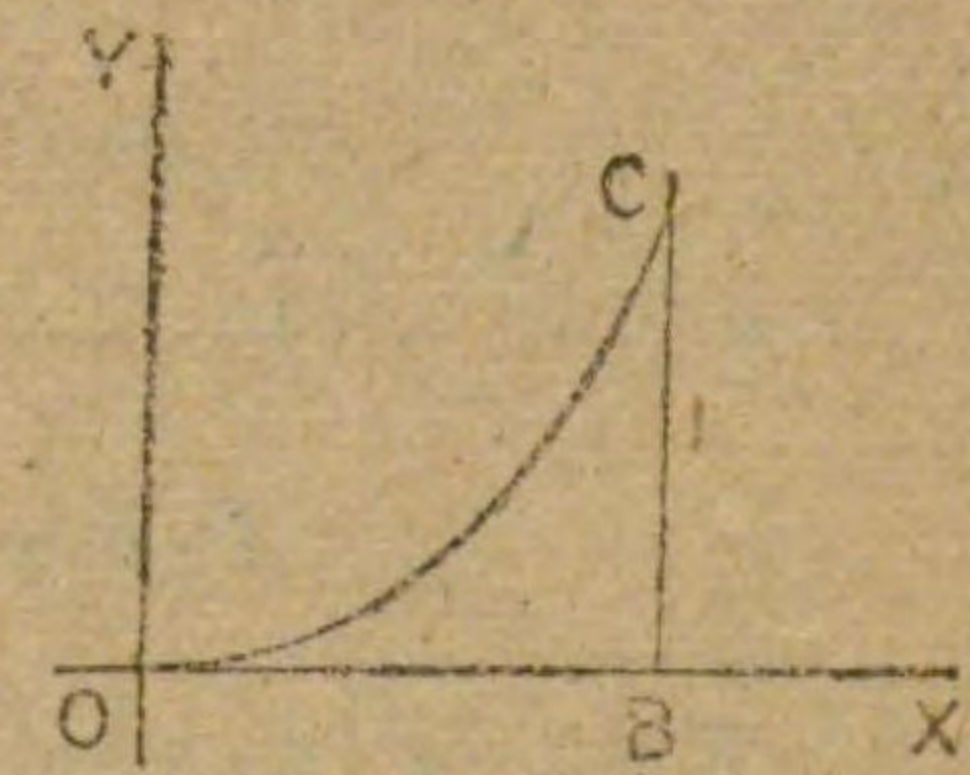
$$= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{2} \left(1 - \frac{1}{n} \right)$$

故ニ $\int_0^1 xdx = \frac{1}{2}$

同様ニ拋物線 $y=x^2$ ト横軸及ビ直線 $x=1$ トノ間ノ面積ハ

$$\int_0^1 x^2 dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1^2 + 2^2 + \dots + (n-1)^2}{n^3}$$

ニテ之ヲ表ハスコトヲ得。



以上ノ如キ手續ヲ取ルトキハ積分ハ常ニ極限值ヲ索ムルコトニ歸着シ、場合ニヨリ複雑ナル計算ヲ行フコトナルヲ以テ簡單ニ同一ノ結果ニ到着スルガ爲メニ次節ニ於ケルガ如キ方法ヲ取ルコトトス

26 積分ノ計算

函数 $F(x)$ 及ビ其ノ第一次導來函数 $f(x)$ ハ何レモ連續ナリトシ、

第17節ニヨリ

$$\lim_{h \rightarrow 0} \frac{F(x+h) - F(x)}{h} = f(x)$$

即チ

$$\lim_{h \rightarrow 0} \left\{ \frac{F(x+h) - F(x)}{h} - f(x) \right\} = 0$$

依テ h ノ微小ナルトキハ次ノ如ク表ハスコトヲ得、

$$\frac{F(x+h) - F(x)}{h} - f(x) = \varepsilon$$

此ニ ε ハ h ノ 0 トナル極限ニ於テ 0 ニ收斂スルモノトス

依テ $F(x+h) - F(x) = f(x)h + \varepsilon h$

$b-a$ ヲ n 等分シテ順次ニ

$$x_1 = a+h, x_2 = x_1+h, \dots, b = x_{n-1}+h$$

トシ、之ヲ上式ニ代入スルトキハ

$$F(x_1) - F(a) = f(a)h + \varepsilon_1 h$$

$$F(x_2) - F(x_1) = f(x_1)h + \varepsilon_2 h$$

.....

$$F(b) - F(x_{n-1}) = f(x_{n-1})h + \varepsilon_n h$$

故ニ $F(b) - F(a) = \{f(a) + f(x_1) + \dots + f(x_{n-1})\}h$

$$+ (\varepsilon_1 + \varepsilon_2 + \dots + \varepsilon_n)h$$

$\varepsilon_1, \varepsilon_2, \dots, \varepsilon_n$ 中ニテ絶對値ノ最大ナルモノヲ δ トスレバ

$$|(\varepsilon_1 + \varepsilon_2 + \dots + \varepsilon_n)h| < |n\delta h| = |nh\delta| = [(b-a)\delta]$$

然ルニ $b-a$ ハ有限ニシテ δ ハ極限ニ於テ 0 トナルヲ以テ

$$\lim_{h \rightarrow 0} (\varepsilon_1 + \varepsilon_2 + \dots + \varepsilon_n)h = 0$$

故ニ $F(b) - F(a) = \lim_{h \rightarrow 0} \{f(a) + f(x_1) + \dots + f(x_{n-1})\}h$

依テ前節ニヨリ

$$\int_a^b f(x)dx = F(b) - F(a)$$

或ハ之ヲ次ノ如ク記ス

$$\int_a^b f(x)dx = [F(x)]_a^b$$

此ニ $F(x)$ 及ビ $f(x)$ ハ何レモ連續ニシテ $f(x) = F'(x)$ ナル關係アリ、 $[F(x)]_a^b$ ハ $F(x)$ ニ於テ $x=b$ ト置キタルモノヨリ $x=a$ ト置キタルモノヲ減ズルコトヲ示ス、

故ニ上ノ條件ヲ満足スル函数 $F(x)$ ヲ $f(x)$ ヲリ索メ得ルトキハ直チニ積分ノ値ヲ計算スルコトヲ得、

例ニバ $F(x) = \frac{x^2}{2}$ ナルトキハ $f(x) = x$ ナルガ故ニ

$$\int_0^1 x dx = \left[\frac{x^2}{2} \right]_0^1 = \frac{1}{2}(1-0) = \frac{1}{2}$$

一般ニ $F(x) = \frac{x^{n+1}}{n+1}$ ナルトキハ $f(x) = x^n$ ニナルガ故ニ

$$\int_a^b x^n dx = \left[\frac{x^{n+1}}{n+1} \right]_a^b = \frac{b^{n+1} - a^{n+1}}{n+1} \tag{1}$$

積分ノ定義ニヨリ x^n 及ビ $\frac{x^{n+1}}{n+1}$ ハ $x=a$ ヲリ $x=b$ 至ル間ニ於

テ連續ナルコトヲ要スルガ故ニ $n \geq -1$ ナルコトヲ要シ、次ニ $n < 0$ ナルトキハ $a > 0, b > 0$ 又ハ $a < 0, b < 0$ ナルコトヲ要ス、

$n = -1$ ナルトキハ $f(x) = \frac{1}{x}$ トナル、然ルニ第20節ニヨリ $y = \log x$

ナルトキハ $y' = \frac{1}{x}$ ナルガ故ニ

$$\int_a^b \frac{dx}{x} = [\log x]_a^b = \log b - \log a \quad (2)$$

$\frac{1}{x}$ ハ $x=0$ ニ於テ無限大トナルガ故ニ上ノ式ニ於テ $a > 0, b > 0$

又ハ $a < 0, b < 0$ ナルコトヲ要ス。

$F(x) = \sin x$ ナルトキハ $f(x) = \cos x$ ナルガ故ニ

$$\int_a^b \cos x \, dx = [\sin x]_a^b = \sin b - \sin a \quad (3)$$

$F(x) = \cos x$ ナルトキハ $f(x) = -\sin x$ ナルガ故ニ

$$\int_a^b \sin x \, dx = [-\cos x]_a^b = \cos a - \cos b \quad (4)$$

又第20節ニヨリ $y = e^x$ ナルトキハ $y' = e^x$ ナルガ故ニ

$$\int_a^b e^x \, dx = [e^x]_a^b = e^b - e^a \quad (5)$$

注意 $F(x)$ ノ導來函数ガ $f(x)$ ナラバ c ノ常數トシテ $F(x) + c$ ノ導來函数モ亦 $f(x)$ ナリ、故ニ

$$\int_a^b f(x) \, dx = [F(x) + c]_a^b = F(b) - F(a)$$

即チ c ノ有無ハ積分ノ値ニハ影響ナシ、依テ之ヲ省略スルヲ普通トス、但シ上限下限ヲ略シタル場合ニハ $F'(x) = f(x)$ ト同様ニ

$$F(x) = \int f(x) \, dx + c$$

ト記ス方適當ナリトス。

27. 積分ノ變形

函数ノ積分ノ値ヲ索ムルニ當リテハ適宜ナル方法ヲ施シテ積分ヲ變ジ、前節ニ於テ得タル如キ若干ノ基礎積分ト同一ノ形ヲ取ラシメ其ノ値ヲ知ルヲ以テ捷徑トス、次ニ其ノ最も有力ナル二三ノ方法ヲ掲グ

(I) 函数ヲ若干ノ函数ノ和ト考ヘ其ノ各部分ノ積分ヲ索ム。

$$F(x) = f_1(x) + f_2(x) + \dots + f_n(x)$$

$$\text{依テ } \int_a^b F(x) \, dx = \int_a^b \{f_1(x) + f_2(x) + \dots + f_n(x)\} \, dx$$

$$= \int_a^b f_1(x) \, dx + \int_a^b f_2(x) \, dx + \dots + \int_a^b f_n(x) \, dx$$

(II) 函数ヲ二ナノ函数ノ積ト考ヘ其ノ一部分ヲ積分シテ原積分ヲ索ムルコトヲ新ナル積分ヲ索ムルコトニ歸着セシム。

$$\frac{d}{dx} \{f(x)\phi(x)\} = f'(x)\phi(x) + f(x)\phi'(x)$$

$$\text{依テ } [f(x)\phi(x)]_a^b = \int_a^b f'(x)\phi(x) \, dx + \int_a^b f(x)\phi'(x) \, dx$$

$$\text{故ニ } \int_a^b f(x)\phi'(x) \, dx = [f(x)\phi(x)]_a^b - \int_a^b f'(x)\phi(x) \, dx$$

從テ $f(x)\phi'(x)$ ノ積分ヲ索ムルコトハ $f'(x)\phi(x)$ ノ積分ヲ索ムルコトニ歸着ス、故ニ後ノ積分ノ値ヲ索メ得ルトキハ前ノ積分ノ値ヲ知ルコトヲ得

特ニ $\phi(x) = x$ 、從テ $\phi'(x) = 1$ ナルトキハ

$$\int_a^b f(x) \, dx = [xf(x)]_a^b - \int_a^b xf'(x) \, dx$$

(III) 積分變數ヲ他ノ變數ニ變更シテ積分ノ値ヲ索ム.

變數 x ト t ノ間 = $x = \phi(t)$ ナル關係アリテ、 $\phi(t)$ 及び其ノ導來
函數 $\phi'(t)$ ハ連續ナリトシ、 x ガ a ヨリ b = 至ル間 = t ハ α ヨリ β
= 至リ、 x ノ一ツノ値 = 對シテ常ニ t ノ一ツノ値アリトスレバ

$$x = \phi(t), \frac{dx}{dt} = \phi'(t)$$

依テ
$$\int_a^b f(x)dx = \int_\alpha^\beta f(\phi(t))\phi'(t)dt$$

此ノ右邊ノ積分ノ値ヲ索メ得ルトキハ直チニ左邊ノ積分ノ値ヲ知ル
コトヲ得.

以上ノ運用ニ關シテハ次ノ實例ニ就テ見ルベシ.

(i)
$$\int_0^1 x^2(a+bx)^2 dx$$

$(a+bx)^2$ ヲ二項定理ニヨリ展開スルトキハ

$$(a+bx)^2 = a^2 + 2abx + b^2x^2$$

故ニ
$$\begin{aligned} \int_0^1 x^2(a+bx)^2 dx &= \int_0^1 x^2(a^2 + 2abx + b^2x^2) dx \\ &= \int_0^1 (a^2x^2 + 2abx^3 + b^2x^4) dx \\ &= \int_0^1 a^2x^2 dx + \int_0^1 2abx^3 dx + \int_0^1 b^2x^4 dx \\ &= a^2 \int_0^1 x^2 dx + 2ab \int_0^1 x^3 dx + b^2 \int_0^1 x^4 dx \\ &= a^2 \left[\frac{x^3}{3} \right]_0^1 + 2ab \left[\frac{x^4}{4} \right]_0^1 + b^2 \left[\frac{x^5}{5} \right]_0^1 \\ &= a^2 \left(\frac{1}{3} - 0 \right) + 2ab \left(\frac{1}{4} - 0 \right) + b^2 \left(\frac{1}{5} - 0 \right) \\ &= \frac{a^2}{3} + \frac{2ab}{4} + \frac{b^2}{5} \end{aligned}$$

(ii)
$$\int_0^1 (x+a)^n dx$$

$x+a=t$ ト置クキ、 $\frac{dx}{dt} = 1$ ニシテ x ガ 0 ヨリ 1 = 至ル間 = t ハ

a ヨリ $a+1$ = 至ル

故ニ
$$\begin{aligned} \int_0^1 (x+a)^n dx &= \int_a^{a+1} t^n dt = \left[\frac{t^{n+1}}{n+1} \right]_a^{a+1} \\ &= \frac{(a+1)^{n+1} - a^{n+1}}{n+1} \quad n > -1 \\ &\quad n < -1 \end{aligned}$$

$n = -1$ ナルトキハ

$$\int_0^1 \frac{dx}{x+a} = \int_a^{a+1} \frac{dt}{t} = [\log t]_a^{a+1} = \log \frac{a+1}{a}$$

此ニ $a > 0$ 又ハ $a < -1$

(iii)
$$\int_1^2 \frac{dx}{(x+1)^2 x}$$

$$\begin{aligned} \frac{1}{(x+1)^2 x} &= \frac{x+1-x}{(x+1)^2 x} = \frac{1}{(x+1)x} - \frac{1}{(x+1)^2} \\ &= \frac{x+1-x}{(x+1)x} - \frac{1}{(x+1)^2} \\ &= \frac{1}{x} - \frac{1}{x+1} - \frac{1}{(x+1)^2} \end{aligned}$$

故ニ
$$\int_1^2 \frac{dx}{(x+1)^2 x} = \int_1^2 \frac{dx}{x} - \int_1^2 \frac{dx}{x+1} - \int_1^2 \frac{dx}{(x+1)^2}$$

例 (ii) = ヨリ

$$\int_1^2 \frac{dx}{x} = [\log x]_1^2 = \log 2, \int_1^2 \frac{dx}{x+1} = [\log(x+1)]_1^2 = \log \frac{3}{2}$$

$$\int_1^2 \frac{dx}{(x+1)^2} = \left[-\frac{1}{x+1} \right]_1^2 = -\frac{1}{3} + \frac{1}{2} = \frac{1}{6}$$

故ニ
$$\int_0^2 \frac{dx}{(x+1)^2 x} = \log \frac{4}{3} - \frac{1}{6}$$

或ハ $\frac{x}{x+1} = y$ ト置クトキハ $x = \frac{y}{1-y}$, $x+1 = \frac{1}{1-y}$, $\frac{dx}{dy} = \frac{1}{(1-y)^2}$

ニシテ x が 1 ヨリ 2 = 至ル間 = y が $\frac{1}{2}$ ヨリ $\frac{2}{3}$ = 至ル

故 =
$$\int_1^2 \frac{dx}{(x+1)^2 x} = \int_{\frac{1}{2}}^{\frac{2}{3}} \frac{\left(\frac{1}{1-y}\right)^2}{\left(\frac{1}{1-y}\right)^2 \frac{y}{1-y}} dy = \int_{\frac{1}{2}}^{\frac{2}{3}} \frac{1-y}{y} dy$$

$$= \int_{\frac{1}{2}}^{\frac{2}{3}} \frac{1}{y} dy - \int_{\frac{1}{2}}^{\frac{2}{3}} dy$$

$$= \left[\log y \right]_{\frac{1}{2}}^{\frac{2}{3}} - \left[y \right]_{\frac{1}{2}}^{\frac{2}{3}}$$

$$= \log \frac{4}{3} - \frac{1}{6}$$

(iv) $\int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos 4x \cos x dx$

$2\cos 4x \cos x = \cos 5x + \cos 3x$

故 =
$$2 \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos 4x \cos x dx = \int_0^{\frac{\pi}{2}} (\cos 5x + \cos 3x) dx$$

$$= \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos 5x dx + \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos 3x dx$$

$5x = t$ ト置クトキハ $dx = \frac{1}{5} dt$ ニシテ

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos 5x dx = \frac{1}{5} \int_0^{\frac{5\pi}{2}} \cos t dt = \frac{1}{5} \left[\sin t \right]_0^{\frac{5\pi}{2}}$$

$$= \frac{1}{5} \sin \frac{5\pi}{2} = \frac{1}{5}$$

同様 =
$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos 3x dx = \frac{1}{3} \sin \frac{3\pi}{2} = -\frac{1}{3}$$

故 =
$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos 4x \cos x dx = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{5} - \frac{1}{3} \right) = -\frac{1}{15}$$

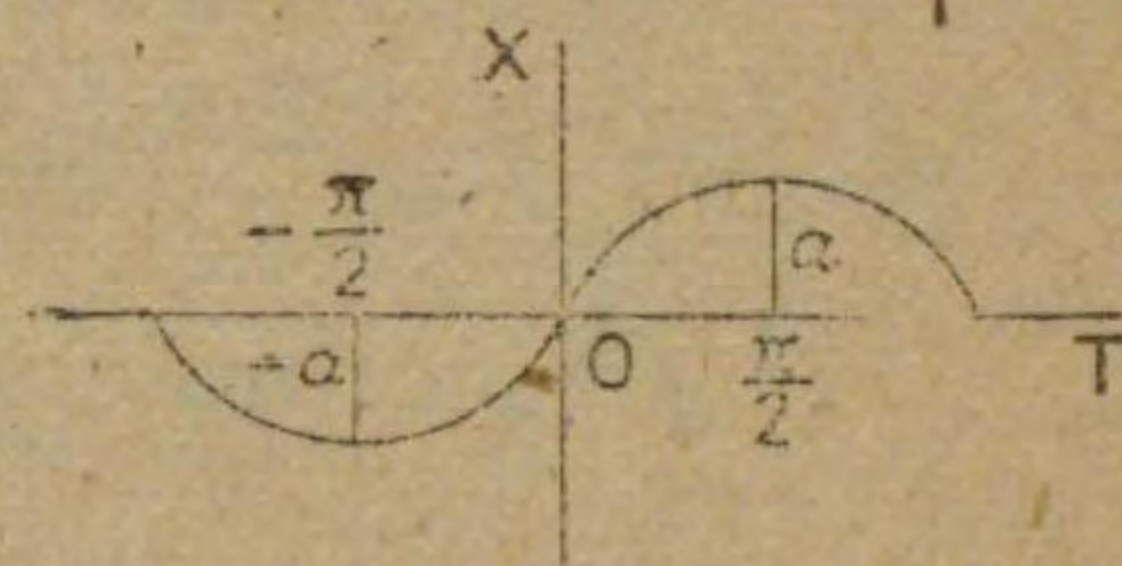
(v) $\int_{-a}^a \sqrt{a^2 - x^2} dx$

$x = a \sin t$ ト置クトキハ x が $-a$ ヨリ a = 至ル間 = t が $-\frac{\pi}{2}$ ヨリ

$\frac{\pi}{2}$ = 至リ, 此ノ間ノ x ノ一ツ

ノ値 = 對シテ常ニ t ノ一ツノ値

アリ.



$\frac{dx}{dt} = a \cos t$

故 =
$$\int_{-a}^a \sqrt{a^2 - x^2} dx = \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} a^2 \sqrt{1 - \sin^2 t} \cos t dt$$

$$= a^2 \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \cos^2 t dt$$

$$= \frac{a^2}{2} \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} (1 + \cos 2t) dt$$

$$= \frac{a^2}{2} \left\{ \left[t \right]_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} + \left[\frac{\sin 2t}{2} \right]_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \right\}$$

$$= \frac{\pi a^2}{2}$$

(vi) $\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^n x dx$, 此ニ n ハ正ノ整数トス.

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^n x dx = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{n-1} x \sin x dx$$

依テ (II) = 9

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^n x dx = \left[-\sin^{n-1} x \cos x \right]_0^{\frac{\pi}{2}} + (n-1) \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{n-2} x \cos^2 x dx$$

$$= (n-1) \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{n-2} x (1 - \sin^2 x) dx$$

$$= (n-1) \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{n-2} x dx - (n-1) \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^n x dx$$

依テ
$$n \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^n x dx = (n-1) \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{n-2} x dx$$

即チ
$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^n x dx = \frac{n-1}{n} \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{n-2} x dx$$

nノ代リニ n-2 ト置クトキハ

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{n-2} x dx = \frac{n-3}{n-2} \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{n-4} x dx$$

故ニ
$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^n x dx = \frac{n-1}{n} \frac{n-3}{n-2} \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{n-4} x dx$$

nガ偶数ナルトキハ n=2m ト置ケバ

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{2m} x dx = \frac{2m-1}{2m} \frac{2m-3}{2m-2} \dots \frac{1}{2} \int_0^{\frac{\pi}{2}} dx$$

又 nガ奇数ナルトキハ n=2m+1 ト置ケバ

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{2m+1} x dx = \frac{2m}{2m+1} \frac{2m-2}{2m-1} \dots \frac{2}{3} \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin x dx$$

然ルニ
$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} dx = \left[x \right]_0^{\frac{\pi}{2}} = \frac{\pi}{2}$$

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin x dx = \left[-\cos x \right]_0^{\frac{\pi}{2}} = 0+1=1$$

依テ次ノ結果ヲ得

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{2m} x dx = \frac{1.3.5 \dots 2m-1}{2.4.6 \dots 2m} \frac{\pi}{2}$$

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^{2m+1} x dx = \frac{2.4.6 \dots 2m}{3.5.7 \dots 2m+1}$$

上式ニ於テ sinx ノ代リニ cosx ト置クモ全ク同一ナリ.

28. 積分ノ定義ノ擴張

前三節ニ於テ積分ノ上限及ビ下限ハ何レモ有限ニシテ f(x)ハ連続函数ナリトシテ之ヲ論ゼリ、今上限及ビ下限ノ一方又ハ雙方ガ無限大トナル場合、f(x)ガ無限大トナル場合等ニ於テハ有限ナル場合ノ極限トシテ之ヲ考フベク實際如何ニ之ヲ處理スベキカハ次ノ例ニ就テ見ルベシ。

(i)
$$\int_0^{\infty} e^{-kx} dx, \quad k > 0$$

-kx=y ト置クトキハ
$$dx = -\frac{dy}{k}$$

$$\int_0^p e^{-kx} dx = -\frac{1}{k} \int_0^{-kp} e^y dy = -\frac{1}{k} \left[e^y \right]_0^{-kp}$$

$$= -\frac{1}{k} (e^{-kp} - 1) = \frac{1}{k} (1 - e^{-kp})$$

$$\lim_{p \rightarrow \infty} \int_0^p e^{-kx} dx = \lim_{p \rightarrow \infty} \frac{1}{k} (1 - e^{-kp}) = \frac{1}{k}$$

故ニ
$$\int_0^{\infty} e^{-kx} dx = \lim_{p \rightarrow \infty} \int_0^p e^{-kx} dx = \frac{1}{k}$$

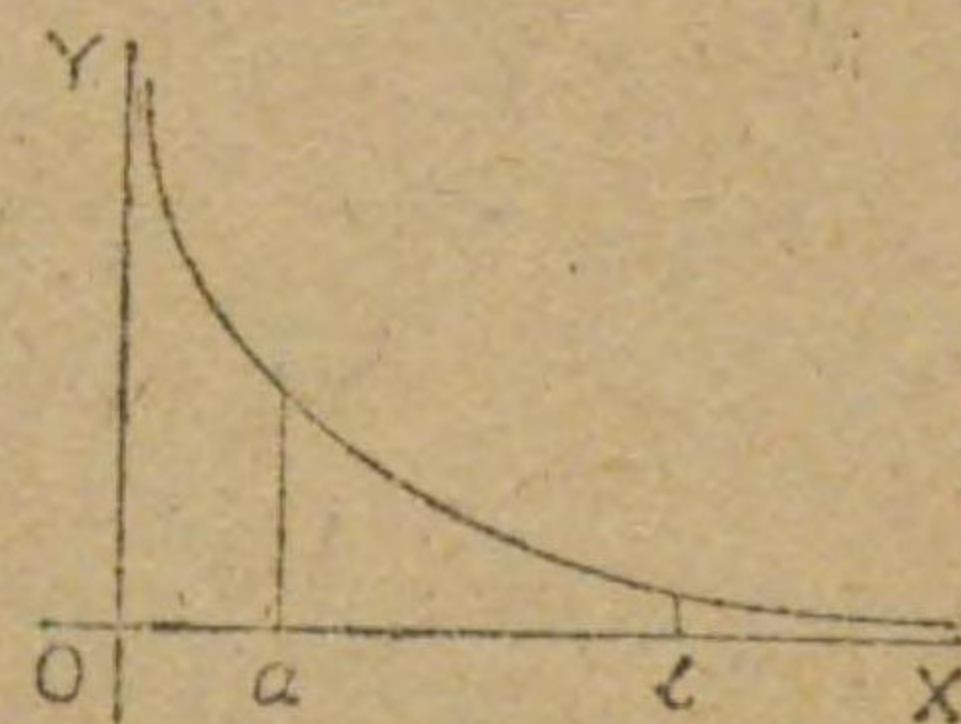
(ii)
$$\int_a^{\infty} \frac{dx}{x^n}, \quad a > 0, n > 0$$

$$\int_a^l \frac{dx}{x^n} = \left[-\frac{1}{(n-1)x^{n-1}} \right]_a^l = \frac{1}{n-1} \left\{ \frac{1}{a^{n-1}} - \frac{1}{l^{n-1}} \right\}$$

$$\int_a^l \frac{dx}{x} = \left[\log x \right]_a^l = \log \frac{l}{a}$$

n > 1 ナルトキハ
$$\lim_{l \rightarrow \infty} \frac{1}{l^{n-1}} = 0$$

n < 1 ナルトキハ
$$\lim_{l \rightarrow \infty} \frac{1}{l^{n-1}} = \infty$$



故 = $\int_a^b \frac{dx}{x^n} = \lim_{\epsilon \rightarrow 0} \int_{a+\epsilon}^b \frac{dx}{x^n}$ $n > 1$ ナルトキ有限ニシテ其ノ値

$\frac{1}{(n-1)a^{n-1}}$ ニ等シク, 其ノ他ノ場合ニハ無限大トナル.

(iii) $\int_a^b \frac{dx}{(x-a)^n}$, $a > 0, b > 0, n > 0$

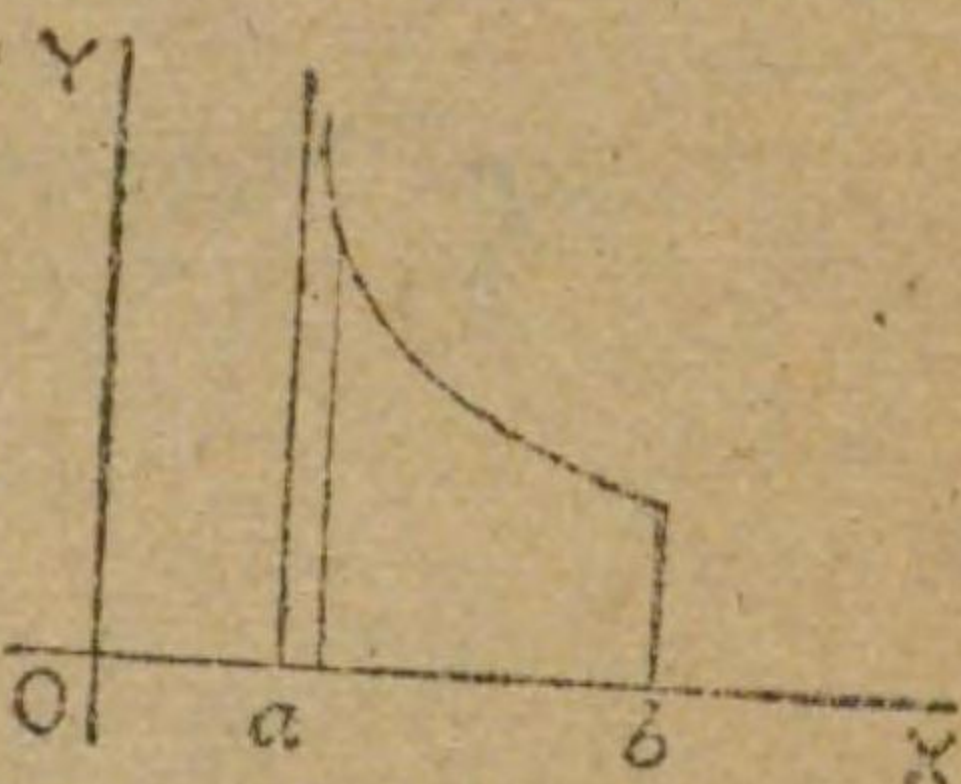
$$\int_{a+\epsilon}^b \frac{dx}{(x-a)^n} = \left[-\frac{1}{(n-1)(x-a)^{n-1}} \right]_{a+\epsilon}^b = \frac{1}{n-1} \left\{ \frac{1}{\epsilon^{n-1}} - \frac{1}{(b-a)^{n-1}} \right\}$$

$$\int_{a+\epsilon}^b \frac{dx}{x-a} = \left[\log(x-a) \right]_{a+\epsilon}^b = \log(b-a) - \log \epsilon$$

$n < 1$ ナルトキハ $\lim_{\epsilon \rightarrow 0} \frac{1}{\epsilon^{n-1}} = 0$

$n > 1$ ナルトキハ $\lim_{\epsilon \rightarrow 0} \frac{1}{\epsilon^{n-1}} = \infty$

故 = $\int_a^b \frac{dx}{(x-a)^n} = \lim_{\epsilon \rightarrow 0} \int_{a+\epsilon}^b \frac{dx}{(x-a)^n}$

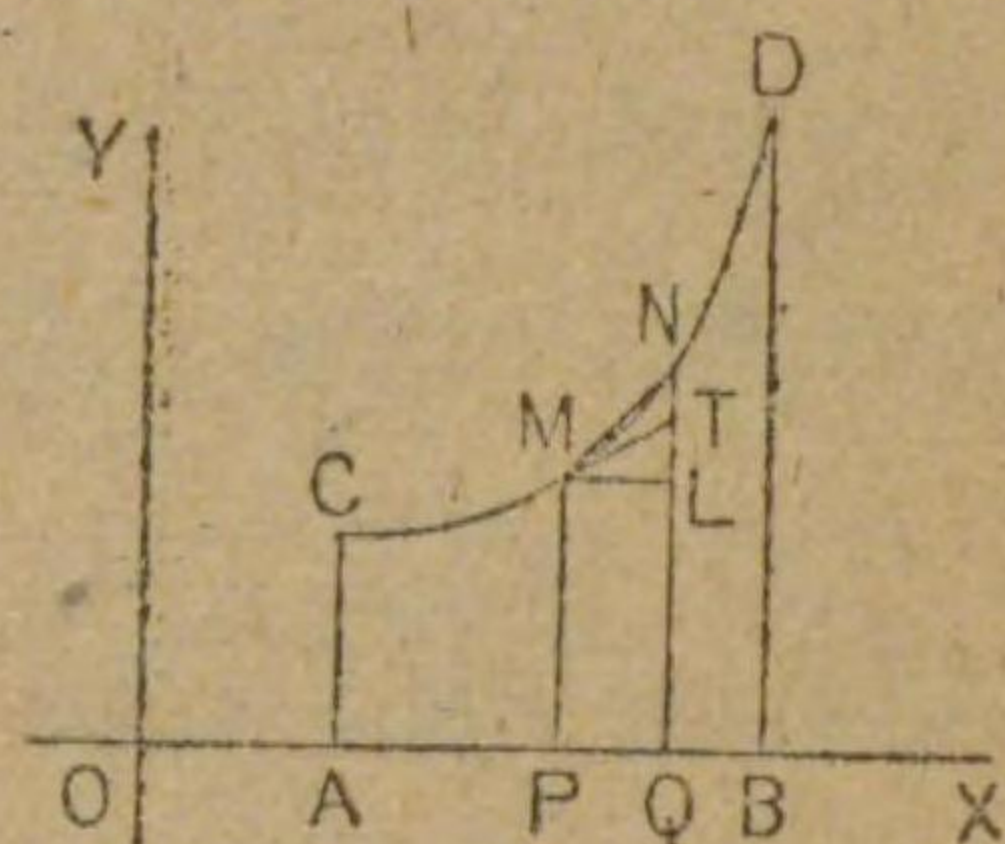


$n < 1$ ナルトキ有限ニシテ其ノ値 $\frac{1}{(1-n)(b-a)^{n-1}}$ ニ等シク, 其ノ他ノ場合ニハ無限大トナル.

第八章 積分ノ應用

29. 曲線ノ弧ノ長サ

直線 $x=a, x=b$ ノ間ニアル曲線 $y=f(x)$ ノ弧 CD ノ長サヲ s トシ, CD ニ對應スル横軸ノ部分 AB ヲ n 等分シテ各分點 P, Q, ... ヨリ縦軸ニ平行線ヲ引キ CD トノ交點ヲ夫々 M, N, ... トシ, M ヨリ横軸ニ平行線ヲ引キ QN トノ交點ヲ



テ L トシ

$$OP=x, PM=y, PQ=h$$

$$\angle LMN = \theta$$

ト置クトキハ

$$MN \cos \theta = h$$

θ ハ $h=0$ ナル極限ニ於テハ Mニ於ケル切線 MTガ横軸ノ正方向トナス角ノ正切トナル, 故ニ

$$MN = \left\{ \sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx} \right)^2} + \epsilon \right\} h$$

此ニ ϵ ハ h ト共ニ 0ニ收斂スルモノトス.

依テ順次ニ弧 OD 上ノ點 C, M, N, ... Dヲ兩端トスル線分ノ長サノ和ヲ l ニテ表ハストキハ

$$l = \sum \left\{ \sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx} \right)^2} + \epsilon \right\} h$$

$$= \sum \sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx} \right)^2} h + \sum \epsilon h$$

ϵ の中ニテ其ノ絶對值ノ最大ナルモノヲ δ トスレバ

$$|\Sigma \epsilon h| < |n\delta h| = |nh\delta| = |(b-a)\delta|$$

故ニ $\lim_{h \rightarrow 0} \Sigma \epsilon h = 0$

依テ $\lim_{h \rightarrow 0} l = \lim_{h \rightarrow 0} \sum \sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} h$

故ニ $\lim_{h \rightarrow 0} l$ フ以テ弧 CD ノ長サトスレバ次ノ式ヲ得

$$s = \int_a^b \sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} dx$$

次ニ簡單ナル曲線ノ長サヲ索ムル例ヲ掲グ

(1) 圓 $x^2 + y^2 = a^2$ ノ周

$$y = \pm \sqrt{a^2 - x^2}$$

圓ハ兩軸ノ何レニ關シテモ對稱ナルガ故ニ $x > 0, y > 0$ ノ部分ヲ取リ之ヲ4倍スレバ全周ヲ得ベシ。

依テ $y = \sqrt{a^2 - x^2}$

從テ $\frac{dy}{dx} = \frac{-x}{\sqrt{a^2 - x^2}}$

$$\sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} = \frac{a}{\sqrt{a^2 - x^2}}$$

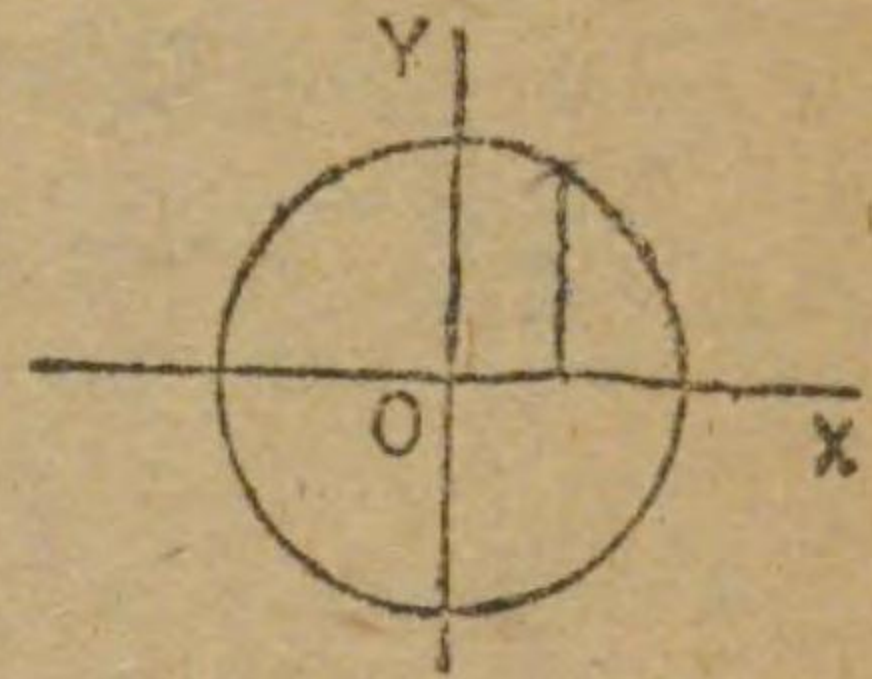
故ニ圓周ヲ s トスレバ

$$s = 4 \int_0^a \frac{a}{\sqrt{a^2 - x^2}} dx$$

$x = a \sin \theta$ ト置ケバ

$$\sqrt{a^2 - x^2} = a \cos \theta, \quad \frac{dx}{d\theta} = a \cos \theta$$

依テ $s = 4 \int_0^{\frac{\pi}{2}} a d\theta = 4a \left[\theta \right]_0^{\frac{\pi}{2}} = 2\pi a$



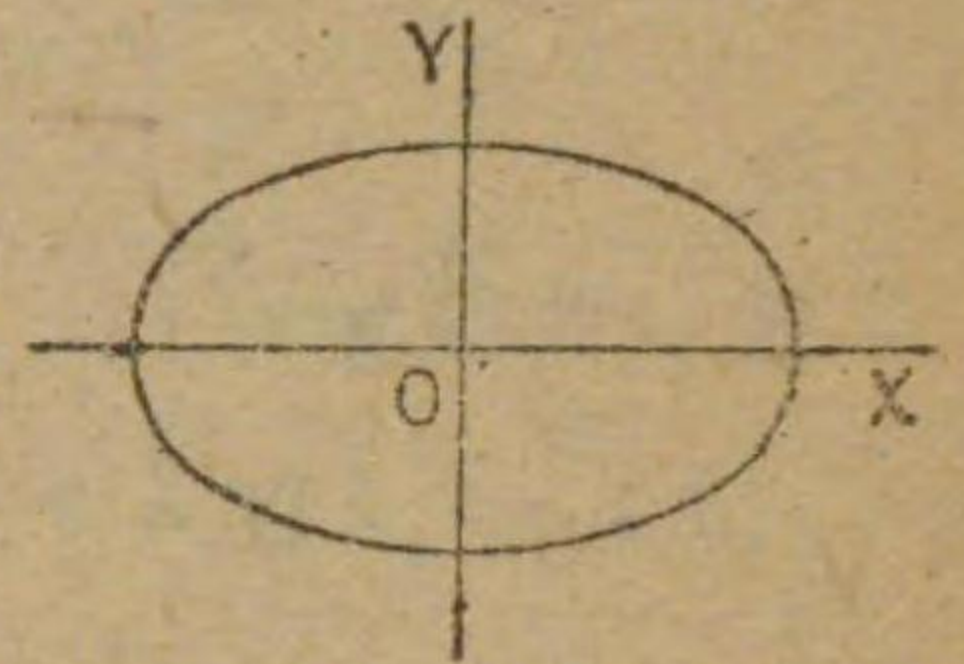
(ii) 橢圓 $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ ノ周

橢圓モ亦兩軸ノ何レニ關シテモ對稱ナルガ故ニ $x > 0, y > 0$ ノ部分ヲ取リ之ヲ4倍スレバ全周ヲ得。

$$x = a \sin \phi, \quad y = b \cos \phi$$

ト置クトキハ

$$\frac{dx}{d\phi} = a \cos \phi, \quad \frac{dy}{d\phi} = -b \sin \phi$$



從テ

$$\left(\frac{dx}{d\phi}\right)^2 + \left(\frac{dy}{d\phi}\right)^2 = \sqrt{a^2 \cos^2 \phi + b^2 \sin^2 \phi} = \sqrt{a^2 - (a^2 - b^2) \sin^2 \phi}$$

然ルニ $\sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} dx = \sqrt{\left(\frac{dx}{d\phi}\right)^2 + \left(\frac{dy}{d\phi}\right)^2} d\phi$

故ニ $s = 4 \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sqrt{a^2 - (a^2 - b^2) \sin^2 \phi} d\phi$

$\frac{\sqrt{a^2 - b^2}}{a} = e$ トスレバ

$$s = 4a \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sqrt{1 - e^2 \sin^2 \phi} d\phi$$

即チ $s = 4a \int_0^{\frac{\pi}{2}} \left\{ 1 - \frac{e^2}{2} \sin^2 \phi - \frac{e^4}{8} \sin^4 \phi - \dots \right\} d\phi$

第27節ニヨリ

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^2 \phi d\phi = \frac{1}{2} \cdot \frac{\pi}{2}, \quad \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^4 \phi d\phi = \frac{1}{2} \cdot \frac{3}{4} \cdot \frac{\pi}{2}$$

故ニ $s = 2\pi a \left\{ 1 - \frac{e^2}{2} - \frac{3e^4}{8} - \dots \right\}$

依テ e ガ微小ナルトキハ $2\pi a \left(1 - \frac{e^2}{4} \right)$ ヲ以テ橢圓ノ全周ト取ルコトヲ得。

30. 曲線ノ包圍スル面積

曲線 $y=f(x)$ ト横軸及ビ直線 $x=a, x=b$ ノ間ニアル面積ヲ A トスルトキハ第25節ニヨリ次ノ式ヲ得

$$A = \int_a^b f(x) dx$$

一般ニ曲線 $y=f_1(x), y=f_2(x)$ 及ビ直線 $x=a, x=b$ ノ間ニアル面積 A_1, B_1, B_2, A_2 ハ横軸ト A_1, B_1 ノ間ニアル面積ヨリ横軸ト A_2, B_2 ノ間ニアル面積ヲ減ジタルモノニ等シ、故ニ

$$A = \int_a^b f_1(x) dx - \int_a^b f_2(x) dx$$

$$\text{即チ } A = \int_a^b \{f_1(x) - f_2(x)\} dx$$

一ツノ曲線ガ包圍スル面積ハ A_1 ト A_2 及ビ B_1 ト B_2 ガ一致シタル場合ト考フベク、其ノ他ノ複雑ナル形ヲ有スル場合ニハ適宜之ヲ分割シ各部分ニ就キテ上ノ方法ヲ施スベシ。

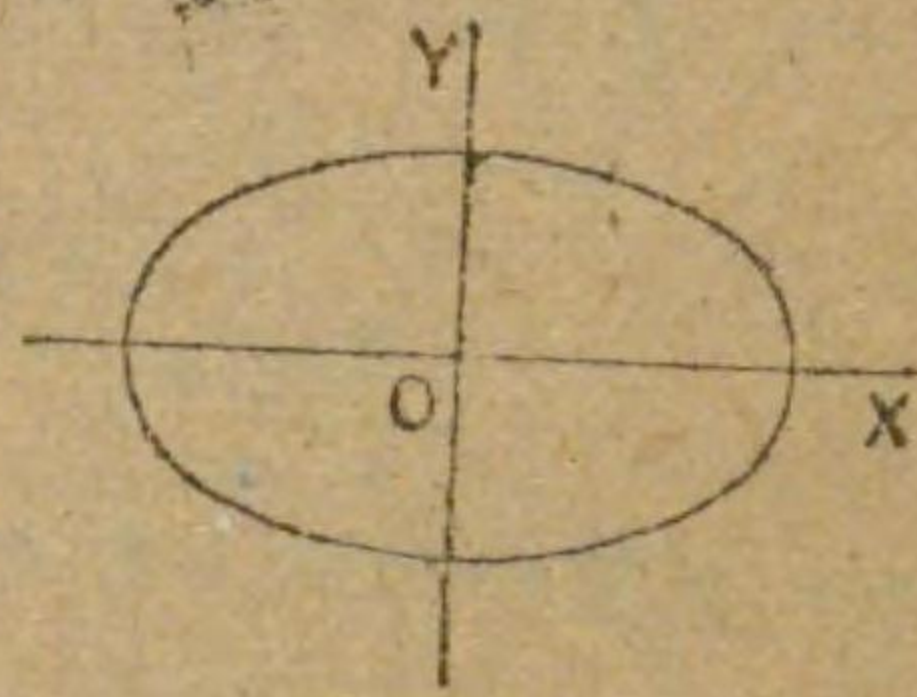
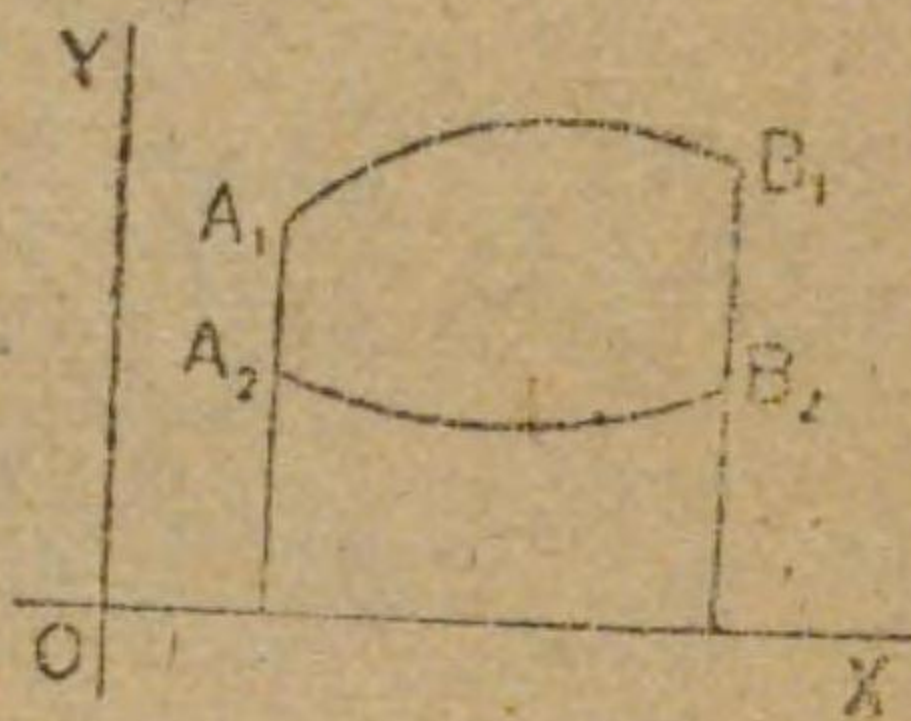
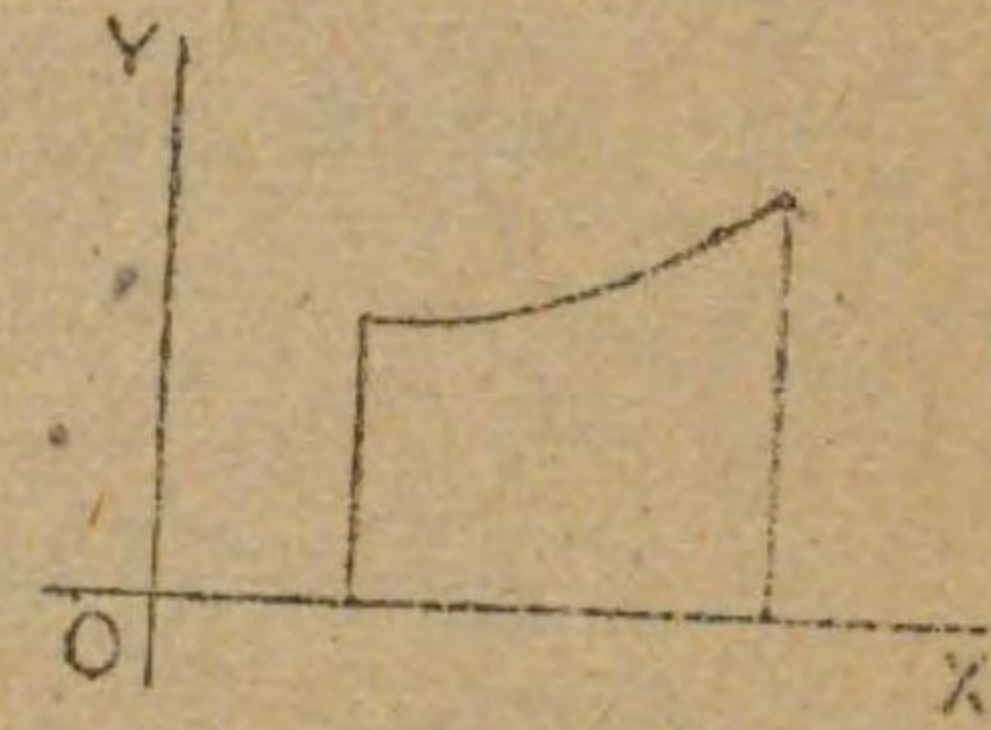
次ニ簡單ナル曲線ノ包圍スル面積ヲ索ムル例ヲ掲グ。

(i) 橢圓 $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ ノ包圍スル全面積

$$y = \pm \frac{b}{a} \sqrt{a^2 - x^2}$$

橢圓ノ包圍スル全面積ヲ A トス

$$A = 4 \int_0^a \frac{b}{a} \sqrt{a^2 - x^2} dx$$



即チ
$$A = 4 \frac{b}{a} \int_0^a \sqrt{a^2 - x^2} dx$$

$x = a \sin \theta$ ト置クトキハ

$$\sqrt{a^2 - x^2} = a \cos \theta, \quad \frac{dx}{d\theta} = a \cos \theta$$

故ニ
$$A = 4 \frac{b}{a} \int_0^{\frac{\pi}{2}} a^2 \cos^2 \theta d\theta = 2ab \int_0^{\frac{\pi}{2}} (1 + \cos 2\theta) d\theta$$

$$= 2ab \left[\theta + \frac{\sin 2\theta}{2} \right]_0^{\frac{\pi}{2}} = 2ab \frac{\pi}{2}$$

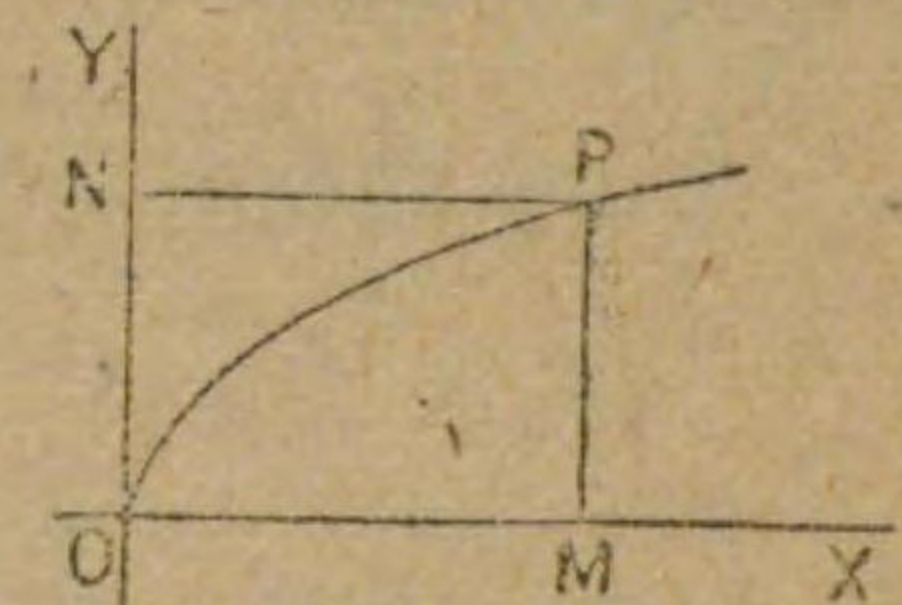
即チ
$$A = \pi ab$$

(ii) 拋物線 $y^2 = 4px$ ト横軸及ビ直線 $x=a$ ノ包圍スル面積

$$y = 2\sqrt{px}$$

索ムル面積ヲ A トスルトキハ

$$A = \int_0^a 2\sqrt{px} dx = 2\sqrt{p} \left[\frac{x^{\frac{3}{2}}}{\frac{3}{2}} \right]_0^a$$



即チ
$$A = \frac{4}{3} \sqrt{p} a^{\frac{3}{2}}$$

拋物線上ノ一點 P ヨリ兩軸ニ夫々垂線 PM, PN ヲ引キ、 $OM = a, ON = b$ トスルトキハ

$$b = 2\sqrt{pa}$$

故ニ
$$A = \frac{2}{3} ab$$

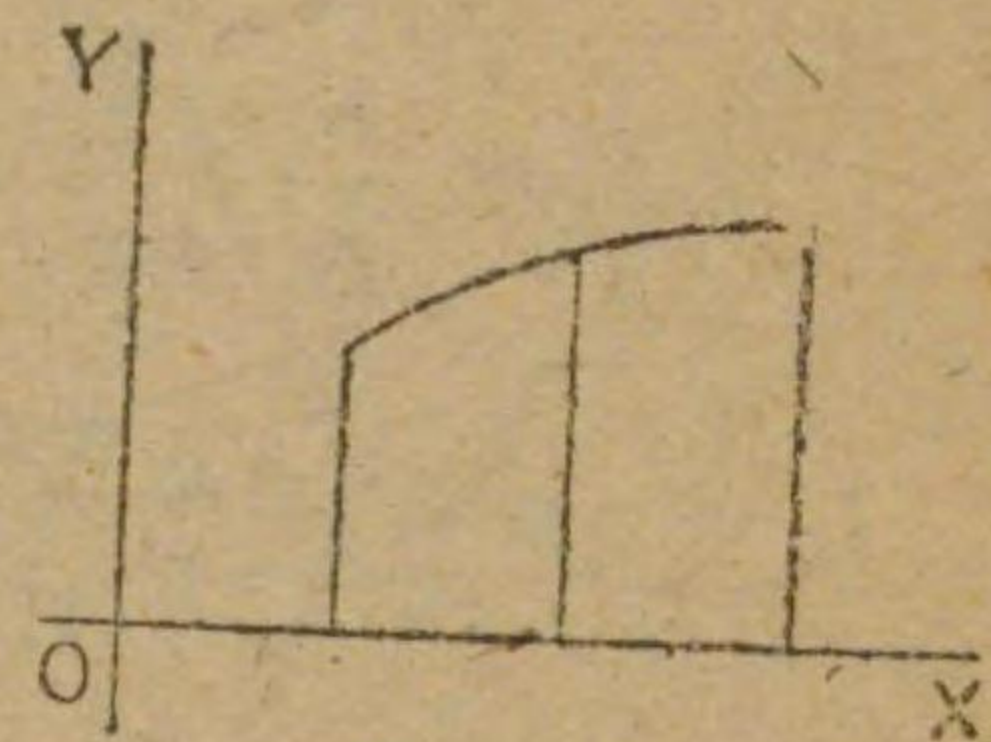
ab ハ矩形 $OMPN$ ノ面積ナルガ故ニ OMP ノ面積ハ其ノ三分ノ二ニ等シク、從テ ONP ノ面積ハ其ノ三分ノ一ニ等シ。

依テ
$$\frac{\text{面積 } ONP}{\text{面積 } OMP} = \frac{1}{2}$$

31. 回轉面ノ包圍スル體積及ビ其ノ表面積

曲線ガ其ノ平面内ニアル一定ノ直線ヲ軸トシテ回轉スルトキ生ズル面ヲ回轉面トイフ。

横軸ヲ回轉ノ軸トシ曲線ノ方程式ヲ $y=f(x)$ トスルトキハ曲線上ノ點 (x, y) ハ y ヲ半徑トスル圓ヲ畫ク、即チ此ノ面ノ横軸ニ垂直ナル截リ口ハ圓ニシテ、其ノ面積ハ $\pi y^2 =$ 等シク、其ノ周ハ $2\pi y =$ 等シ。



今直線 $x=a, x=b$ ノ間ニアル横軸ノ部分ヲ n 等分シタルモノヲ h トスルトキハ回轉面ノ包圍スル體積ハ

$$\sum \pi y^2 h$$

ニ於テ h ガ 0 ニ等シキ極限ナリ、依テ此ノ回轉面ガ $x=a, x=b$ ノ間ニ於テ包圍スル體積ヲ V トスレバ

$$V = \int_a^b \pi y^2 dx$$

同様ニ h ニ對應スル曲線ノ弧ノ長サヲ k トスルトキハ此ノ回轉面ノ表面積ハ

$$\sum 2\pi y k$$

ニ於テ k ガ 0 ニ等シキ極限ナリ、依テ此ノ表面積ヲ S ニテ表ハストキハ

$$S = \int_a^b 2\pi y \sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} dx$$

次ニ掲グルハ回轉面ノ體積及ビ表面積ヲ索ムル例ナリ。

(i) 直線 $y=ax$ ガ横軸ヲ軸トシテ回轉シテ生ズル曲面ノ $x=0$ 及ビ $x=h$ ノ間ニアル部分ノ體積及ビ表面積

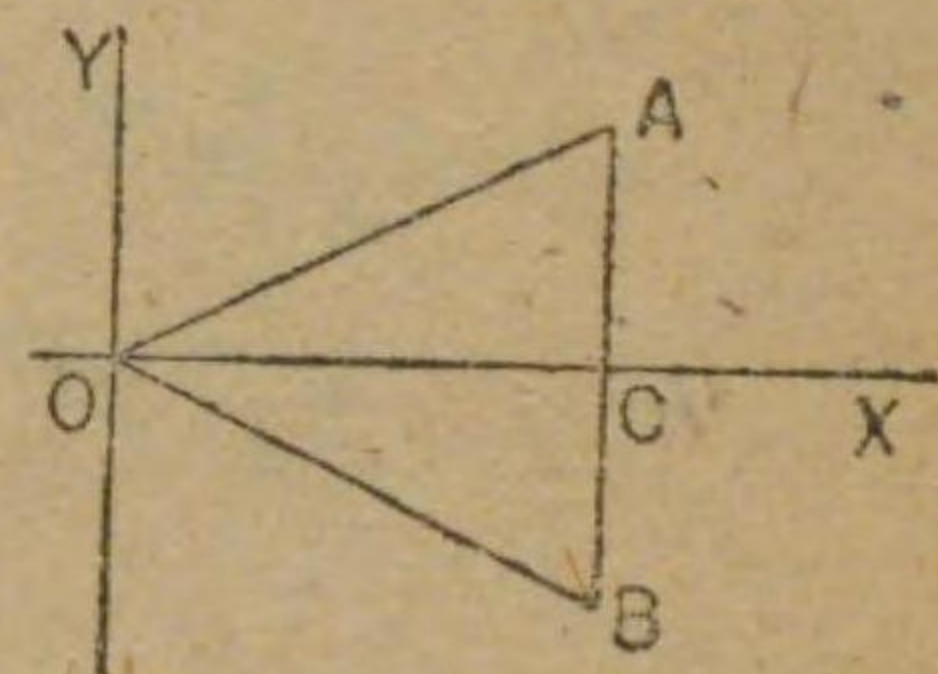
$OC=h, CA=k$ ト置キ、索ムル體積ヲ V トスルトキハ

$$V = \int_0^h \pi y^2 dx = \int_0^h \pi a^2 x^2 dx = \pi a^2 \left[\frac{x^3}{3} \right]_0^h = \pi \frac{a^2 h^3}{3}$$

然ルニ $k=ah$

故ニ $V = \frac{1}{3} \pi k^2 h$

又 $y=ax \quad \frac{dy}{dx} = a$



索ムル表面積ヲ S トスルトキハ

$$S = \int_0^h 2\pi y \sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} dx = \int_0^h 2\pi ax \sqrt{1 + a^2} dx = 2\pi a \sqrt{1 + a^2} \left[\frac{x^2}{2} \right]_0^h = 2\pi a \sqrt{1 + a^2} \frac{h^2}{2} = \pi ah^2 \sqrt{1 + a^2}$$

$OA=l$ ト置クトキハ

$$l^2 = h^2 + k^2 \quad k=ah$$

故ニ $S = \pi ah^2 \sqrt{1 + \frac{k^2}{h^2}} = \pi ah \sqrt{h^2 + k^2}$

即チ $S = \pi kl$

(ii) 楕圓 $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ が座標軸ヲ軸トシテ回轉シテ生ズル曲面ノ包圍スル體積.

$$y^2 = b^2 \left(1 - \frac{x^2}{a^2}\right)$$

此ノ楕圓ガ横軸ヲ軸トシテ回轉シテ生ズル曲面ノ包圍スル體積ハ

$$\begin{aligned} V &= \int_{-a}^a \pi y^2 dx \\ &= 2 \int_0^a \pi b^2 \left(1 - \frac{x^2}{a^2}\right) dx \\ &= 2\pi b^2 \left[x - \frac{x^3}{3a^2} \right]_0^a = 2\pi b^2 \left(a - \frac{a}{3} \right) \end{aligned}$$

即チ $V = \frac{4}{3} \pi a b^2$

同様ニ楕圓ガ縦軸ヲ軸トシテ回轉シテ生ズル曲面ノ包圍スル體積ハ

$$V = \frac{4}{3} \pi a^2 b$$

$a=b$ ナルトキハ何レモ

$$V = \frac{4}{3} \pi a^3$$

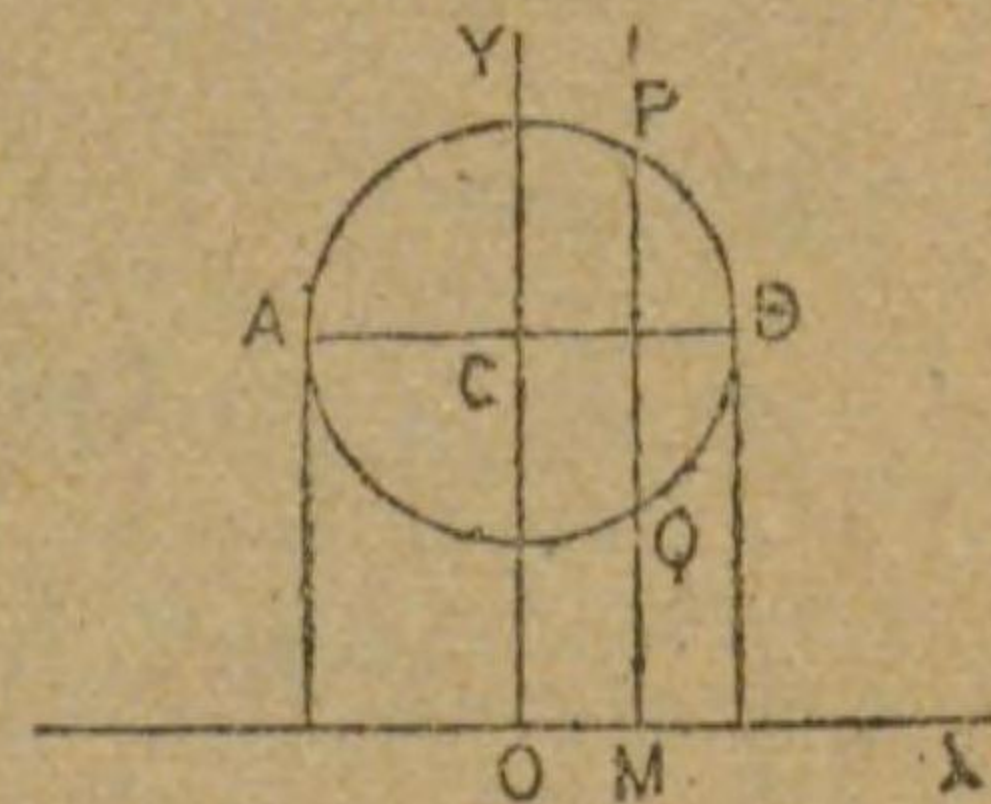
トナリ球ノ體積ヲ得.

(iii) 圓 $x^2 + (y-c)^2 = a^2 (c > a)$ が横軸ヲ軸トシテ回轉シテ生ズル曲面ノ包圍スル體積及ビ表面積

$$y = c \pm \sqrt{a^2 - x^2}$$

$$y_1 = c + \sqrt{a^2 - x^2}, y_2 = c - \sqrt{a^2 - x^2}$$

ト置クトキハ



$$V = \int_{-a}^a \pi y_1^2 dx - \int_{-a}^a \pi y_2^2 dx$$

即チ

$$V = 2\pi \int_0^a (y_1^2 - y_2^2) dx$$

然ルニ

$$\begin{aligned} y_1^2 - y_2^2 &= (c + \sqrt{a^2 - x^2})^2 - (c - \sqrt{a^2 - x^2})^2 \\ &= 4c\sqrt{a^2 - x^2} \end{aligned}$$

依テ

$$\begin{aligned} V &= 2\pi \int_0^a 4c\sqrt{a^2 - x^2} dx \\ &= 8\pi c \int_0^a \sqrt{a^2 - x^2} dx \end{aligned}$$

然ルニ第30節ニヨリ

$$\int_0^a \sqrt{a^2 - x^2} dx = \frac{\pi}{4} a^2$$

故ニ

$$V = 8\pi c \times \frac{\pi}{4} a^2 = 2\pi^2 a^2 c$$

或

$$V = \pi a^2 \times 2\pi c$$

又索ムル表面積ハ APB ガ回轉シテ生ズル曲面ノ表面積ト AQB ガ回轉シテ生ズル曲面ノ表面積トノ和ニ等シ.

$$S = \int_{-a}^a 2\pi y_1 \sqrt{1 + \left(\frac{dy_1}{dx}\right)^2} dx + \int_{-a}^a 2\pi y_2 \sqrt{1 + \left(\frac{dy_2}{dx}\right)^2} dx$$

$$= 4\pi \int_0^a (y_1 + y_2) \sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} dx$$

$$= 4\pi \int_0^a 2c \frac{a}{\sqrt{a^2 - x^2}} dx$$

依テ

$$S = 8\pi c \cdot a \frac{\pi}{2}$$

故ニ

$$S = 4\pi^2 ac$$

或ハ

$$S = 2\pi a \times 2\pi c.$$

32. 積分ノ近似値

第25節 = ヲリ

$$\int_a^b f(x) dx = \lim_{h \rightarrow 0} \{f(a) + f(x_1) + \dots + f(x_{n-1})\}h$$

$$= \lim_{h \rightarrow 0} \{f(x_1) + f(x_2) + \dots + f(b)\}h$$

$$x_1 - a = x_2 - x_1 = \dots = b - x_{n-1} = h$$

故 = h ノ十分小ナルトキ積分ノ値ハ大略下ノ式ニテ之ヲ表ハスコトヲ得.

$$s_1 = \{f(a) + f(x_1) + \dots + f(x_{n-1})\}h$$

$$\text{又ハ} \quad s_2 = \{f(x_1) + f(x_2) + \dots + f(b)\}h$$

$f(a) = y_0, f(x_1) = y_1, \dots, f(x_{n-1}) = y_{n-1}, f(b) = y_n$ ト置クトキハ

$$s_1 = (y_0 + y_1 + \dots + y_{n-1})h = \sum_{k=0}^{n-1} y_k h \quad (1)$$

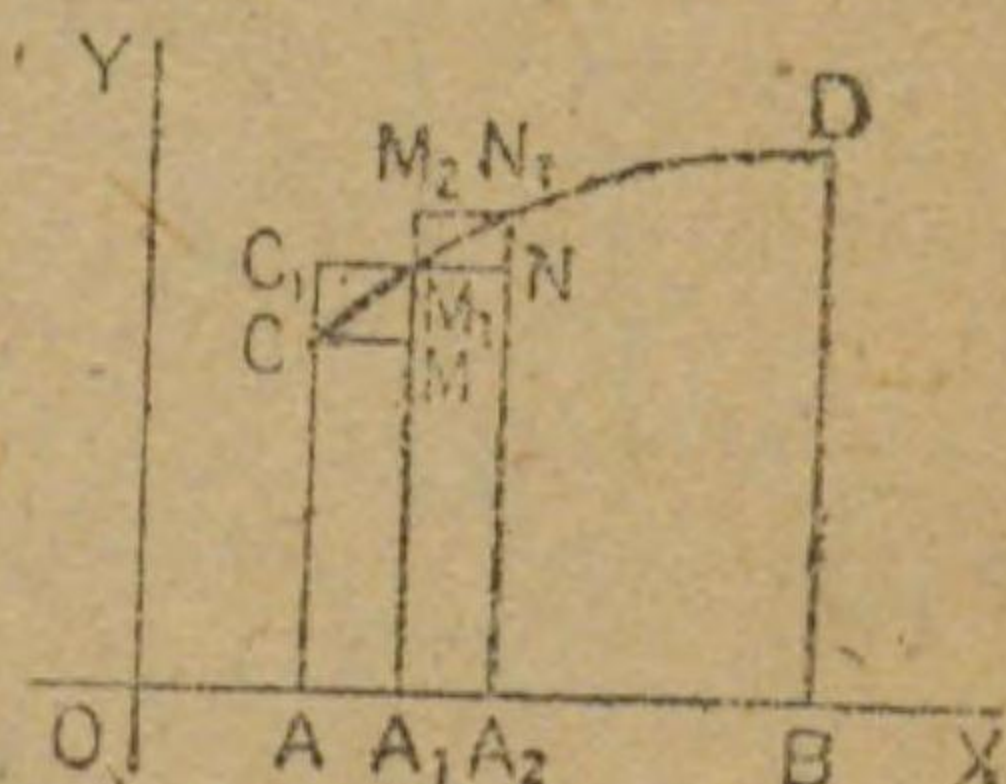
$$s_2 = (y_1 + y_2 + \dots + y_n)h = \sum_{k=1}^n y_k h \quad (2)$$

次 = $s_1 + s_2 = 2s_3$ ト置クトキハ

$$s_3 = (y_0 + 2y_1 + \dots + 2y_{n-1} + y_n) \frac{h}{2}$$

$$\text{或ハ} \quad s_3 = \sum_{k=0}^{n-1} \frac{y_k + y_{k+1}}{2} h \quad (3)$$

圖 = 於テ s_1 ハ矩形 $ACMA_1$ 等ノ面積ノ和, s_2 ハ矩形 $AC_1M_1A_1$ 等ノ面積ノ和, 又 s_3 ハ梯形 ACM_1A_1 等ノ面積ノ和ナリ.



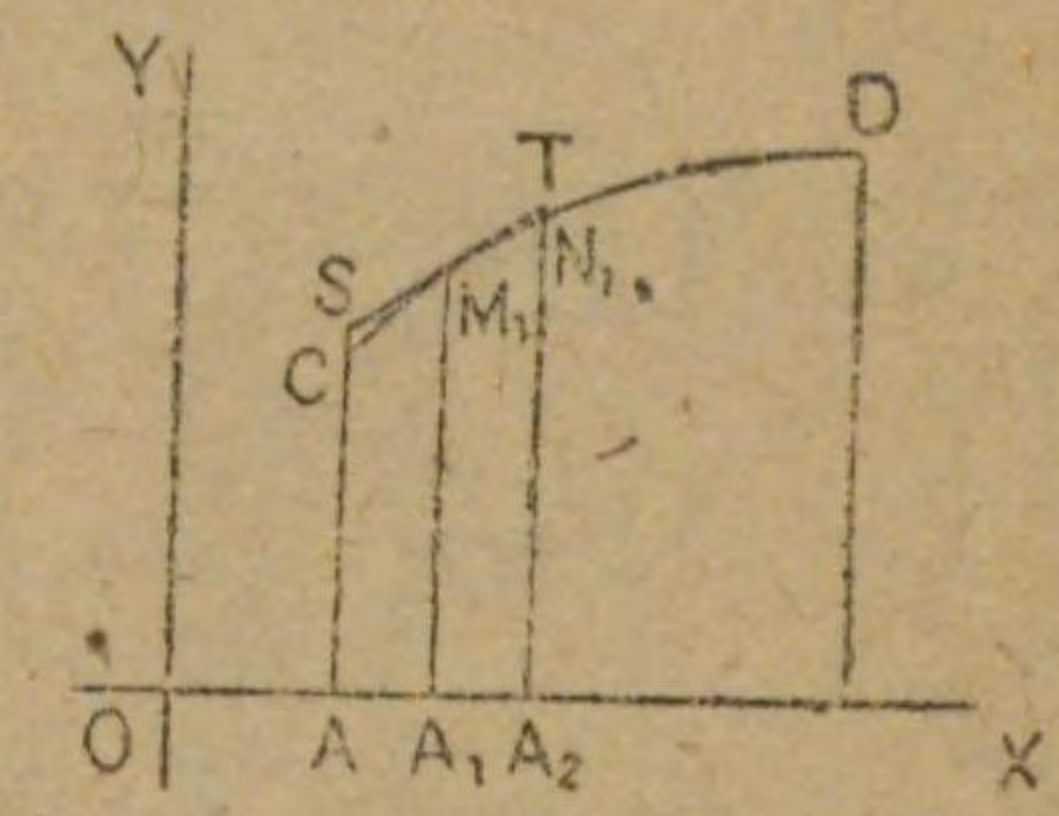
s_3 = 於テ $n = 2m$ ト置クトキハ

$$s_3 = (y_0 + 2y_1 + \dots + 2y_{2m-1} + y_{2m}) \frac{h}{2}$$

$$\text{或ハ} \quad s_3 = \sum_{k=0}^{2m-1} \frac{y_k + y_{k+1}}{2} h \quad (4)$$

s_3 ハ $b-a$ ヲ $2m$ 等分シタルトキ梯形 ACM_1A_1 等ノ面積ノ和ナリ.

次 = M_1 = 於テ切線ヲ引キ, 梯形 $ASTA_1$ ヲ作ルトキハ其ノ面積ハ $2y_1 h$ ナルガ故 =



$$s_4 = (y_1 + y_2 + \dots + y_{2m-1}) 2h$$

$$\text{或ハ} \quad s_4 = \sum_{k=0}^{m-1} 2y_{2k+1} h \quad (5)$$

s_3 ハ梯形 $ASTA_2$ 等ノ面積ノ和ナリ.

更 = $\frac{2s_1 + s_4}{3} = s_5$ ト置クトキハ

$$s_5 = \{y_0 + 4(y_1 + y_3 + \dots + y_{2m-1}) + 2(y_2 + y_4 + \dots + y_{2m-2}) + y_{2m}\} \frac{h}{3}$$

$$\text{或ハ} \quad s_5 = \sum_{k=0}^{m-1} (y_{2k} + 4y_{2k+1} + y_{2k+2}) \frac{h}{3} \quad (6)$$

ラソンプソンノ公式トイヒ, 之ヲ用ヒテ計算スルトキハ圖ヲ見テ推測シ得ル如ク h ノ小ナル値ニ對シテ相當ニ精密ナル積分ノ近似値ヲ索ムルコトヲ得.

$\int_0^1 \frac{dx}{1+x^2}$ の近似値ヲ索ムルニ當リ s_n ヲ用ヒ $n=5, h=\frac{1}{10}$ トスルトキハ

$$s_5 = \left\{ 1 + 4 \left(\frac{100}{101} + \frac{100}{109} + \frac{100}{125} + \frac{100}{149} + \frac{100}{181} \right) + 2 \left(\frac{100}{164} + \frac{100}{116} + \frac{100}{136} + \frac{100}{164} \right) + \frac{1}{2} \right\} \frac{1}{30}$$

即チ $s_5 = \left\{ 1 + 400 \left(\frac{1}{101} + \frac{1}{109} + \frac{1}{125} + \frac{1}{149} + \frac{1}{181} \right) + 200 \left(\frac{1}{164} + \frac{1}{116} + \frac{1}{136} + \frac{1}{164} \right) + \frac{1}{2} \right\} \frac{1}{30}$

此ノ値ヲ小數第八位ニテ索ムルトキハ 0.78539815 ヲ得、然ルニ $x = \tan \theta$ ト置クトキハ

$$\int_0^1 \frac{dx}{1+x^2} = \int_0^{\frac{\pi}{4}} d\theta = \left[\theta \right]_0^{\frac{\pi}{4}} = \frac{\pi}{4}$$

依テ $\frac{\pi}{4} = 0.78539815$

即チ $\pi = 3.1415926$

注意 s_0, s_1, s_2 ハ何レモ曲線ガ直線ノ部分ヨリ成ルモノトシテ作リタル式ナレドモ s_3 ハ曲線ガ拋物線ノ部分ヨリ成ルモノトシテ導キ得ベキコトハ容易ニ證明スルヲ得ルモノトス。

高等數學初歩

定價 16 圓



昭和6年4月1日 印刷
 昭和6年4月5日 發行
 昭和21年11月20日七版印刷發行

著者 坂井英太郎

代表者
 發行者 南條初五郎
 東京都神田區駿河臺三丁目九番地

印刷者 原田憲次郎
 東京都王子區神谷町一ノ六ノ一

印刷所 大洋印刷株式會社
 東京都王子區神谷町一ノ六ノ一

發行所 東京都神田區駿河臺三丁目九番地 共立出版株式會社
 電話 神田 (25) 1518・2624

配給元 東京都神田區渡路町二ノ九 日本出版配給株式會社

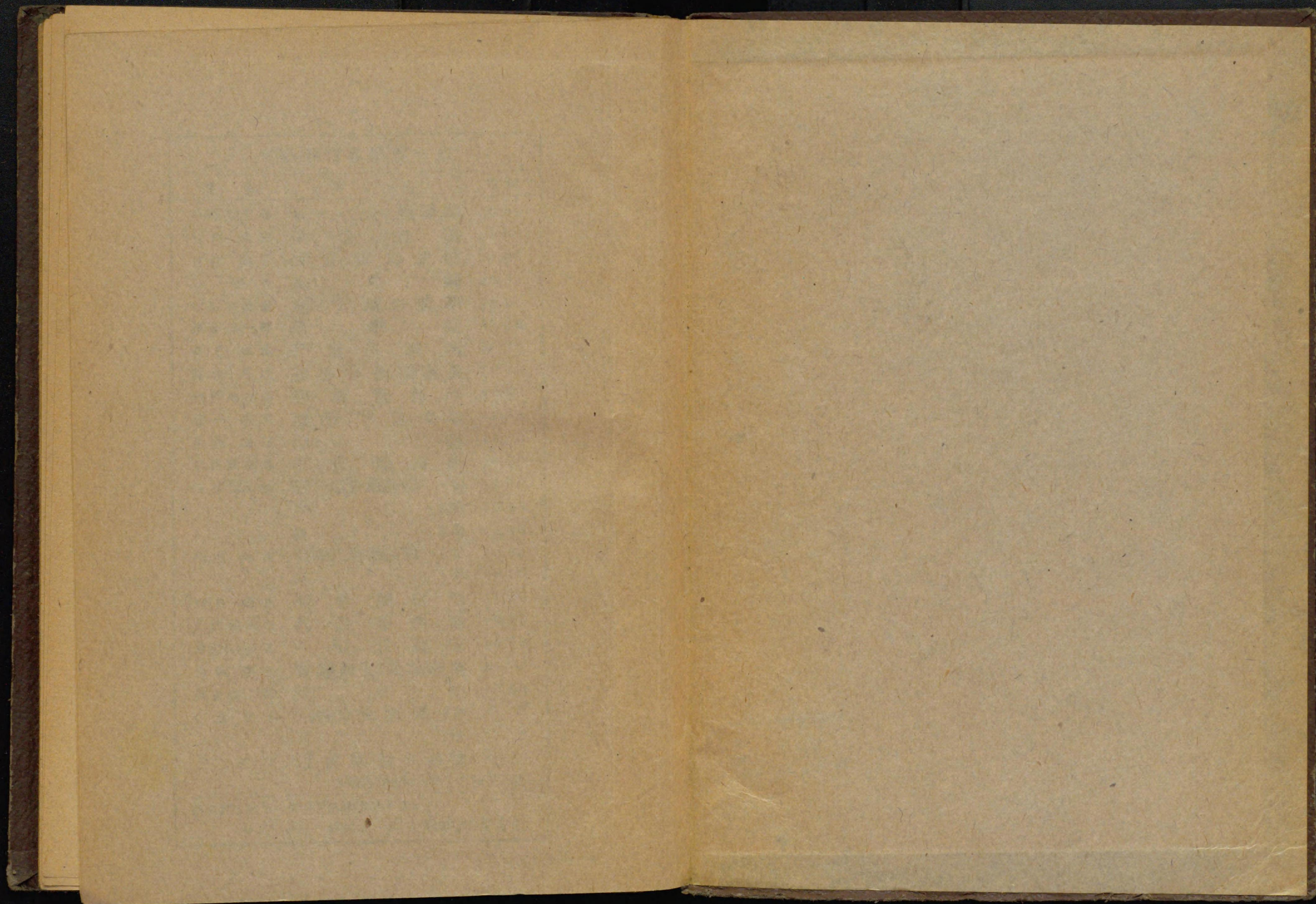
本社刊行數學書一斑

著者	書名	定價
中野秀五郎	ヒルベルト空間論	30.00
竹内端三	函數概論	25.00
吉江琢兒	微分方程式論	12.00
辻正次	集合論	20.00
白石早出雄	數と連續の哲學	28.00
渡邊孫一郎	確率論	15.00
高木貞治	代數學講義	60.00
高木貞治	初等整數論講義	55.00
坂井英太郎	解析幾何學	30.00
竹内端三	積分方程式論	30.00
竹内端三	群論	16.00
杉村欣次郎	射影幾何學	16.00
坂井英太郎	微分積分學演習 一卷	35.00
	同 二卷	40.00
	同 三卷	45.00
國枝元治	高等代數學演習 上卷	40.00
	同 下卷	38.00
河口商次	微分幾何學	15.00
正田建次郎	代數學提要	10.00
阿部八代太郎	一般代數學	35.00
吉田洋一	實變數函數論概要	15.00
坂井英太郎	變分法	18.00
田沼茂市	演習叢書代數學 上卷	近刊
	同 下卷	近刊
辻正次	複素變數函數論	40.00

(送料荷造費共各冊二圓五十錢)

新刊目錄送呈・郵券封入御申込下さい。

東京・神田・駿河臺 共立出版株式會社



608-264



1200501533471

608

608

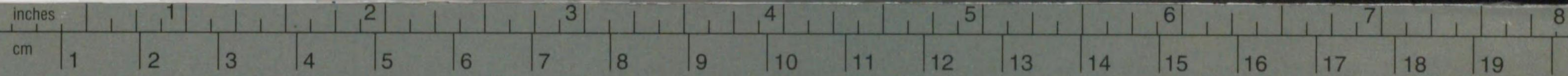
608

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

